
品川区のスポーツに関する アンケート調査報告書

令和2年●月
品川区

目 次

第1章 調査概要.....	1
第2章 集計結果.....	4
1. 一般区民向け調査.....	4
(1) 回答者自身に対する項目について	4
(2) スポーツや運動に対する価値観について	9
(3) スポーツの実施状況について	11
(4) スポーツの観戦状況について	24
(5) スポーツを支える活動状況について	25
(6) 品川区のスポーツを取り巻く環境（施設・団体等）について	29
(7) 障害者スポーツについて	34
(8) 品川区のスポーツ施策について	37
2. 児童・生徒向け調査	39
(1) 回答者自身に対する項目について	39
(2) スポーツや運動について	43
(3) スポーツの実施状況等について	48
第3章 分析編	62
1. スポーツ実施率の低い層に関する分析	62
2. 一般区民のスポーツ実施状況に着目した分析	65
3. 児童・生徒のスポーツ実施状況に着目した分析	71
第4章 参考資料（調査票）	76
1. 一般区民向け調査.....	76
2. 児童・生徒向け調査	76

第 1 章 調査概要

1. 調査名称

品川区スポーツ推進計画策定に向けての区民等アンケート調査

2. 調査目的

令和2年度に予定している「品川区スポーツ推進計画」の策定に向けて、区民のスポーツの実施状況や関心などを把握し、品川区スポーツ推進計画策定の基礎資料を得ることを目的として実施した。

3. 調査対象

(1) 一般区民向け調査

満 18 歳以上の一般区民

(2) 児童・生徒向け調査

区立の小・中・義務教育学校の5年生と8年生

4. 調査方法

(1) 一般区民向け調査

層化二段無作為抽出法（地域、地点、対象者）によりサンプルを抽出し、郵送にて配付・回収を行った。

(2) 児童・生徒向け調査

地域バランスを考慮して対象となる学校を選定し、学校を通じて配付・回収を行った。

5. 調査期間

(1) 一般区民向け調査

令和元年9月10日（火）～9月27日（金）

(2) 児童・生徒向け調査

令和元年9月10日（火）～9月30日（月）

6. 回収数

(1) 一般区民向け調査

配付数	有効回答数	有効回答率
2,978 件	1,171 件	39.3%

(2) 児童・生徒向け調査

対象	配付数	有効回答数	有効回答率
計	1,023 件	983 件	96.1%
児童（5年生）	511 件	487 件	95.3%
生徒（8年生）	512 件	496 件	96.9%

7. 報告書の見方

- ア 図表内の「N」は、設問に対する回答の合計数である。
- イ 集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しているため、比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- ウ 複数回答を求めた設問では 設問に対する回答者数を分母として選択肢ごとの割合を算出しているため、回答比率の合計が100.0%を上回る場合がある。
- エ クロス集計表は、項目ごとに上位1位に濃い網掛け、上位2位に薄い網掛けをしている。なお、Nが10未満の場合は網掛けをせず、コメントも記載していない。

オ クロス集計表は、分析軸（左端の列）の項目に「無回答」を記載していないため、各設問の回答者数と項目ごとの回答者数の総和は一致しない場合がある。

カ 一般区民向け調査において、国や東京都の調査結果と比較しているページがある。それぞれの調査概要は次の通りである。

調査主体	スポーツ庁（国の調査）
調査名称	スポーツの実施状況等に関する世論調査
調査時期	平成 31 年 1 月 11 日～1 月 29 日

調査主体	東京都生活文化局（都の調査）
調査名称	都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査
調査時期	平成 30 年 9 月 7 日～9 月 23 日

第2章 集計結果

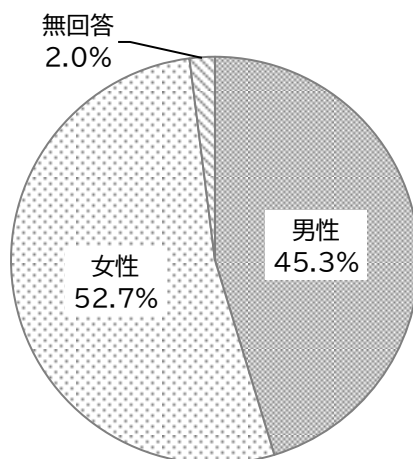
1. 一般区民向け調査

(1) 回答者自身に対する項目について

問1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つ)

「男性」が45.3%、「女性」が52.7%となっている。

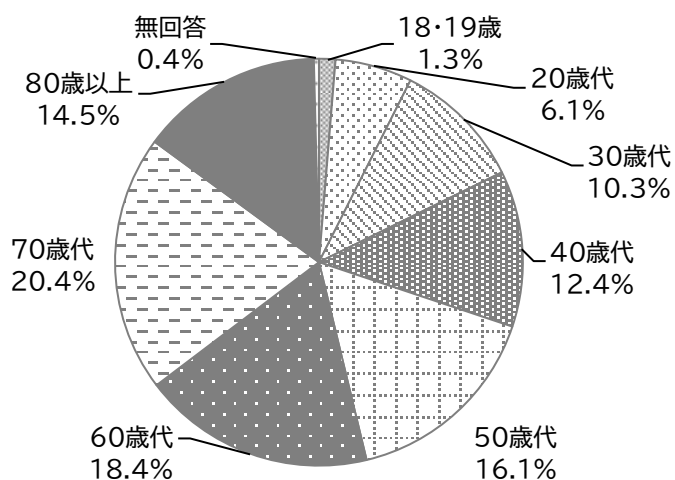
(N=1171)



問2 あなたの年齢（9月1日現在の満年齢）はどれですか。(○は1つ)

「70歳代」が20.4%と最も多く、次いで「60歳代」が18.4%、「50歳代」が16.1%となっている。

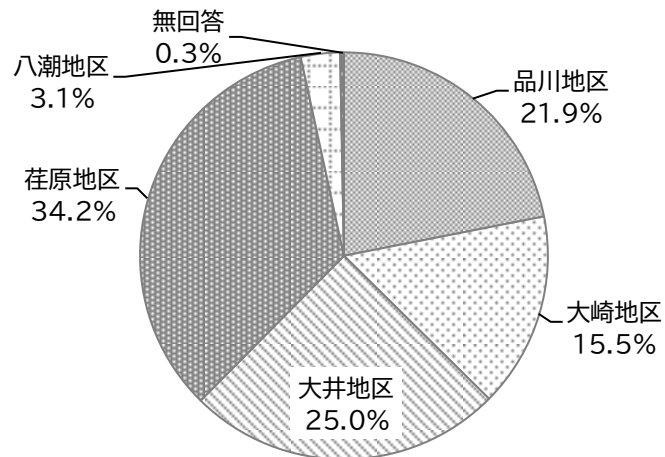
(N=1171)



問3 あなたのお住まいはどの地区ですか。(○は1つ)

「荏原地区」が34.2%と最も多く、次いで「大井地区」が25.0%、「品川地区」が21.9%となっている。

(N=1171)

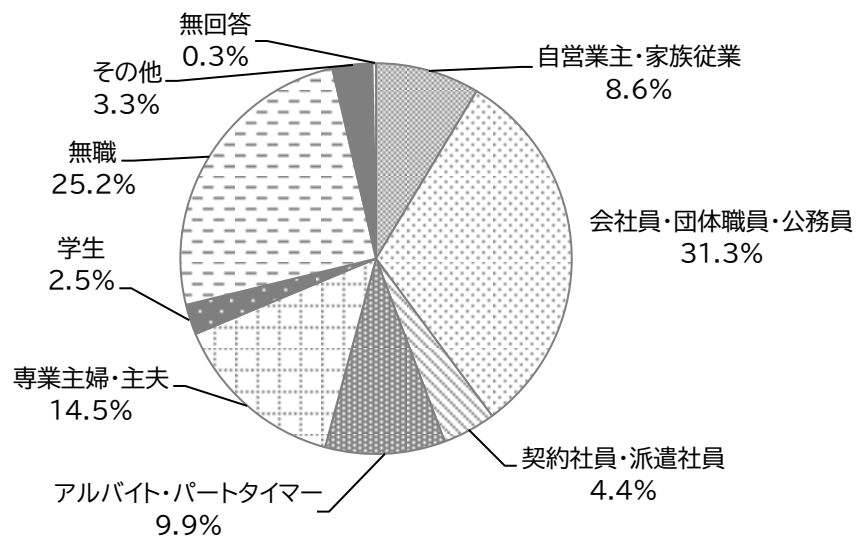


問4 あなたのご職業は次のどれにあたりますか。(○は1つ)

「会社員・団体職員・公務員」が31.3%と最も多く、次いで「無職」が25.2%、「専業主婦・主夫」が14.5%となっている。

働いている人の割合（「自営業主・家族従業」、「会社員・団体職員・公務員」、「契約社員・派遣社員」、「アルバイト・パートタイマー」の合計）は54.2%となっている。

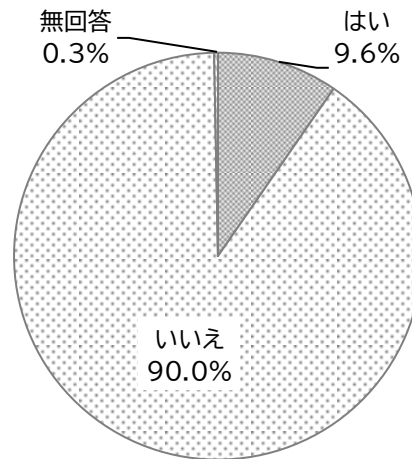
(N=1171)



問5 あなたは小学生未満の子どもと同居していますか。(○は1つ)

「はい」が9.6%、「いいえ」が90.0%となっている。

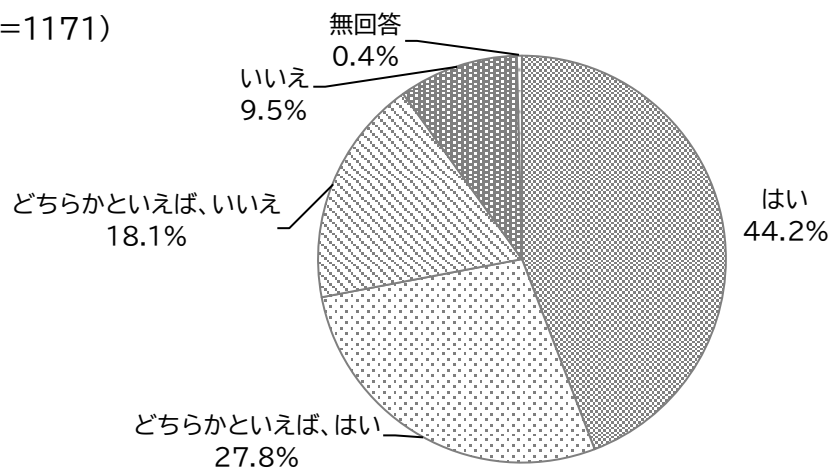
(N=1171)



問6 あなたは、仕事や学業、家事などのほか、趣味や自分の楽しみのために使える時間が充分とれていますか。(○は1つ)

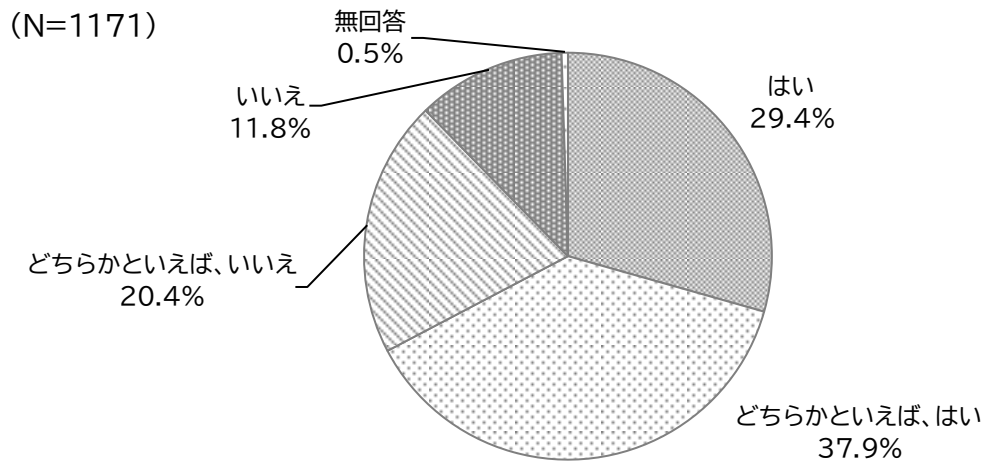
「はい」(「はい」と「どちらかといえば、はい」の合計)が72.0%、「いいえ」(「いいえ」と「どちらかといえば、いいえ」の合計)が27.6%となっている。

(N=1171)



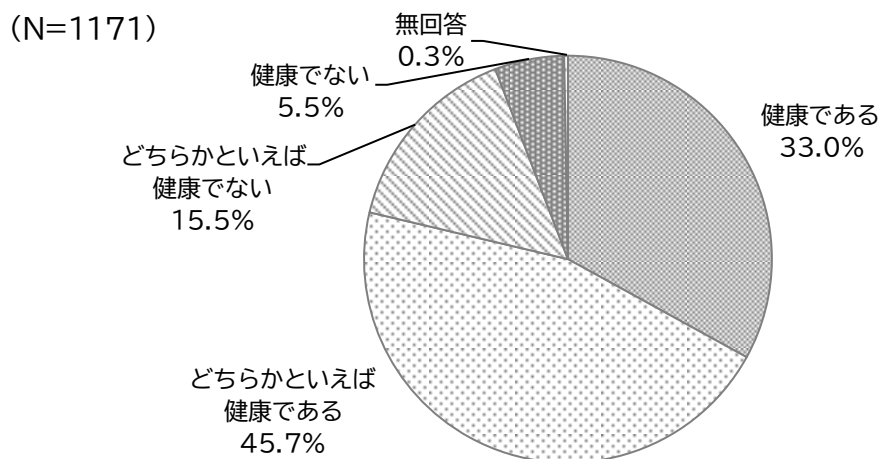
問7 あなたは、食費や光熱費などの生活に必要な不可欠な費用のほか、趣味や自分の楽しみのために使えるお金が充分得られていますか。(○は1つ)

「はい」(「はい」と「どちらかといえば、はい」の合計)が67.3%、「いいえ」(「いいえ」と「どちらかといえば、いいえ」の合計)が32.2%となっている。



問8 あなたは健康だと感じていますか。(○は1つ)

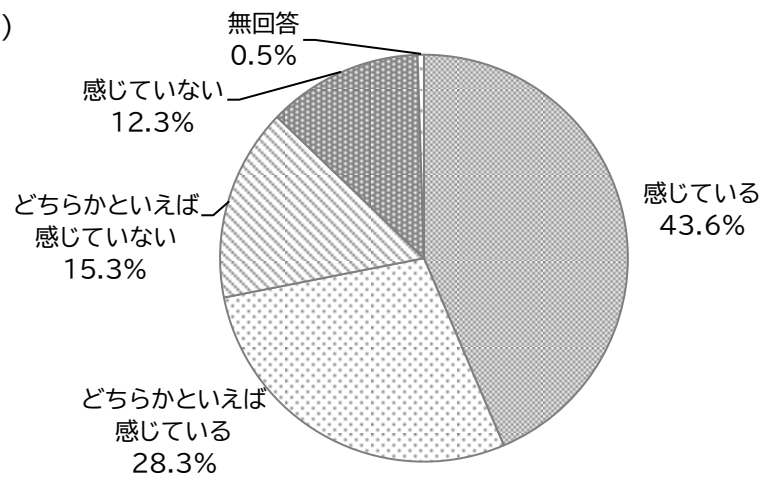
「健康である」(「健康である」と「どちらかといえば健康である」の合計)が78.7%、「健康でない」(「健康でない」と「どちらかといえば健康でない」の合計)が21.0%となっている。



問9 あなたは、日頃運動不足を感じていますか。(○は1つ)

「感じている」(「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計)が71.9%、「感じていない」(「感じていない」と「どちらかといえば感じていない」の合計)が27.6%となっている。

(N=1171)

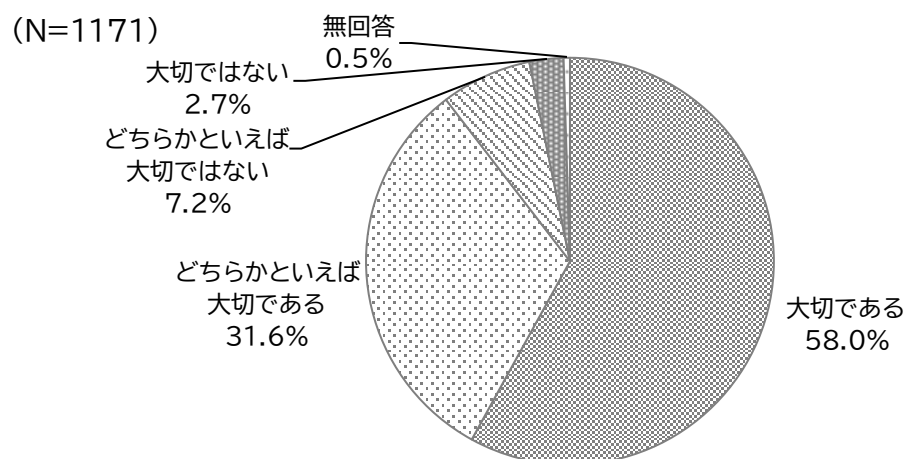


(2) スポーツや運動に対する価値観について

問 10 あなたにとってスポーツや運動は大切なものですか。(○は1つ)

「大切である」(「大切である」と「どちらかといえば大切である」の合計)が89.6%、「大切ではない」(「大切ではない」と「どちらかといえば大切ではない」の合計)が9.9%となっている。

「大切である」(「大切である」と「どちらかといえば大切である」の合計)の割合は、国(72.9%)と比べて高くなっている。



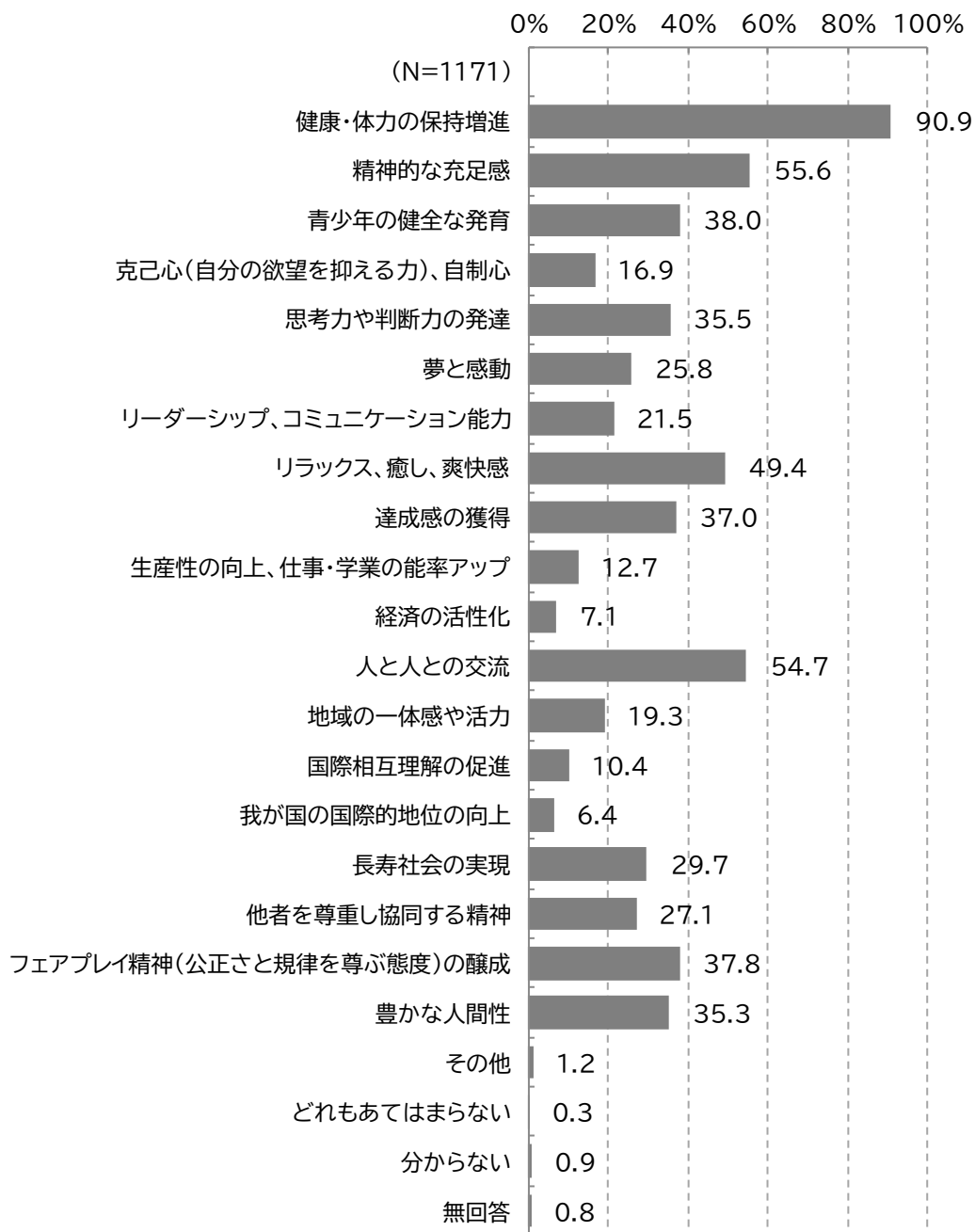
【比較】スポーツや運動を大切と思う人の割合

種類	割合
国	72.9 %
区	89.6 %

問 11 あなたが、スポーツや運動が個人や社会にもたらす価値についてあてはま
 ると思うものは何ですか。(〇はいくつでも)

「健康・体力の保持増進」が 90.9%と最も多く、次いで「精神的な充足感」が
 55.6%、「人と人との交流」が 54.7%となっている。

国と比べると、順位は異なるものの、上位 3 位以内の内容は同じとなっている。

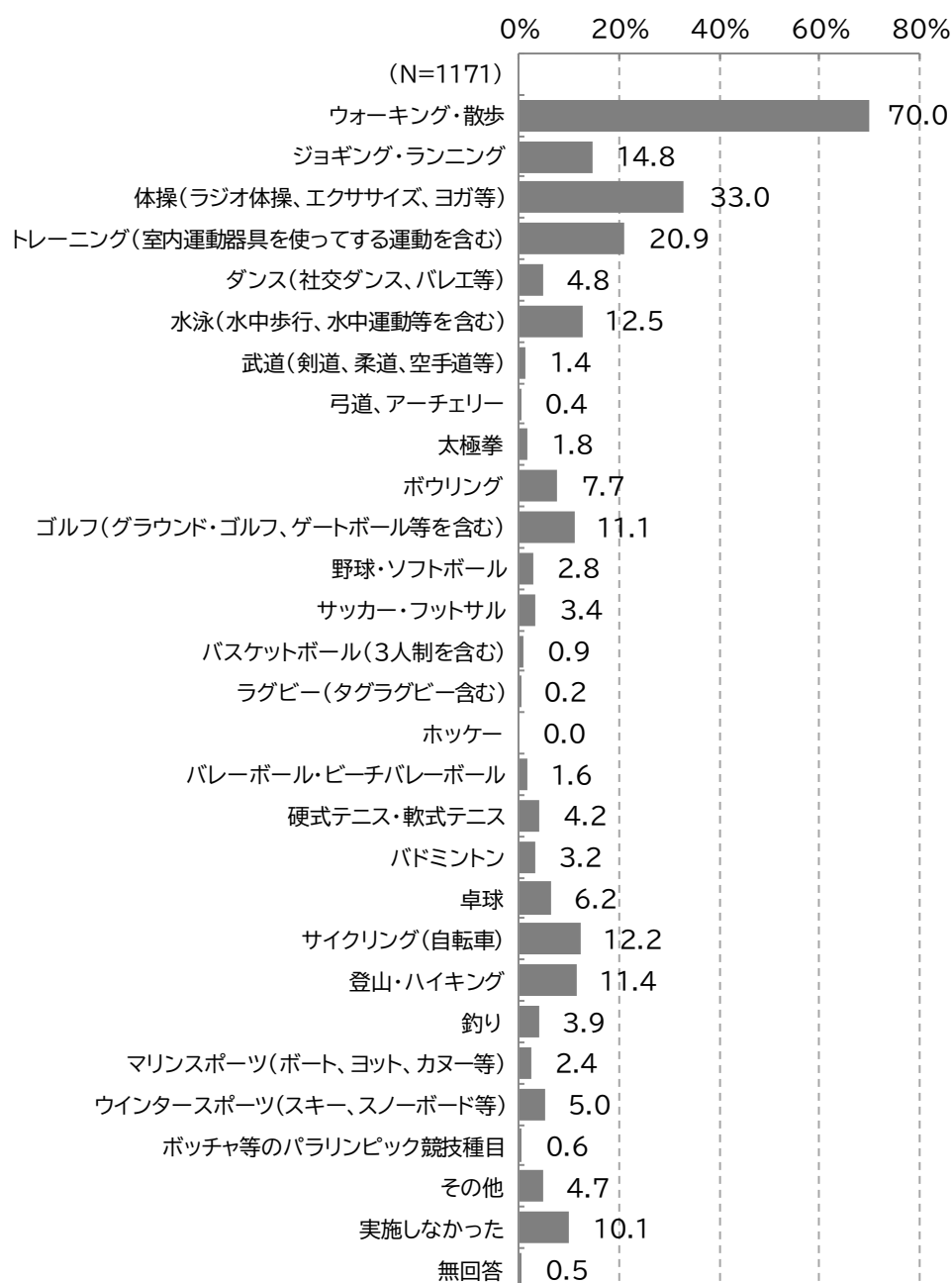


種類	1位		2位		3位	
国	健康・体力の保持増進	75.8 %	人と人との交流	50.8 %	精神的な充足感	44.5 %
区	健康・体力の保持増進	90.9 %	精神的な充足感	55.6 %	人と人との交流	54.7 %

(3) スポーツの実施状況について

問 12 あなたが、この1年間に実施したスポーツや運動は何ですか。(〇はいくつでも)

「ウォーキング・散歩」が70.0%と最も多く、次いで「体操（ラジオ体操、エクササイズ、ヨガ等）」が33.0%、「トレーニング」が20.9%となっている。

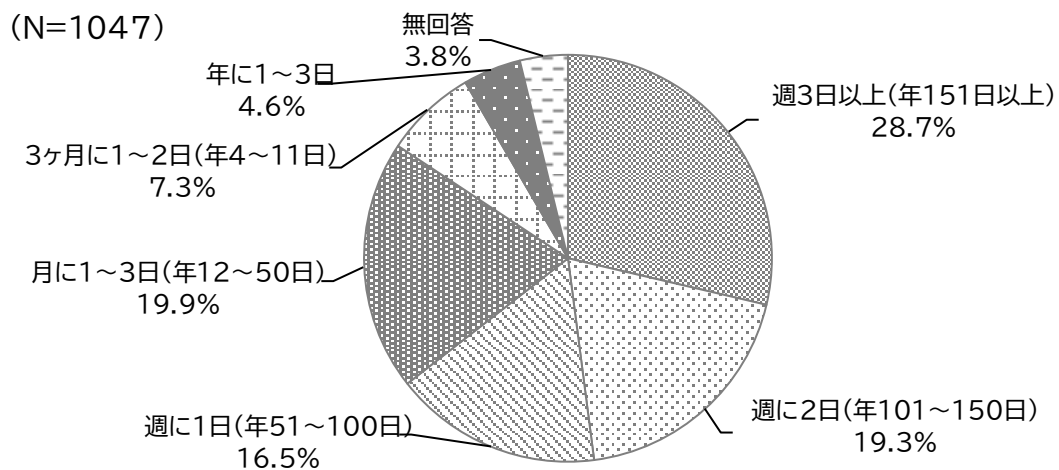


問 13 あなたが、そのスポーツや運動を実施した日数を全部合わせると何日くらいになりますか。(○は1つ)

「週3日以上(年151日以上)」が28.7%と最も多く、次いで「月に1～3日(年12～50日)」が19.9%、「週に2日(年101～150日)」が19.3%となっている。

「週3日以上(年151日以上)」と「週に2日(年101～150日)」、「週に1日(年51～100日)」の回答者数の合計(675人)を、本調査全体の回答者数(1,171人)で除した区の週1日以上の実施率は57.6%である。

区の週1日以上の実施率は、国(55.3%)や都(57.2%)と比べて高くなっている。



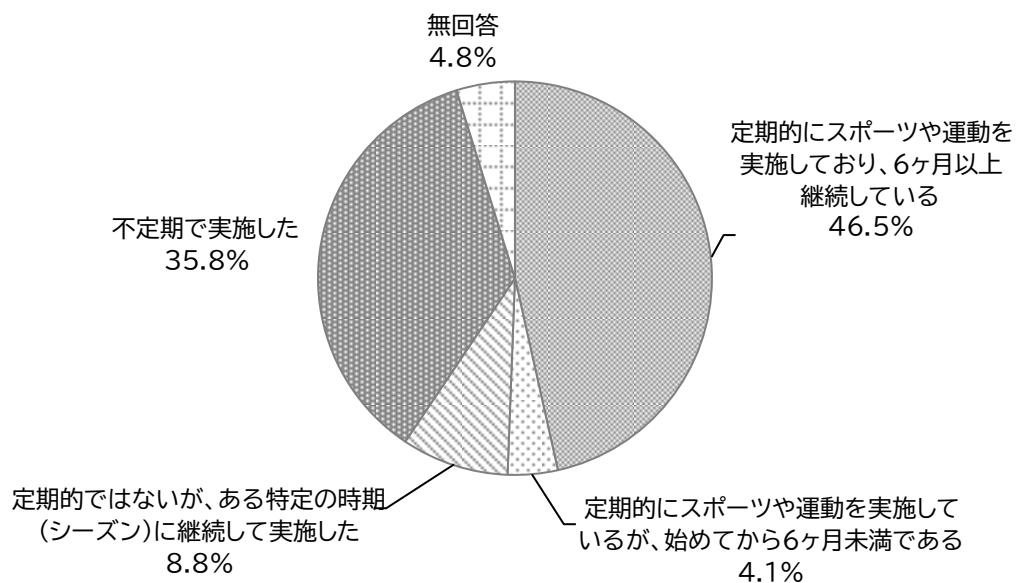
【比較】週1日以上の実施率

種類	割合
国	55.3 %
都	57.2 %
区	57.6 %

問 14 あなたが、この1年間に実施したスポーツや運動の状況について教えてください。(〇は1つ)

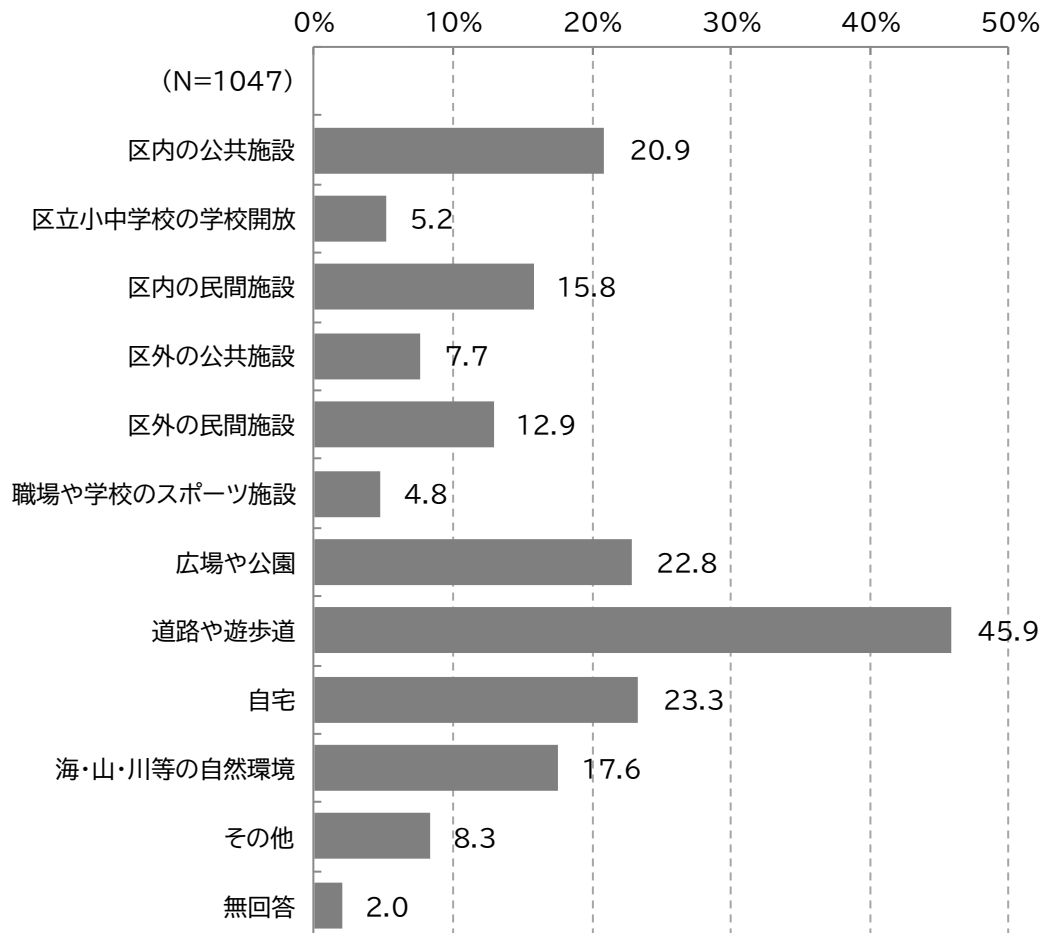
「定期的にスポーツや運動を実施しており、6ヶ月以上継続している」が46.5%と最も多く、次いで「不定期で実施した」が35.8%、「定期的ではないが、ある特定の時期(シーズン)に継続して実施した」が8.8%となっている。

(N=1047)



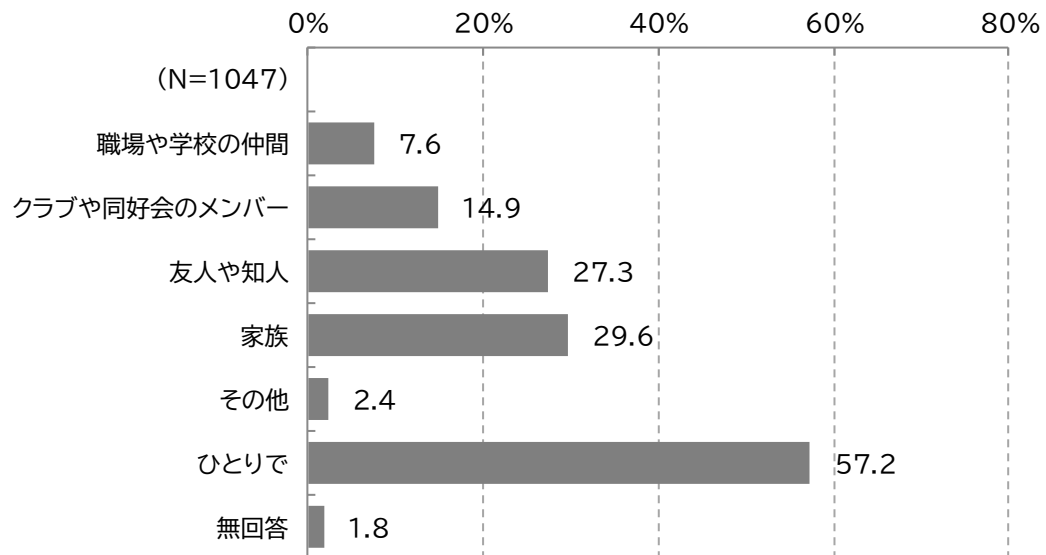
問 15 スポーツや運動を実施した場所はどこですか。(〇はいくつでも)

「道路や遊歩道」が45.9%と最も多く、次いで「自宅」が23.3%、「広場や公園」が22.8%となっている。



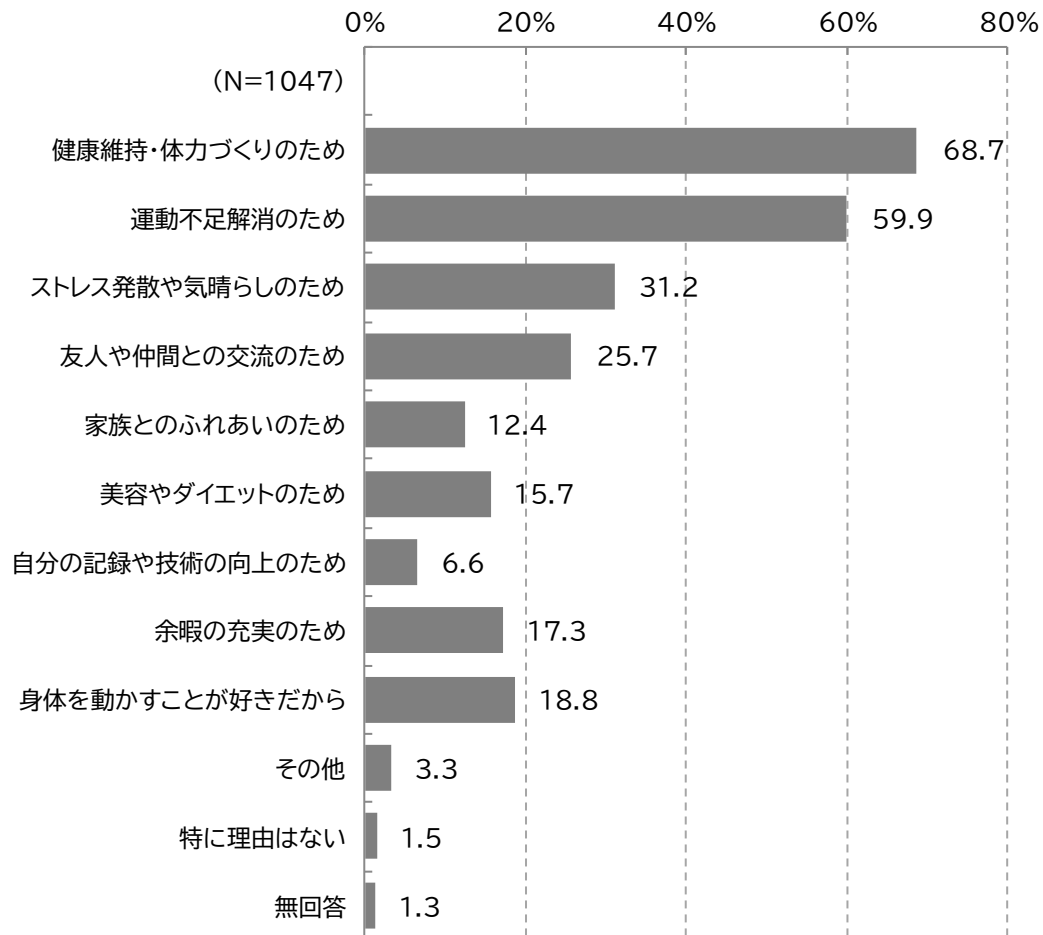
問 16 あなたは、主に誰とスポーツや運動を実施しましたか（〇はいくつでも）。

「ひとりで」が57.2%と最も多く、次いで「家族」が29.6%、「友人や知人」が27.3%となっている。



問 17 スポーツや運動を実施した理由は何ですか。(〇はいくつでも)

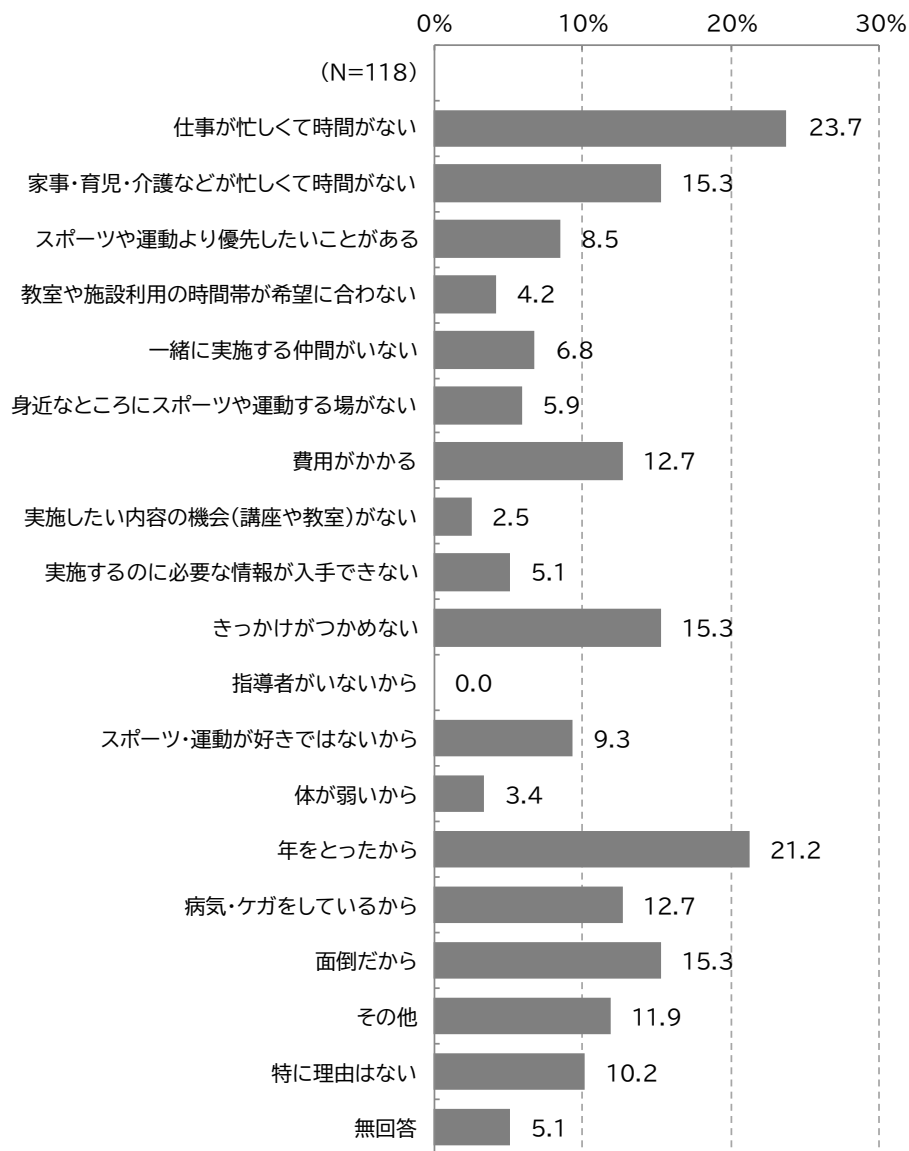
「健康維持・体力づくりのため」が68.7%と最も多く、次いで「運動不足解消のため」が59.9%、「ストレス発散や気晴らしのため」が31.2%となっている。



問 18 実施しなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「仕事が忙しくて時間がない」が 23.7%と最も多く、次いで「年をとったから」が 21.2%、「家事・育児・介護などが忙しくて時間がない」と「きっかけがつかめない」、「面倒だから」が 15.3%となっている。

国と都と比べると、「忙しいから」、「面倒だから」という理由が上位 3 位以内にみられるのは類似した傾向となっているが、区は「年をとったから」の順位が高くなっている。

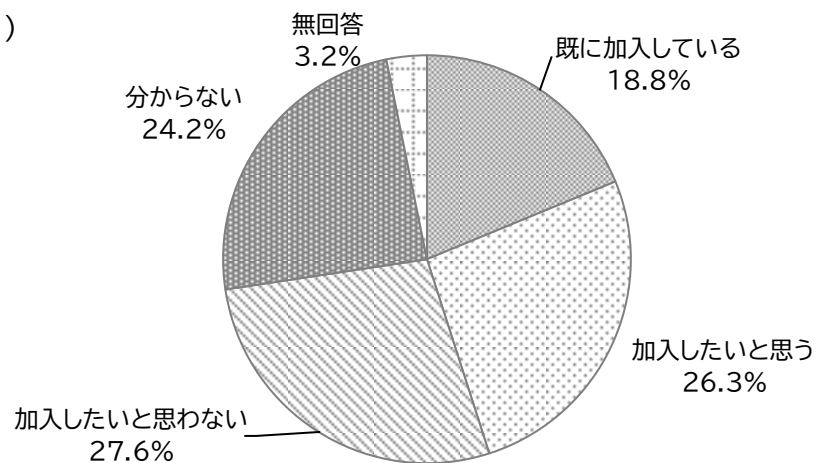


種類	1位	2位	3位
国	仕事や家事が忙しいから 49.0 %	面倒くさいから 43.5 %	お金に余裕がないから 22.0 %
都	仕事や家事・育児が忙しくて時間がないから 47.2 %	機会がなかったから 17.3 %	面倒だから 11.0 %
区	仕事が忙しくて時間がない 23.7 %	年をとったから 21.2 %	家事・育児・介護などが忙しくて時間がない 15.3 % きっかけがつかめない 面倒だから

問 19 あなたは、自分の好きなスポーツや運動のクラブ、同好会などがあれば、
加入したいと思いますか。(○は1つ)

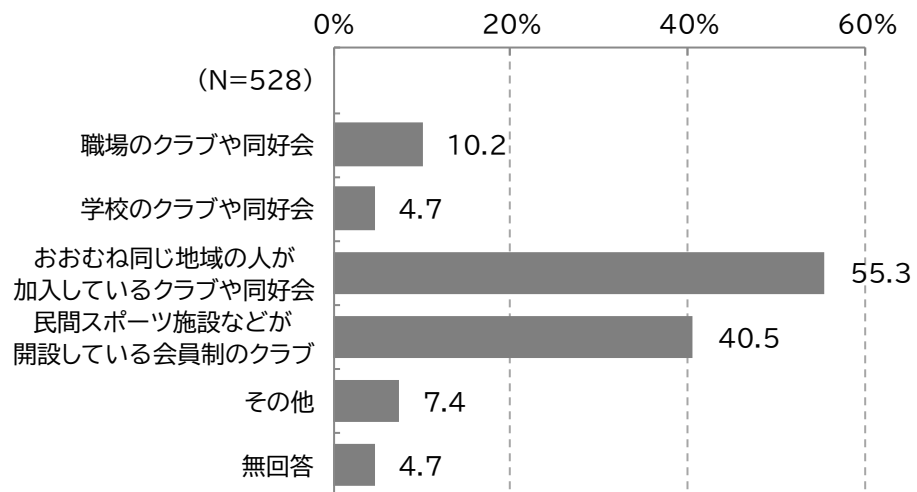
「加入したいと思わない」が 27.6%と最も多く、次いで「加入したいと思う」が
26.3%、「分からない」が 24.2%となっている。

(N=1171)



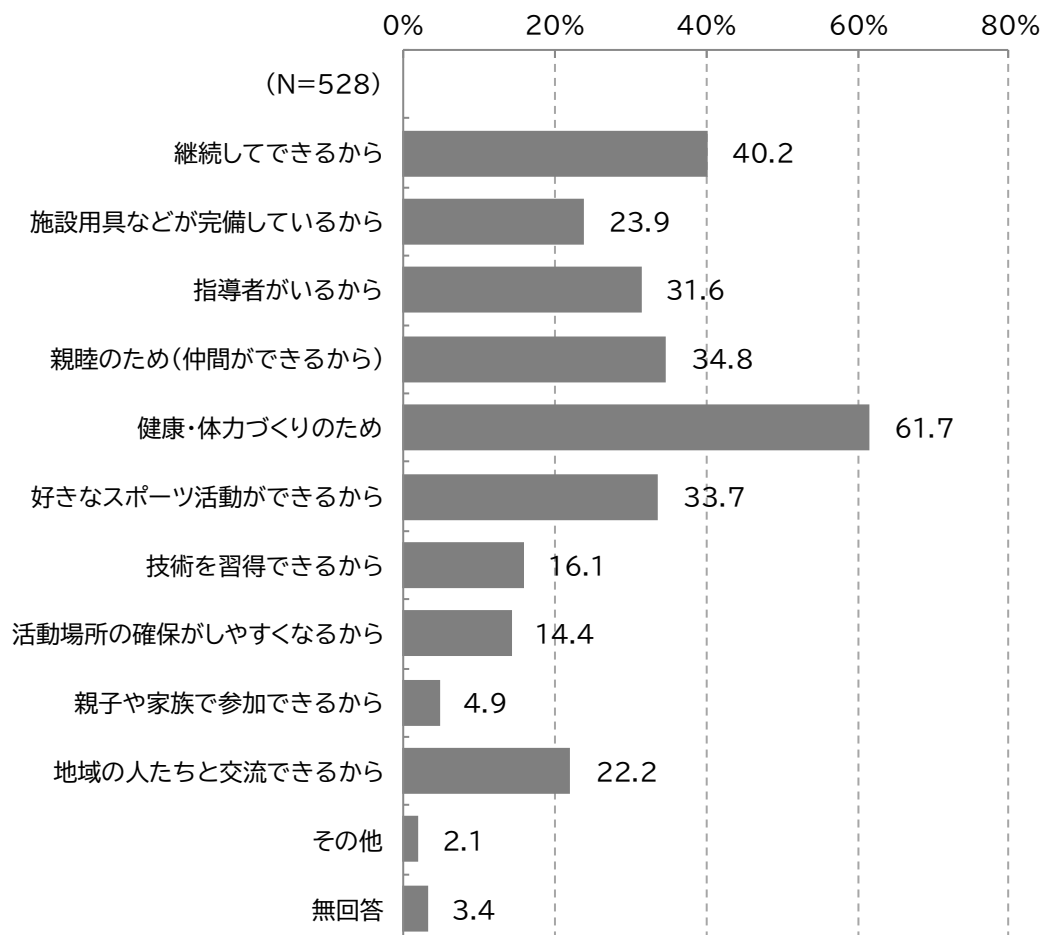
問 20 それは、どのようなクラブや同好会などですか。(〇はいくつでも)

「おおむね同じ地域の人が加入しているクラブや同好会」が 55.3%と最も多く、次いで「民間スポーツ施設などが開設している会員制のクラブ」が 40.5%、「職場のクラブや同好会」が 10.2%となっている。



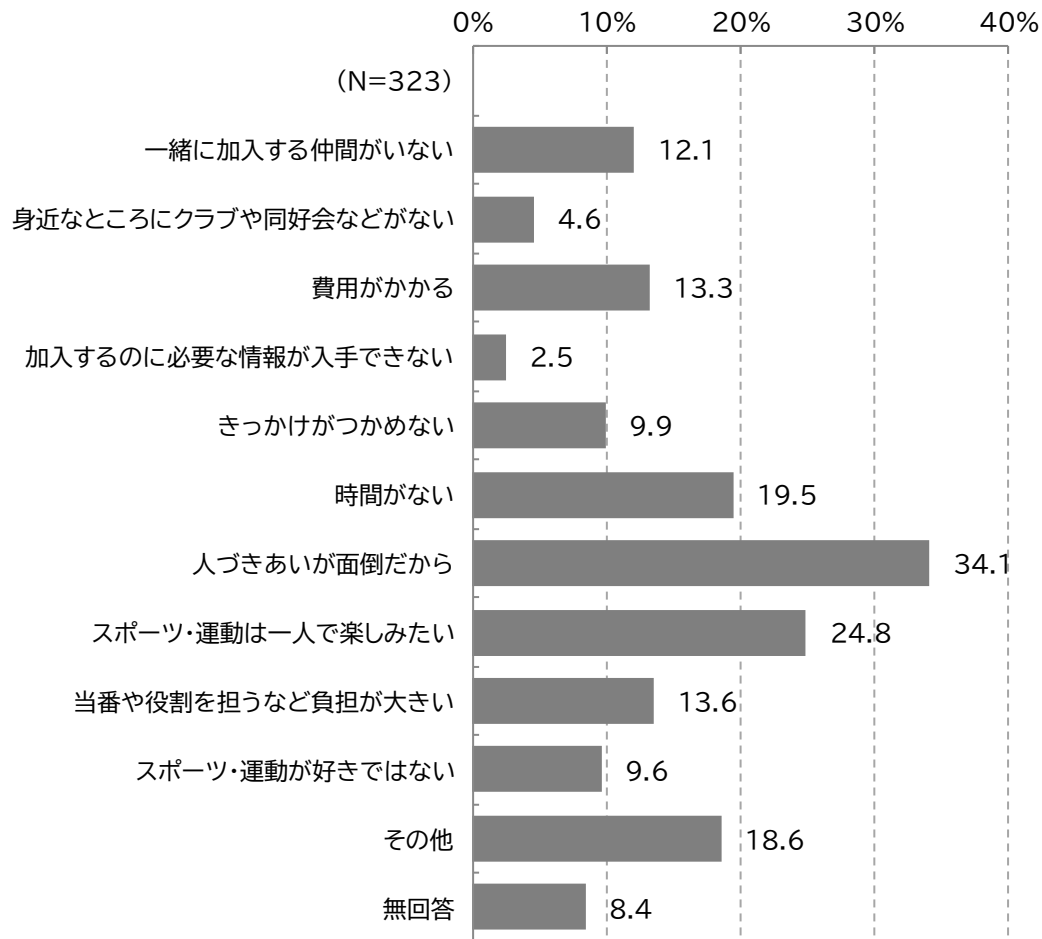
問 21 そのクラブや同好会などに加入した（したいと思う）動機は何ですか。（〇はいくつでも）

「健康・体力づくりのため」が 61.7%と最も多く、次いで「継続してできるから」が 40.2%、「親睦のため（仲間ができるから）」が 34.8%となっている。



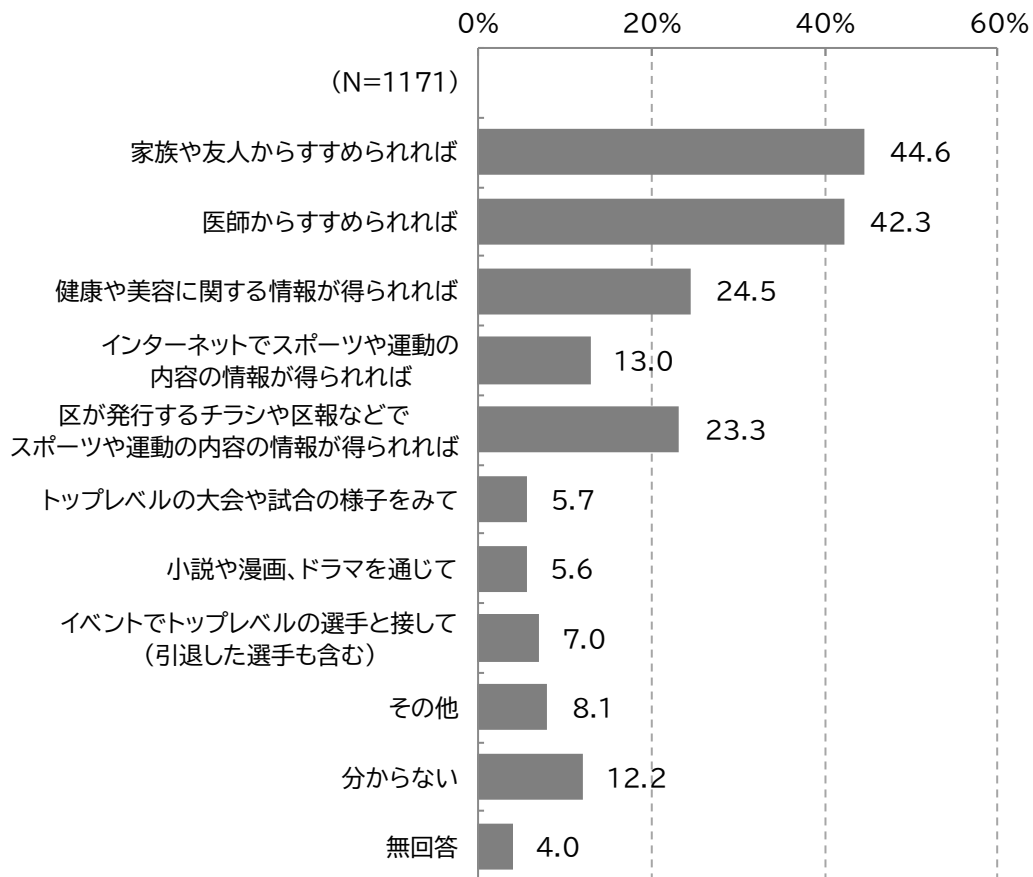
問 22 加入したいと思わない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「人づきあいが面倒だから」が 34.1%と最も多く、次いで「スポーツ・運動は一人で楽しみたい」が 24.8%、「時間がない」が 19.5%となっている。



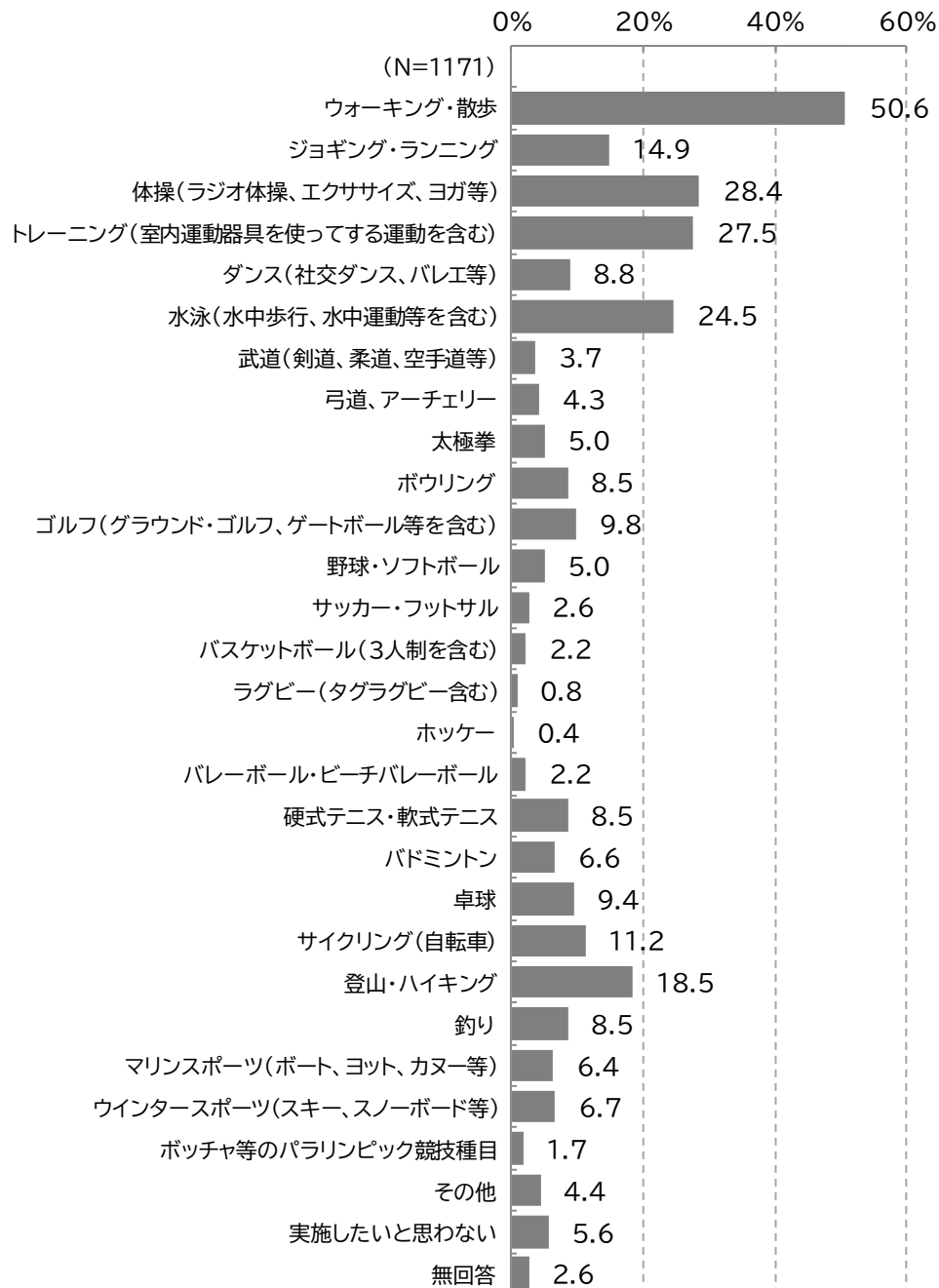
問 23 あなたは、スポーツや運動を実施していない人がどのようなきっかけがあれば実施するようになると思いますか。(〇はいくつでも)

「家族や友人からすすめられれば」が 44.6%と最も多く、次いで「医師からすすめられれば」が 42.3%、「健康や美容に関する情報が得られれば」が 24.5%となっている。



問 24 あなたが、今後実施したいスポーツや運動は何ですか。(〇はいくつでも)

「ウォーキング・散歩」が 50.6%と最も多く、次いで「体操（ラジオ体操、エクササイズ、ヨガ等）」が 28.4%、「トレーニング」が 27.5%となっている。



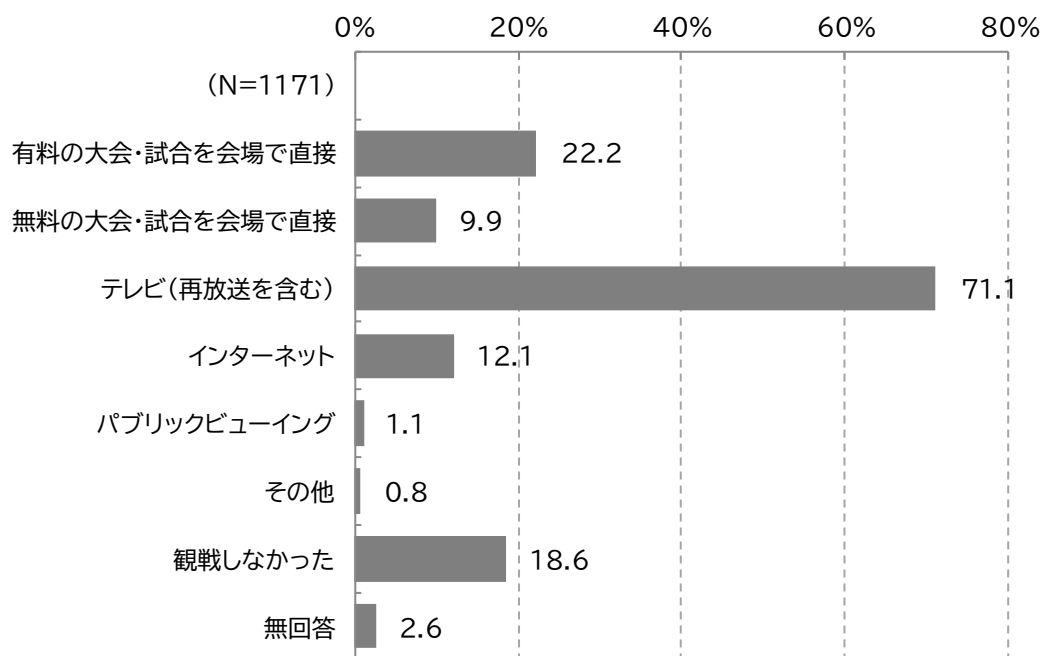
(4) スポーツの観戦状況について

問 25 あなたは、過去 1 年間でトップスポーツ（オリンピック・パラリンピック、プロ野球、大相撲など）やアマチュアスポーツ（高校野球、子どもの部活動など）の大会・試合をどのように観戦しましたか。（○はいくつでも）

「テレビ（再放送を含む）」が 71.1%と最も多く、次いで「有料の大会・試合を会場で直接」が 22.2%、「観戦しなかった」が 18.6%となっている。

過去 1 年間に会場で直接観戦した人の割合（「有料の大会・試合を会場で直接」または「無料の大会・試合を会場で直接」の人）は 27.3%となっている。

過去 1 年間に会場で直接観戦した人の割合は、国（26.8%）と比べて高いが、都（41.1%）と比べて低くなっている。



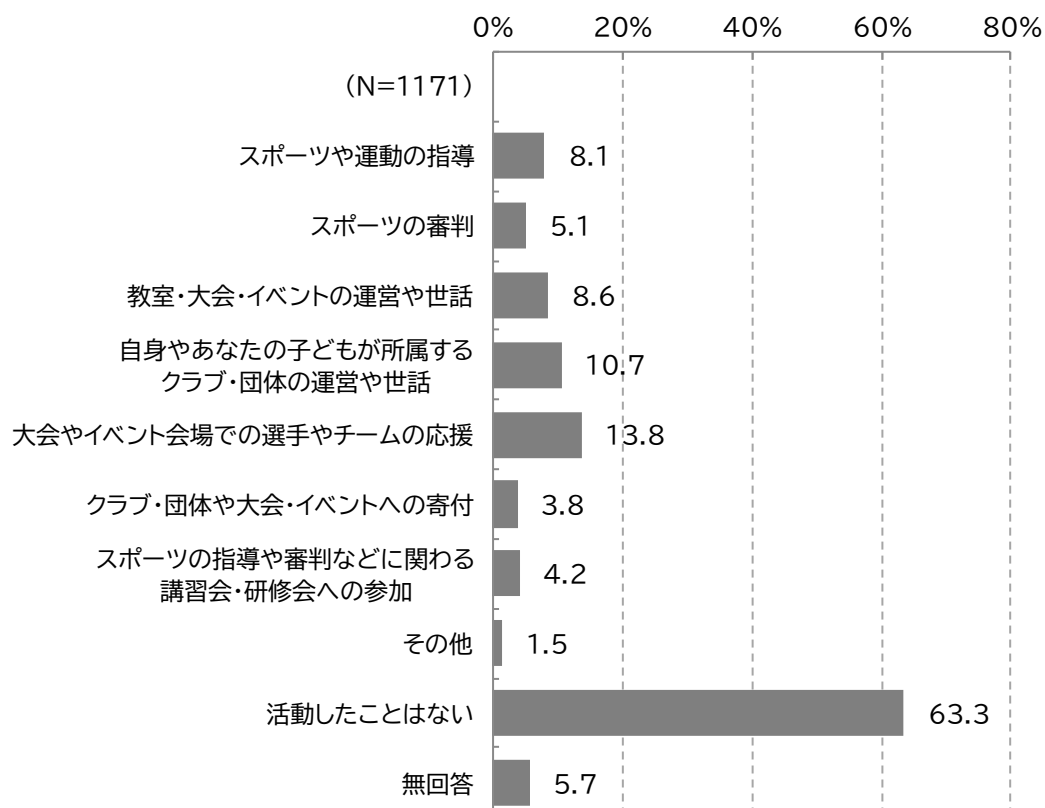
【比較】過去 1 年間における直接観戦率

種類	割合
国	26.8 %
都	41.1 %
区	27.3 %

(5) スポーツを支える活動状況について

問 26 次の活動のうち、これまでにあなたが関わったスポーツや運動を支える活動はありますか。(〇はいくつでも)

「活動したことはない」が 63.3%と最も多く、次いで「大会やイベント会場での選手やチームの応援」が 13.8%、「自身やあなたの子どもが所属するクラブ・団体の運営や世話」が 10.7%となっている。



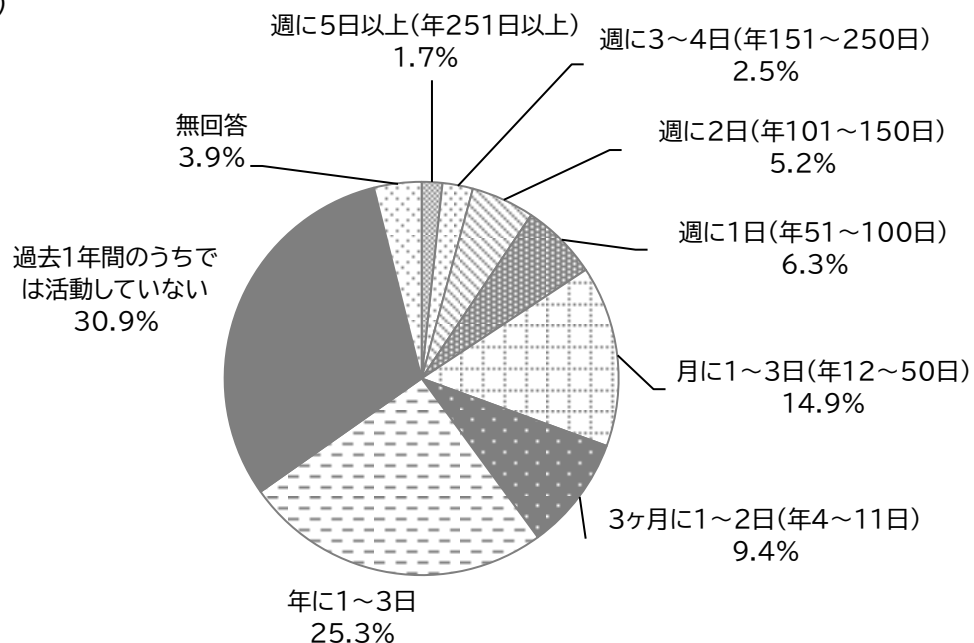
問 27 過去1年間において、そのスポーツや運動を支える活動を全部合わせると日数はどの程度になりますか。(○は1つ)

「過去1年間のうちでは活動していない」が30.9%と最も多く、次いで「年に1～3日」が25.3%、「月に1～3日(年12～50日)」が14.9%となっている。

「週5日以上(年251日以上)」から「年に1～3日」までの回答者数の合計(237人)を、本調査全体の回答者数(1,171人)で除すると「過去1年間におけるスポーツボランティア実施率」を算出することができる。区の過去1年間におけるスポーツボランティア実施率は20.2%である。

過去1年間におけるスポーツボランティア実施率は、国(10.6%)や都(14.6%)と比べて高くなっている。

(N=363)

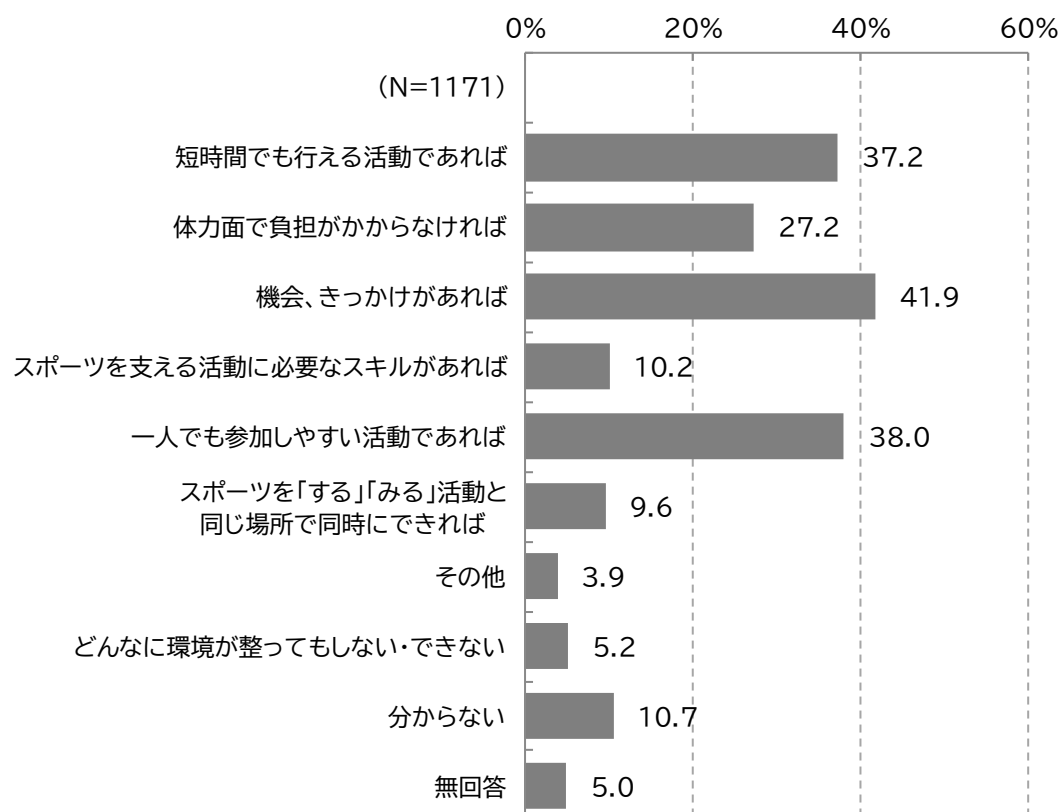


【比較】過去1年間におけるスポーツボランティア実施率

種類	割合
国	10.6 %
都	14.6 %
区	20.2 %

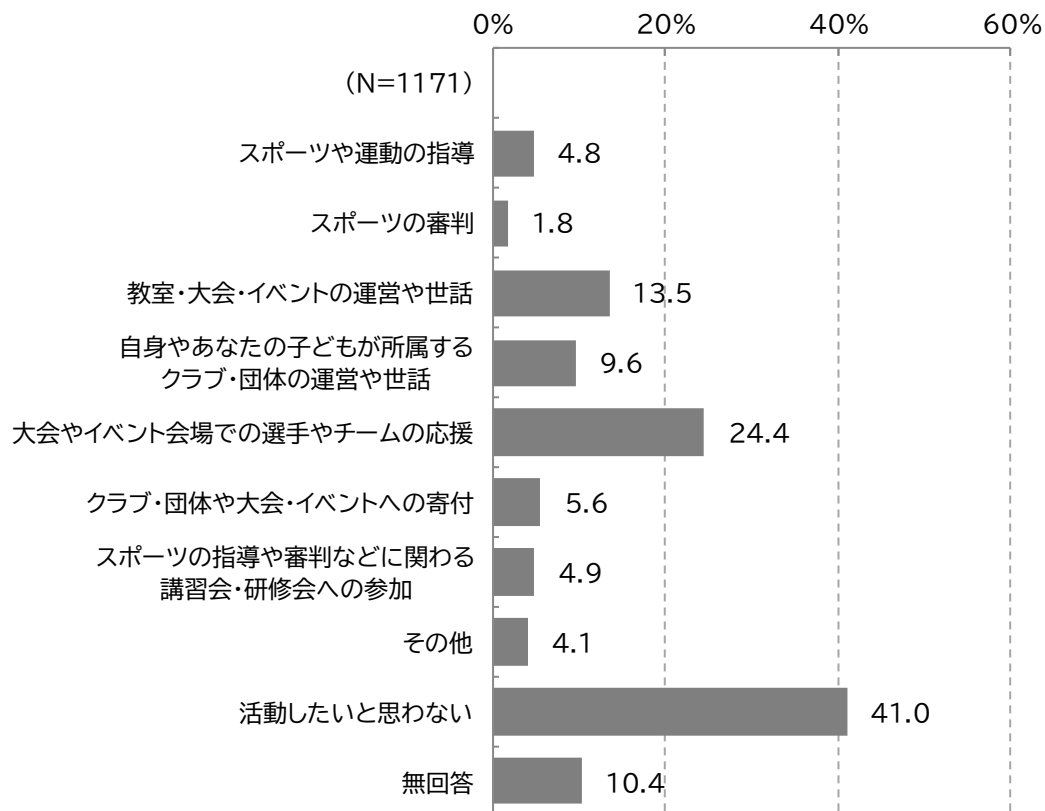
問 28 あなたは、どのような環境が整えば、スポーツや運動を支える活動を行えると思いますか、また活動する人を増やせるとと思いますか（○はいくつでも）

「機会、きっかけがあれば」が41.9%と最も多く、次いで「一人でも参加しやすい活動であれば」が38.0%、「短時間でも行える活動であれば」が37.2%となっている。



問 29 あなたが、今後実施したいスポーツや運動におけるボランティア活動は何ですか。（〇はいくつでも）

「活動したいと思わない」が 41.0%と最も多く、次いで「大会やイベント会場での選手やチームの応援」が 24.4%、「教室・大会・イベントの運営や世話」が 13.5%となっている。

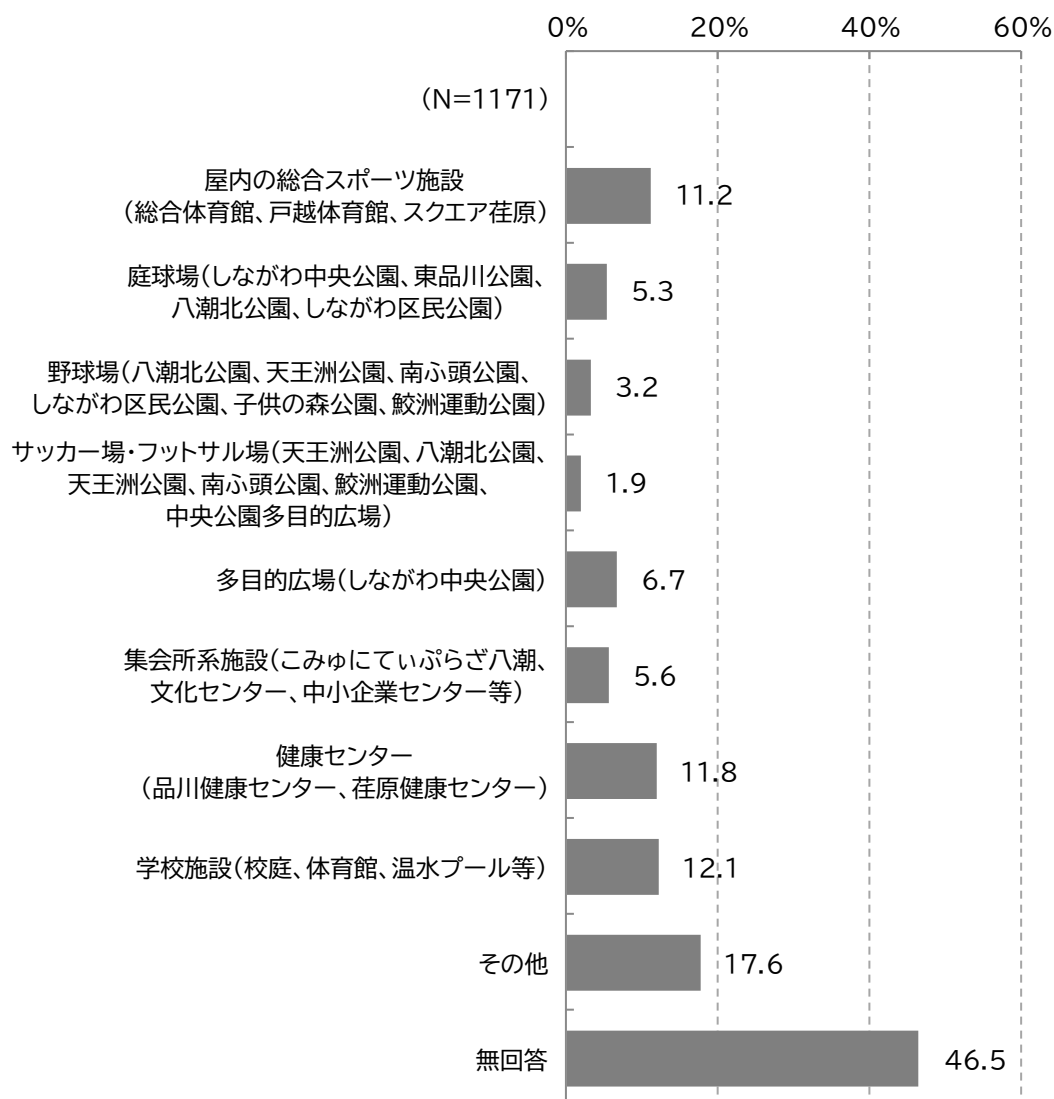


(6) 品川区のスポーツを取り巻く環境（施設・団体等）について

問 30 次のうち、過去1年間であなたがスポーツや運動を行うために利用したことのある区内の公共施設はありますか。（○はいくつでも）

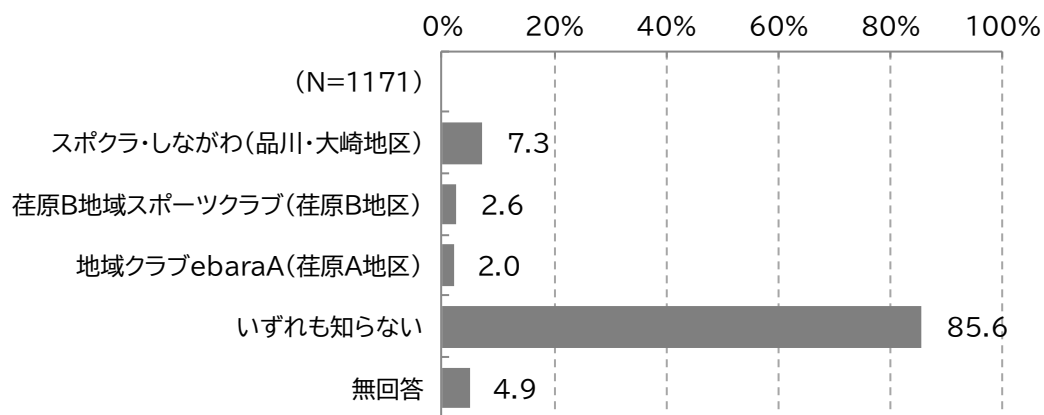
「その他」を除くと、「学校施設（校庭、体育館、温水プール等）」が12.1%と最も多く、次いで「健康センター（品川健康センター、荏原健康センター）」が11.8%、「屋内の総合スポーツ施設（総合体育館、戸越体育館、スクエア荏原）」が11.2%となっている。

なお、「その他」の回答をみると、「利用しなかった」が多くなっている。



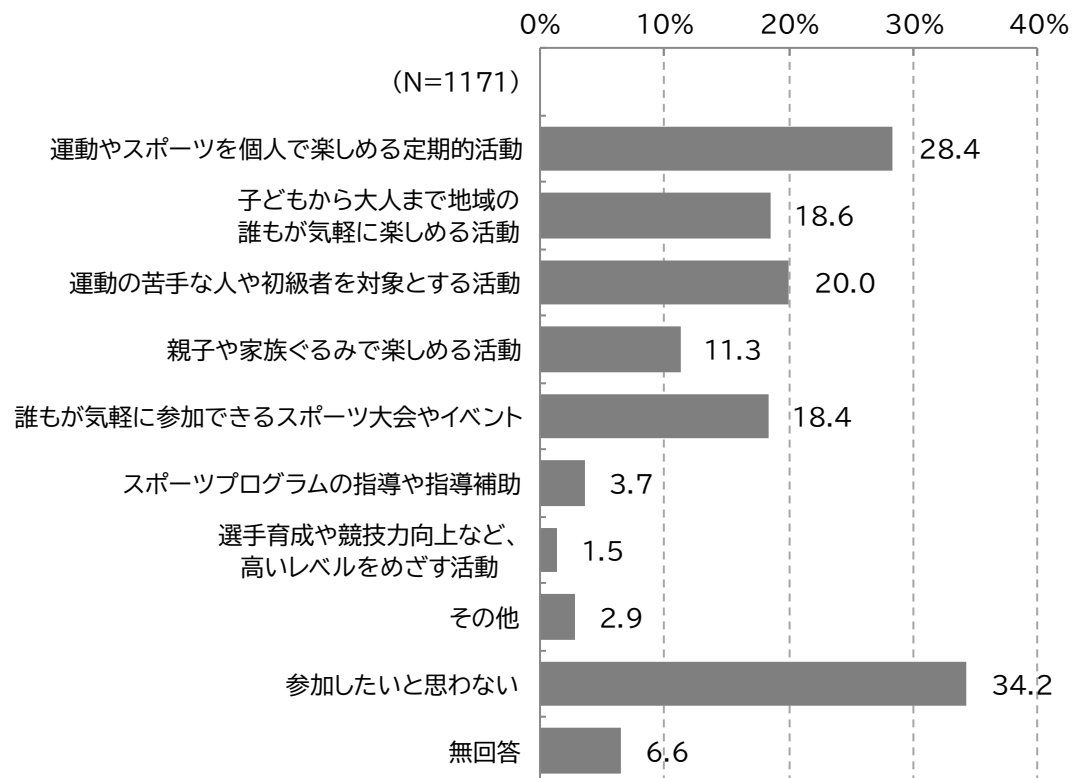
問 31 品川区には、だれでも、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しむことができ、地域の日常的なスポーツ活動の場として、子どもから大人まで、また、高齢の方や障害のある方を含めすべての人が参加でき、地域住民自らが主体となって運営する「地域スポーツクラブ」があります。次の地域スポーツクラブを知っていますか。(〇はいくつでも)

「いずれも知らない」が 85.6%と最も多く、次いで「スポクラ・しながわ（品川・大崎地区）」が 7.3%、「荏原B地域スポーツクラブ（荏原B地区）」が 2.6%となっている。



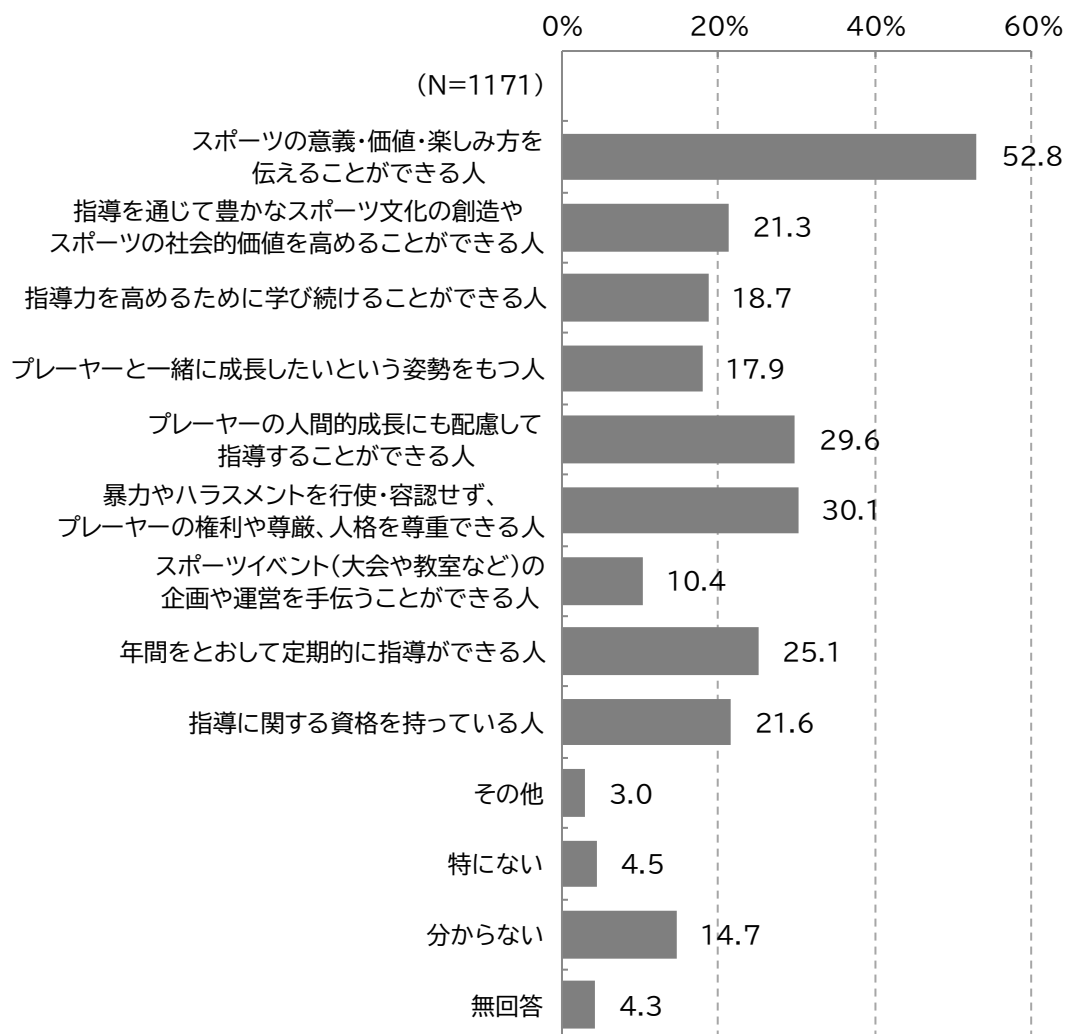
問 32 あなたは、「地域スポーツクラブ」でどのような活動に参加したいと思いますか。（〇はいくつでも）

「参加したいと思わない」が 34.2%と最も多く、次いで「運動やスポーツを個人で楽しめる定期的活動」が 28.4%、「運動の苦手な人や初級者を対象とする活動」が 20.0%となっている。



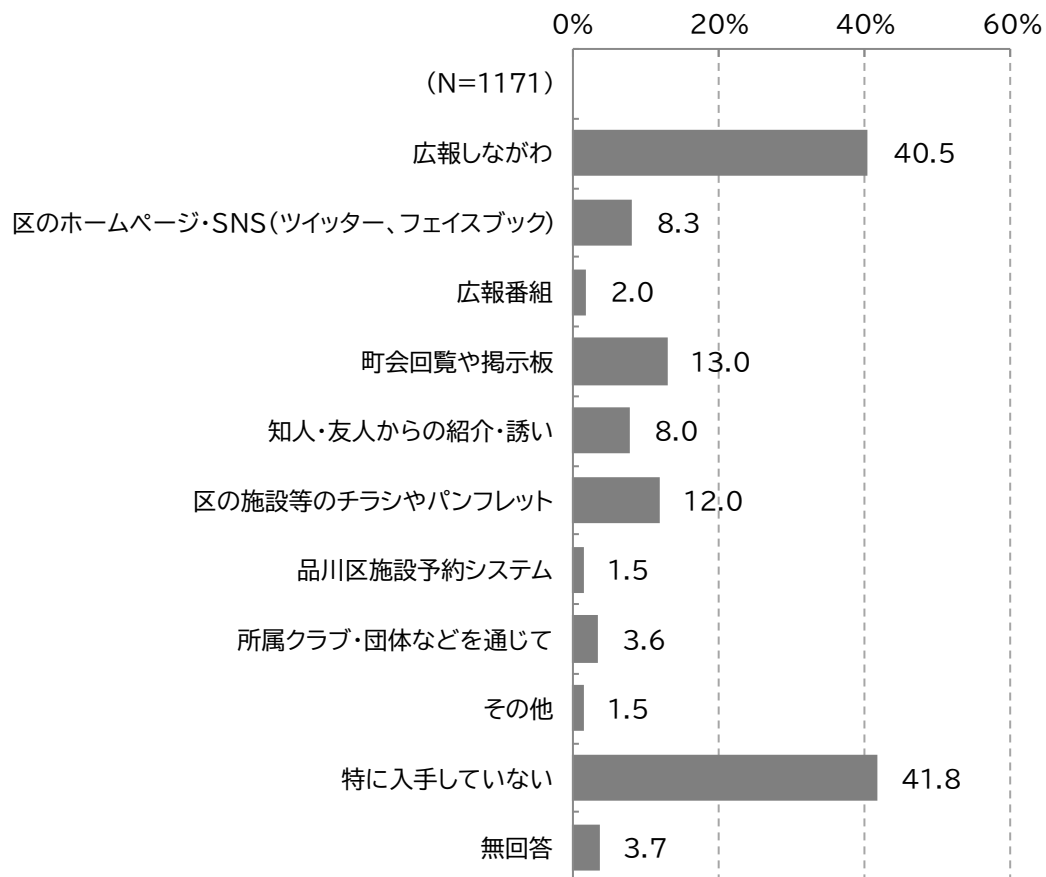
問 33 区民のスポーツや運動を推進するために、どのようなスポーツ指導者が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「スポーツの意義・価値・楽しみ方を伝えることができる人」が 52.8%と最も多く、次いで「暴力やハラスメントを行使・容認せず、プレーヤーの権利や尊厳、人格を尊重できる人」が 30.1%、「プレーヤーの人的成長にも配慮して指導することができる人」が 29.6%となっている。



問 34 あなたは、品川区のスポーツや運動に関する情報をどのようにして入手していますか。(〇はいくつでも)

「特に入手していない」が41.8%と最も多く、次いで「広報しながわ」が40.5%、「町会回覧や掲示板」が13.0%となっている。



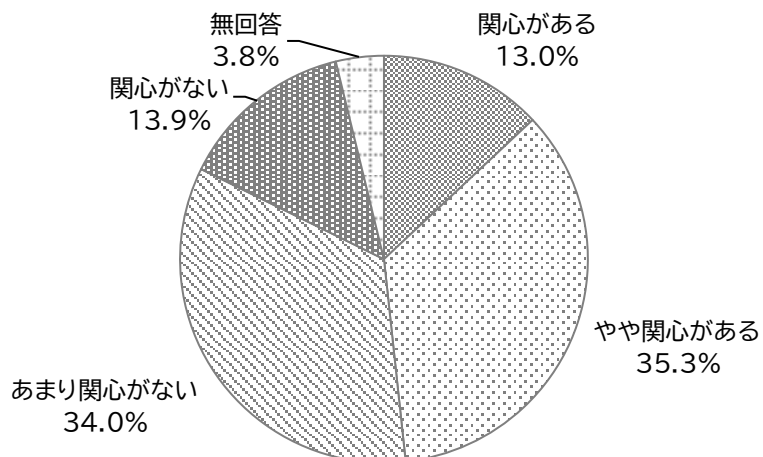
(7) 障害者スポーツについて

問 35 あなたは、障害者スポーツに関心がありますか。(○は1つ)

「関心がある」(「関心がある」と「やや関心がある」の合計)が48.3%、「関心がない」(「関心がない」と「あまり関心がない」の合計)が47.9%となっている。

「関心がある」(「関心がある」と「やや関心がある」の合計)の割合は、都(59.2%)と比べて低くなっている。

(N=1171)



【比較】障害者スポーツに関心がある人の割合

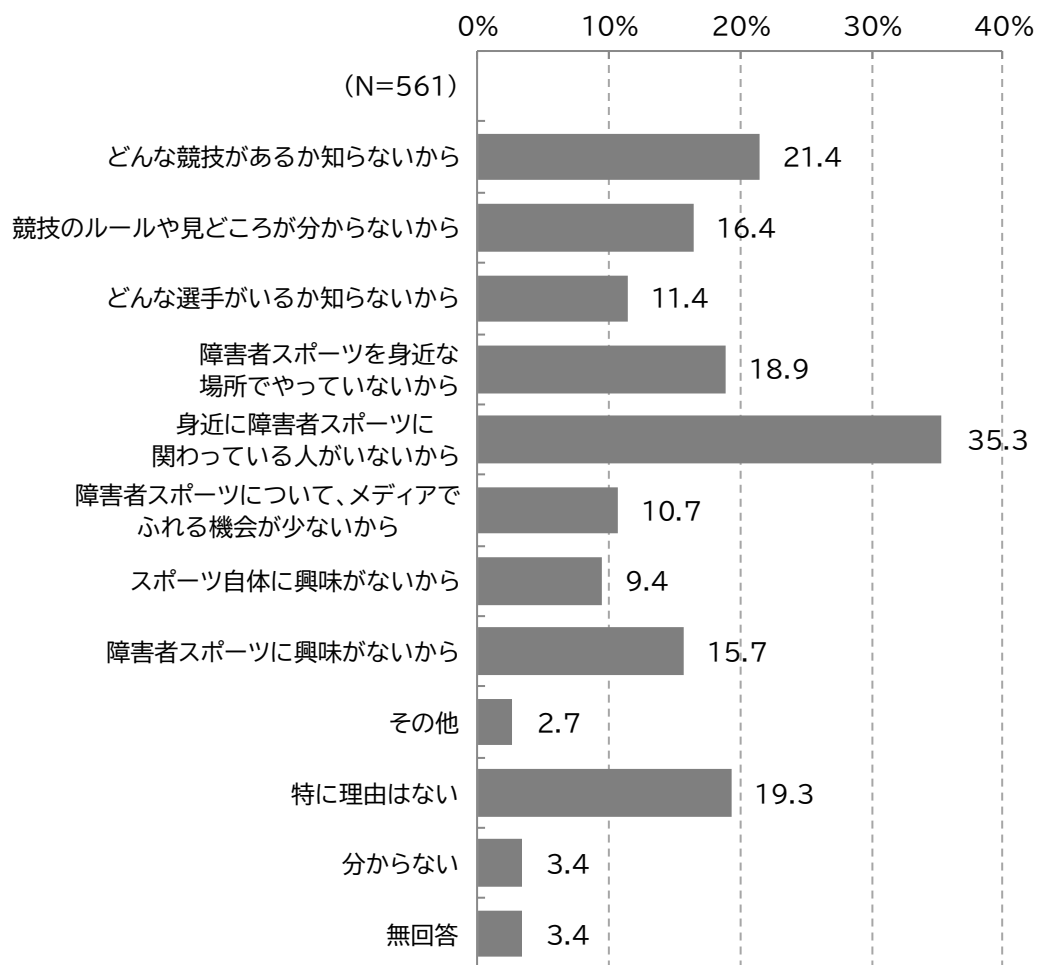
種類	割合
都	59.2 %
区	48.3 %

注)「関心がある」の割合は、「関心がある」と「やや関心がある」の合計である。

問 36 あなたが、障害者スポーツに関心がない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「身近に障害者スポーツに関わっている人がいないから」が 35.3%と最も多く、次いで「どんな競技があるか知らないから」が 21.4%、「特に理由はない」が 19.3%となっている。

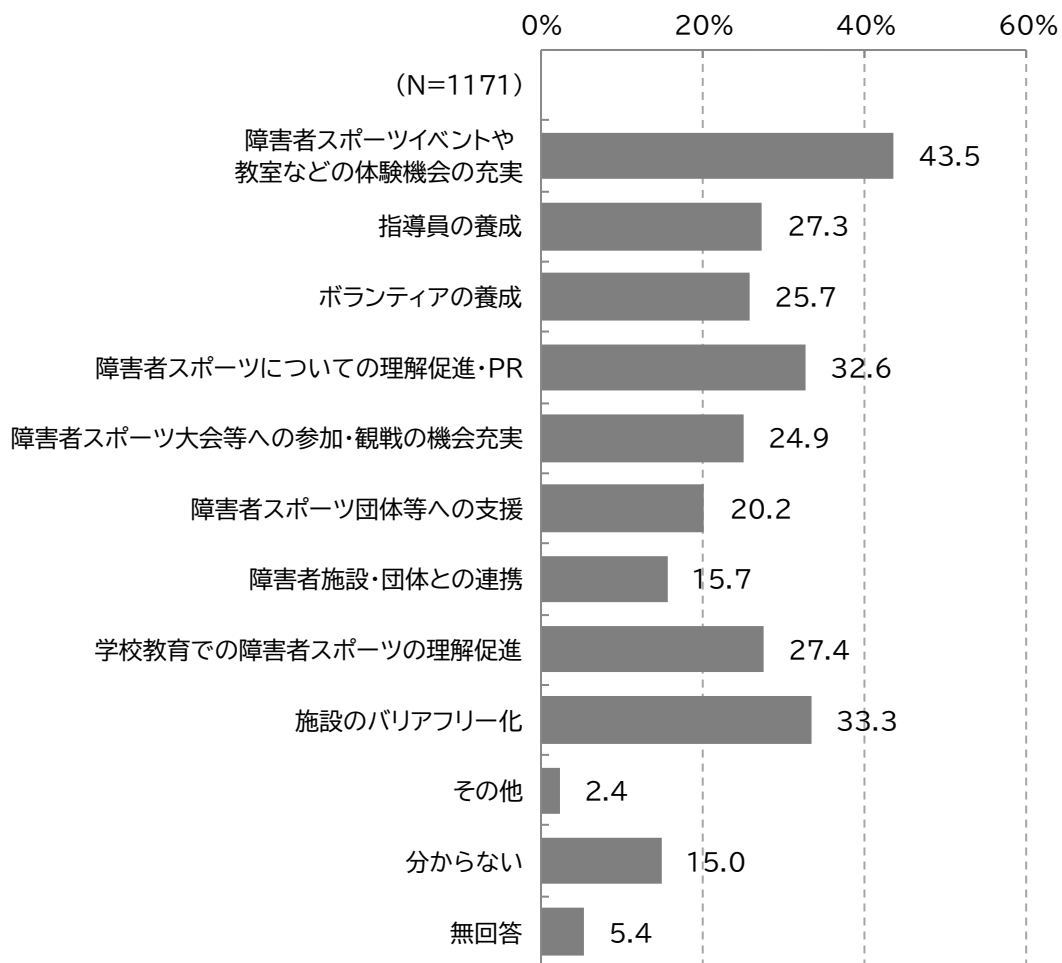
都と比べると、「身近に障害者スポーツに関わっている人がいないから」と「どんな競技があるか知らないから」という理由が上位 3 位以内にみられるのは類似した傾向となっているが、区は「特に理由はない」の順位が高くなっている。



種類	1位	2位	3位
都	身近に障害者スポーツに関わっている人がいないから 21.5 %	どんな選手がいるか知らないから 21.2 %	どんな競技があるか知らないから 18.9 %
区	身近に障害者スポーツに関わっている人がいないから 35.3 %	どんな競技があるか知らないから 21.4 %	特に理由はない 19.3 %

問 37 あなたは、品川区において、障害のある人でもスポーツや運動を実施しやすい環境をつくるためにはどのような取り組みが必要と思いますか。（〇はいくつでも）

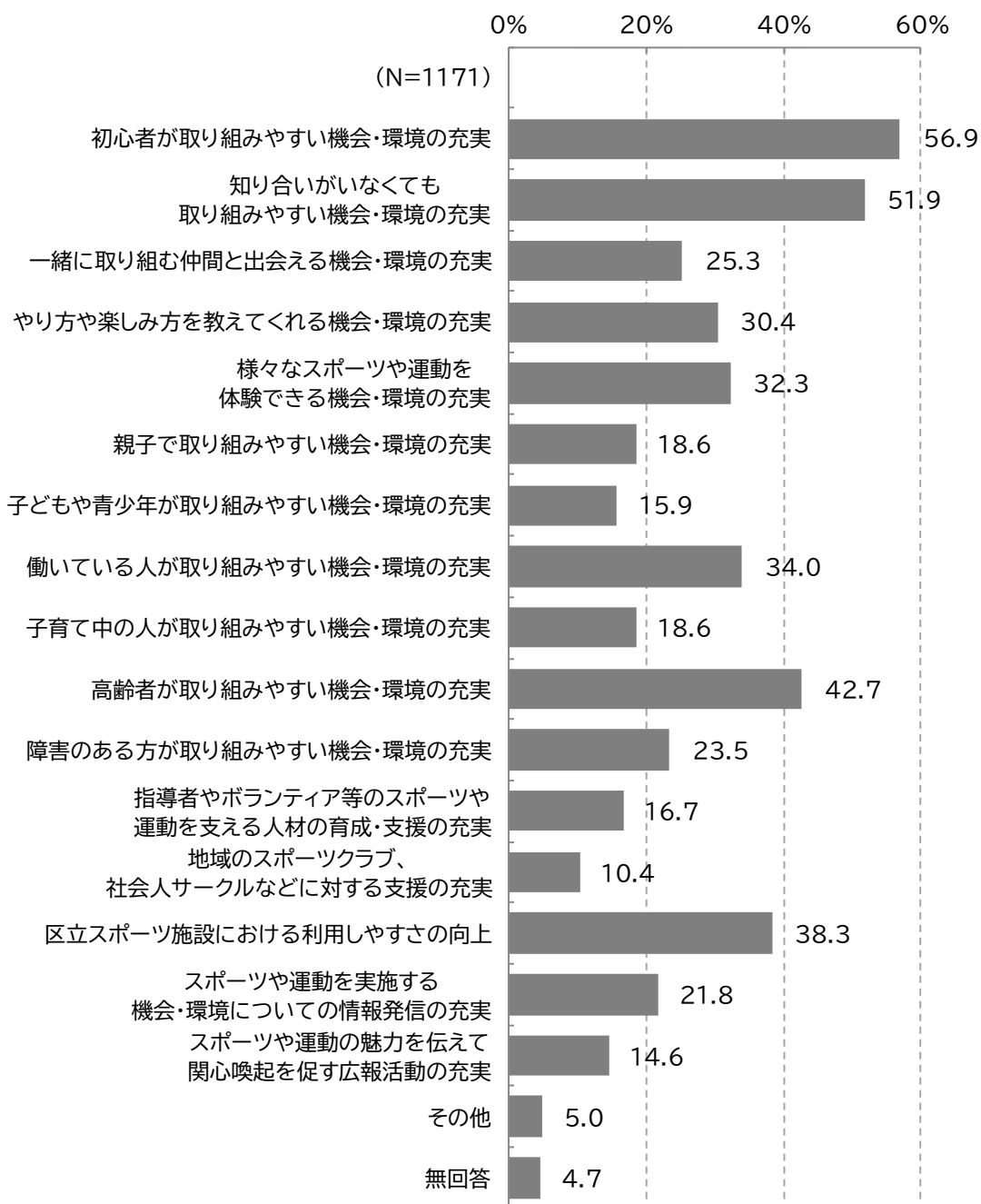
「障害者スポーツイベントや教室などの体験機会の充実」が43.5%と最も多く、次いで「施設のバリアフリー化」が33.3%、「障害者スポーツについての理解促進・PR」が32.6%となっている。



(8) 品川区のスポーツ施策について

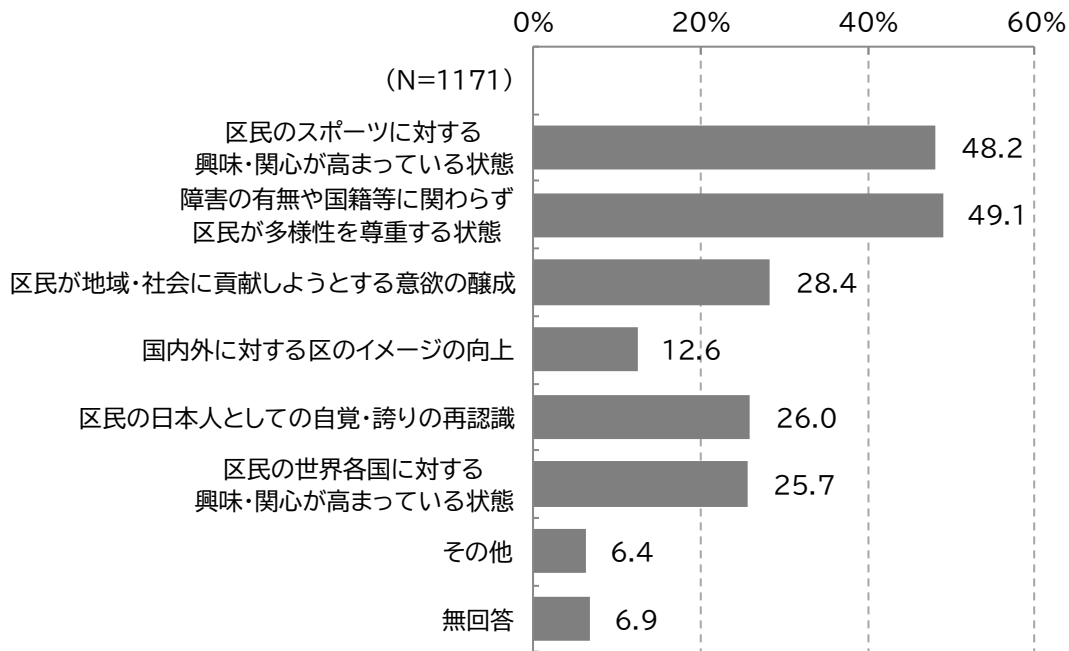
問 38 あなたは、品川区でスポーツや運動を実施する人が増えるために、重点的に進めた方が良い施策は何だと思いますか。(〇はいくつでも)

「初心者が取り組みやすい機会・環境の充実」が56.9%と最も多く、次いで「知り合いがいなくても取り組みやすい機会・環境の充実」が51.9%、「高齢者が取り組みやすい機会・環境の充実」が42.7%となっている。



問 39 あなたが、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催後に期待すること（レガシー）は何ですか。（〇はいくつでも）

「障害の有無や国籍等に関わらず区民が多様性を尊重する状態」が 49.1%と最も多く、次いで「区民のスポーツに対する興味・関心が高まっている状態」が 48.2%、「区民が地域・社会に貢献しようとする意欲の醸成」が 28.4%となっている。

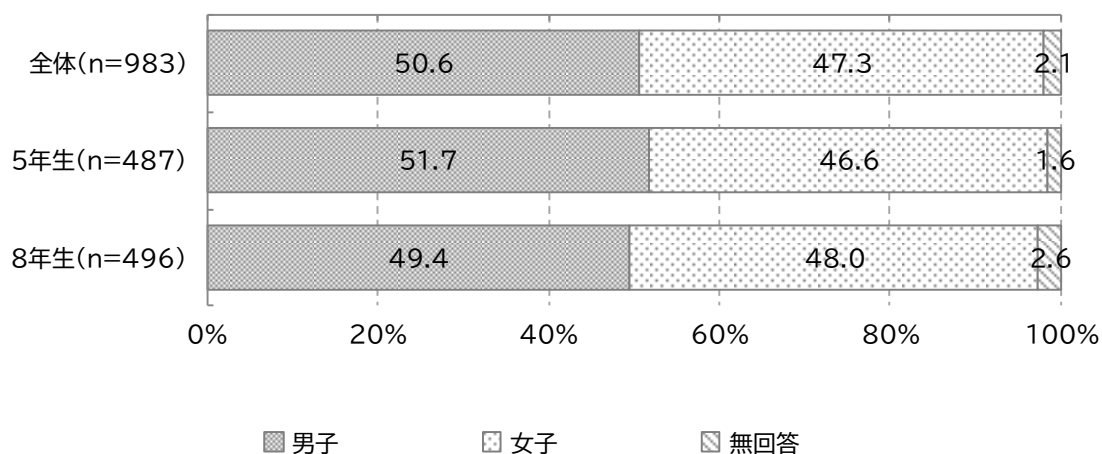


2. 児童・生徒向け調査

(1) 回答者自身に対する項目について

問1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つ)

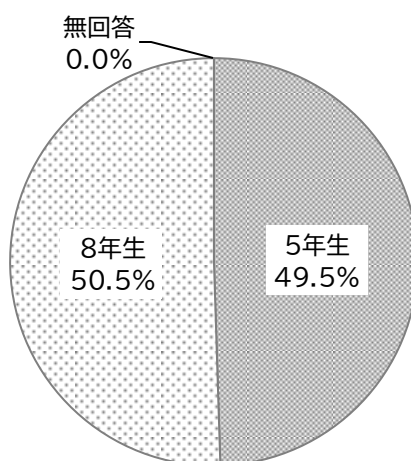
全体をみると、「男子」が50.6%、「女子」が47.3%となっている。



問2 あなたの学年はどちらですか。(○は1つ)

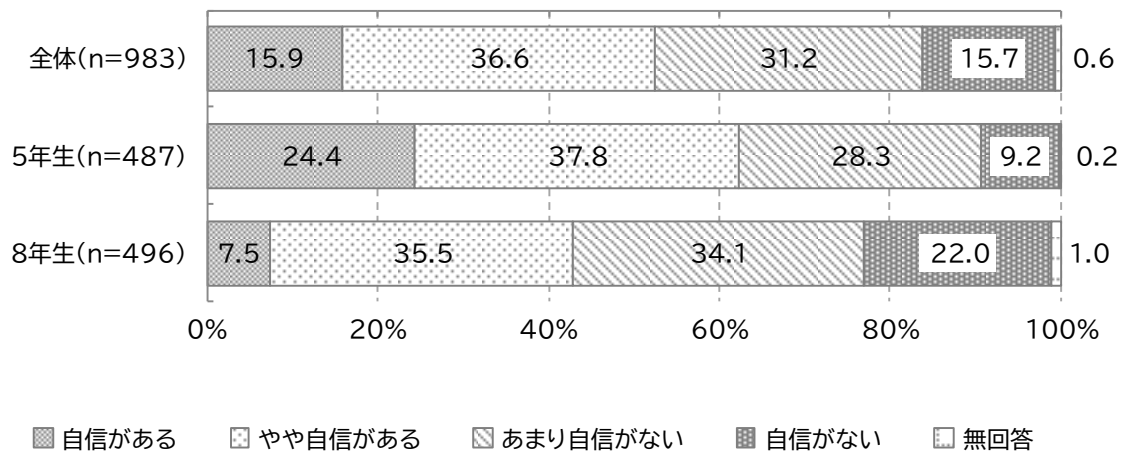
「5年生」が49.5%、「8年生」が50.5%となっている。

(N=983)



問3 あなたは、自分の体力・運動能力に自信がありますか。(○は1つ)

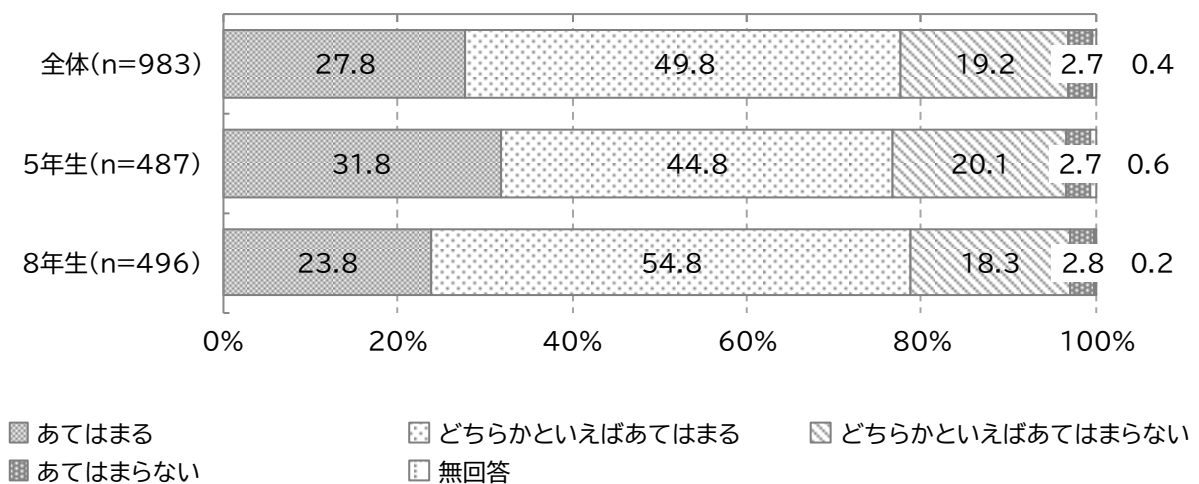
全体をみると、「自信がある」(「自信がある」と「やや自信がある」の合計)が52.5%、「自信がない」(「自信がない」と「あまり自信がない」の合計)が46.9%となっている。



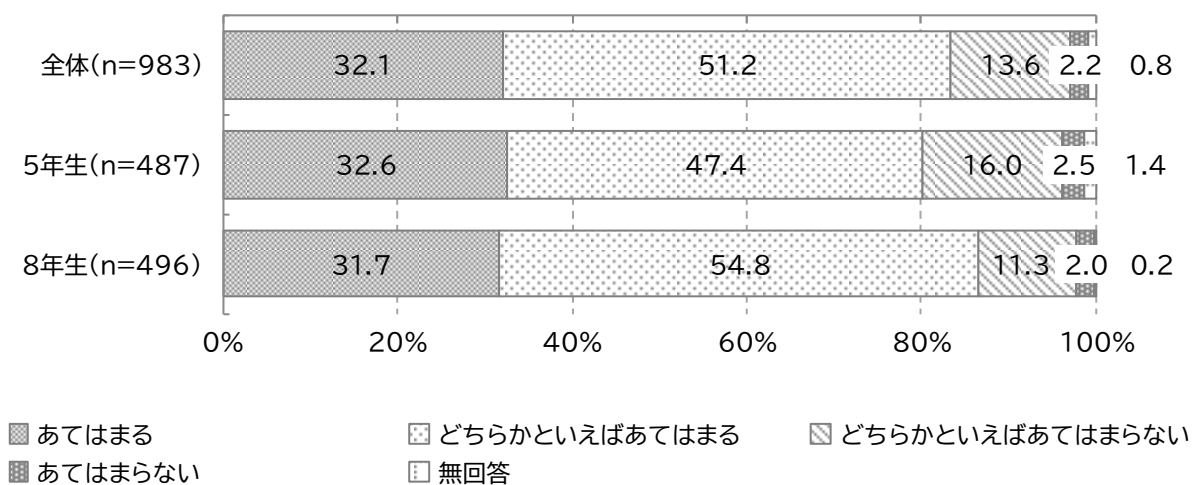
問4 あなたは、次のことがどのくらいあてはまりますか。あてはまる番号を1つずつ選んでください。(それぞれ○は1つ)

全体について、「あてはまる」(「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計)をみると、「社会の様々な人々の個性を尊重し、認め合いながら関わることができる」が83.3%と最も多く、次いで「自分が所属する集団の目標の達成に向け、自分の役割や責任を考えて行動できる」が82.5%、「自分で判断し、責任をもって行動しようとしている」が77.6%となっている。

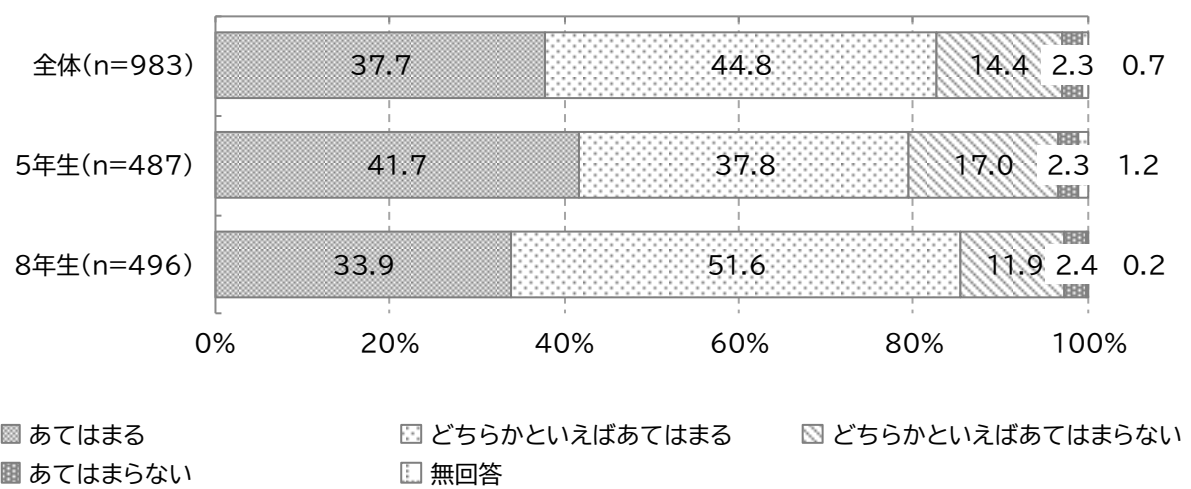
<ア 自分で判断し、責任をもって行動しようとしている>



<イ 社会の様々な人々の個性を尊重し、認め合いながら関わる事ができる>



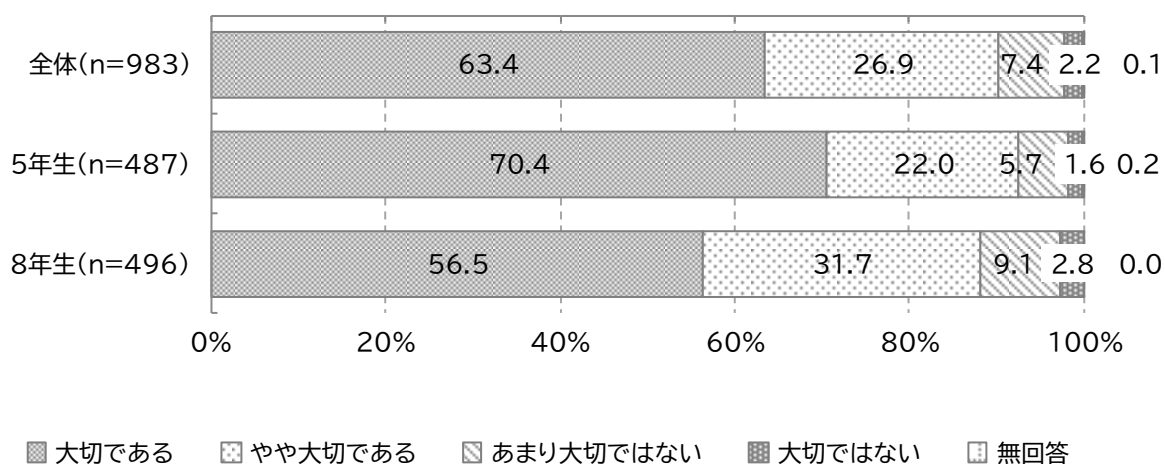
＜ウ 自分が所属する集団の目標の達成に向け、自分の役割や責任を考えて行動できる＞



(2) スポーツや運動について

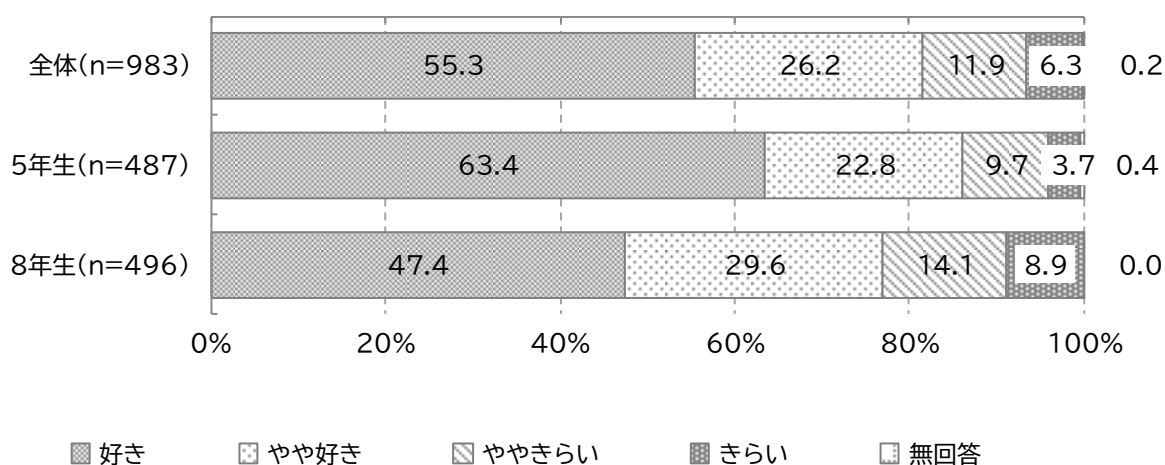
問5 あなたにとって、スポーツや運動（体を動かす遊びをふくむ）は大切なものですか。（○は1つ）

全体をみると、「大切である」（「大切である」と「やや大切である」の合計）が90.3%、「大切ではない」（「大切ではない」と「あまり大切ではない」の合計）が9.6%となっている。



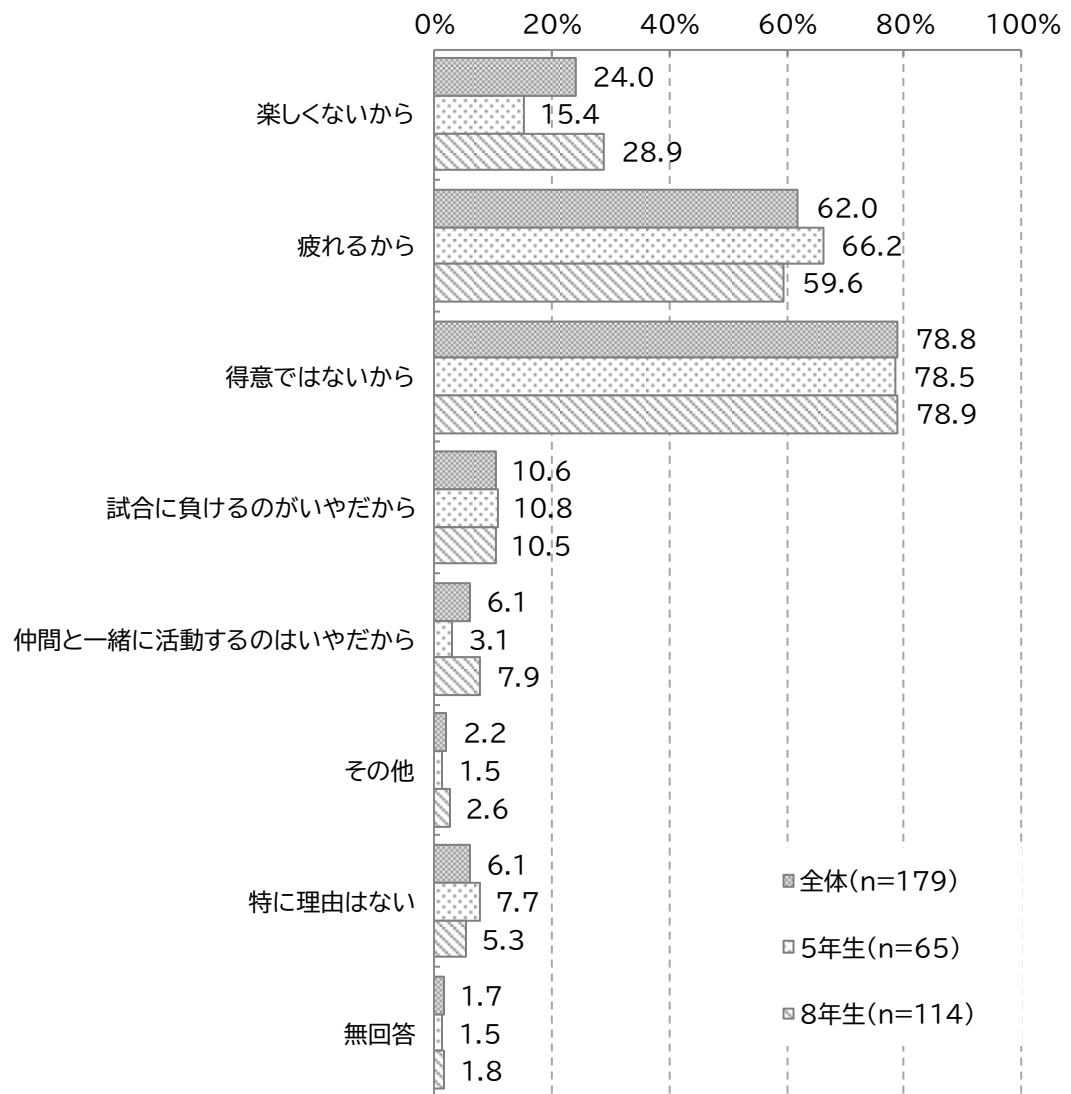
問6 あなたは、スポーツや運動をすることは好きですか。（○は1つ）

全体をみると、「好き」（「好き」と「やや好き」の合計）が81.5%、「嫌い」（「嫌い」と「やや嫌い」の合計）が18.2%となっている。



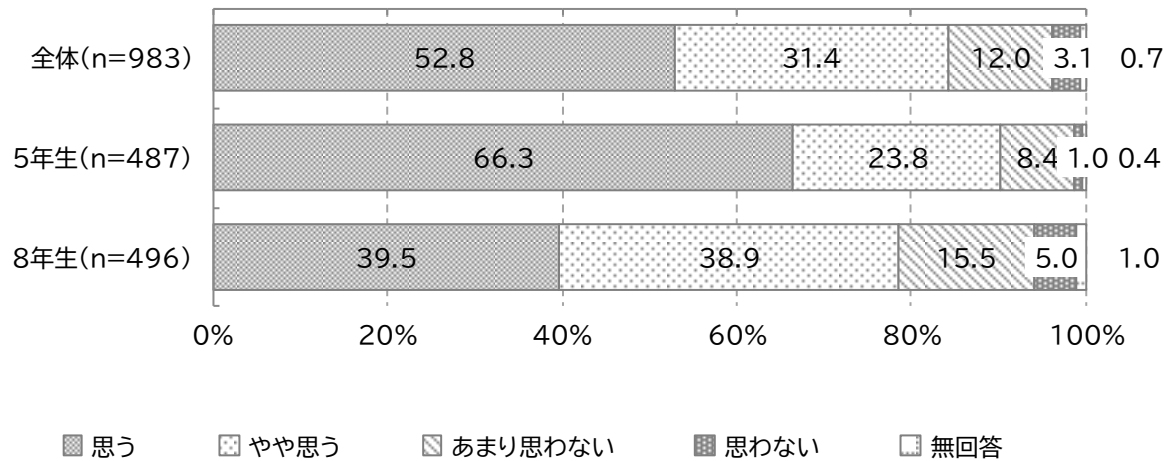
問7 あなたは、スポーツや運動をするのがきらいな理由は何ですか。(〇はいくつでも)

全体をみると、「得意ではないから」が78.8%と最も多く、次いで「疲れるから」が62.0%、「楽しくないから」が24.0%となっている。



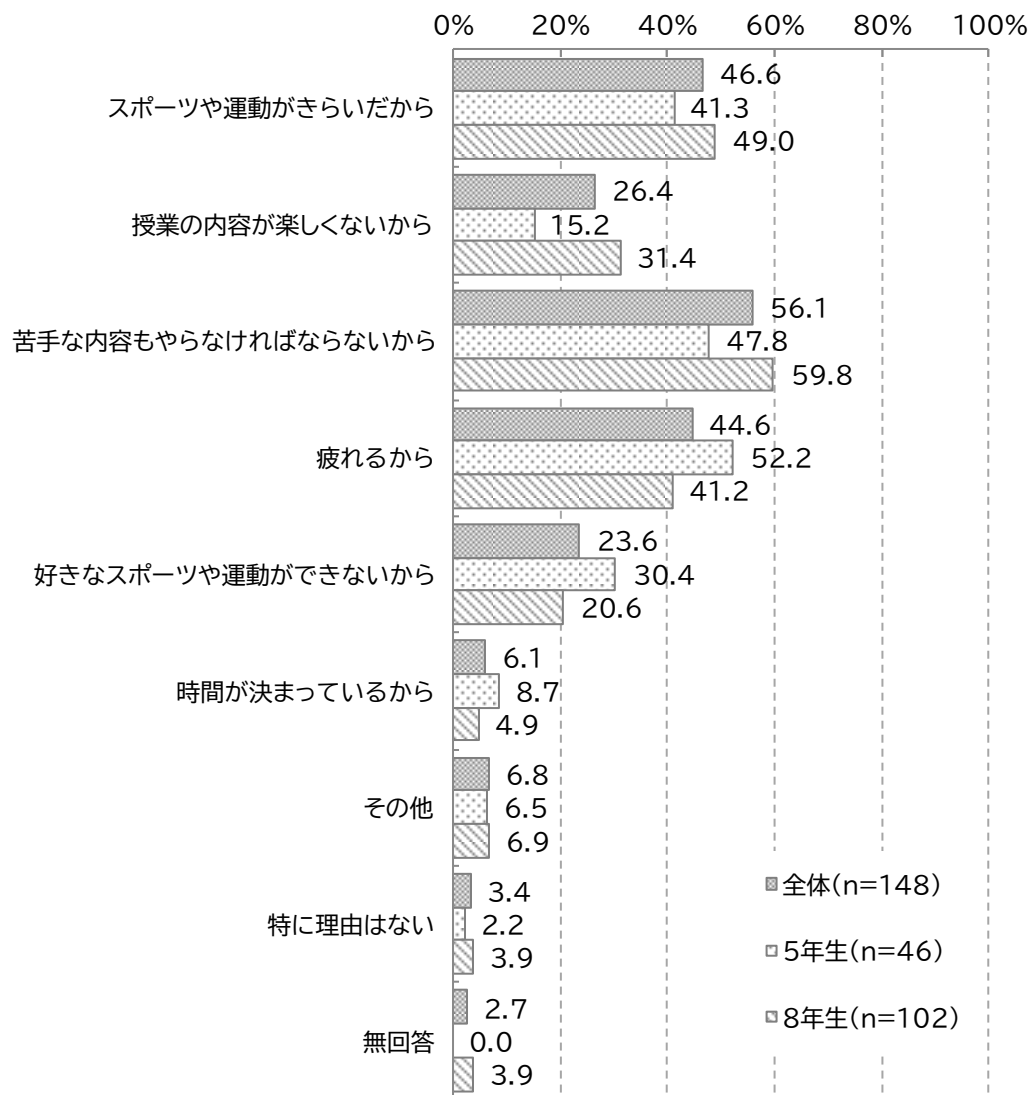
問8 あなたは、体育の授業を楽しめますか。(○は1つ)

全体をみると、「思う」(「思う」と「やや思う」の合計)が84.2%、「思わない」(「思わない」と「あまり思わない」の合計)が15.1%となっている。



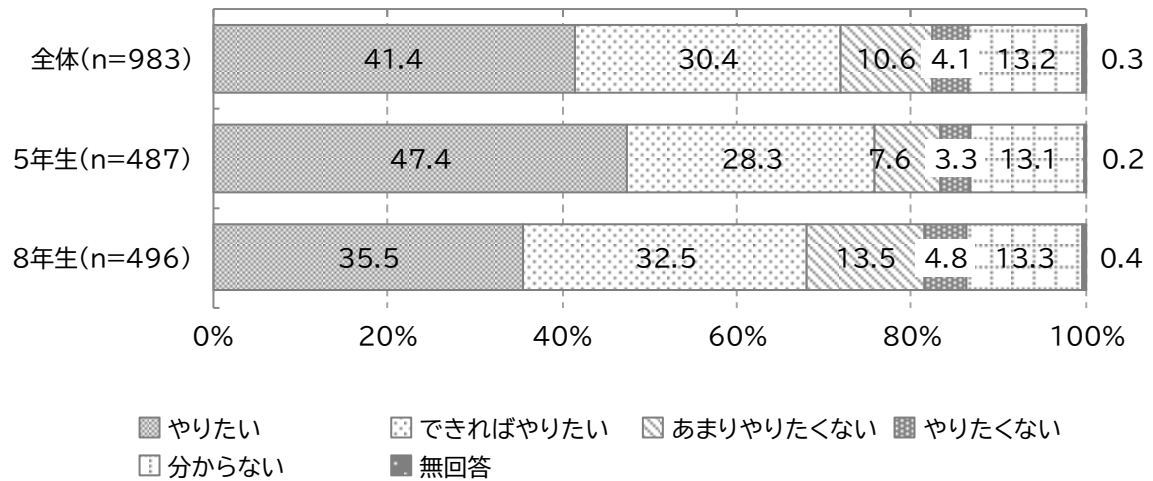
問9 あなたが、体育の授業を楽しいと思わない理由は何ですか。(○はいくつでも)

全体をみると、「苦手な内容もやらなければならないから」が56.1%と最も多く、次いで「スポーツや運動がきらいだから」が46.6%、「疲れるから」が44.6%となっている。



問 10 あなたは、大人になってからもスポーツや運動をしたいと思いますか。(○はいくつでも)

全体をみると、「やりたい」(「やりたい」と「できればやりたい」の合計)が 71.8%、「やりたくない」(「やりたくない」と「あまりやりたくない」の合計)が 14.7%となっている。

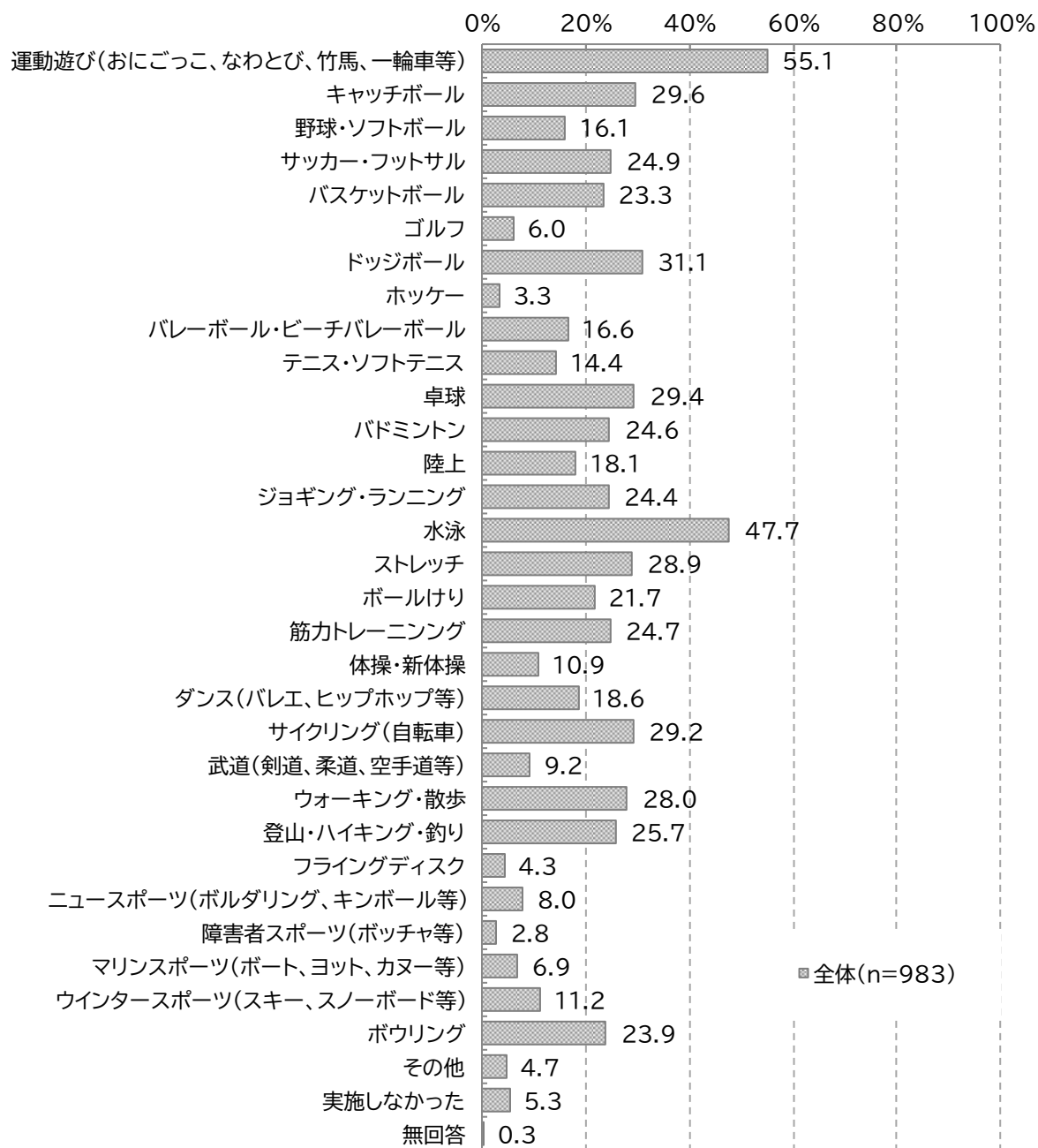


(3) スポーツの実施状況等について

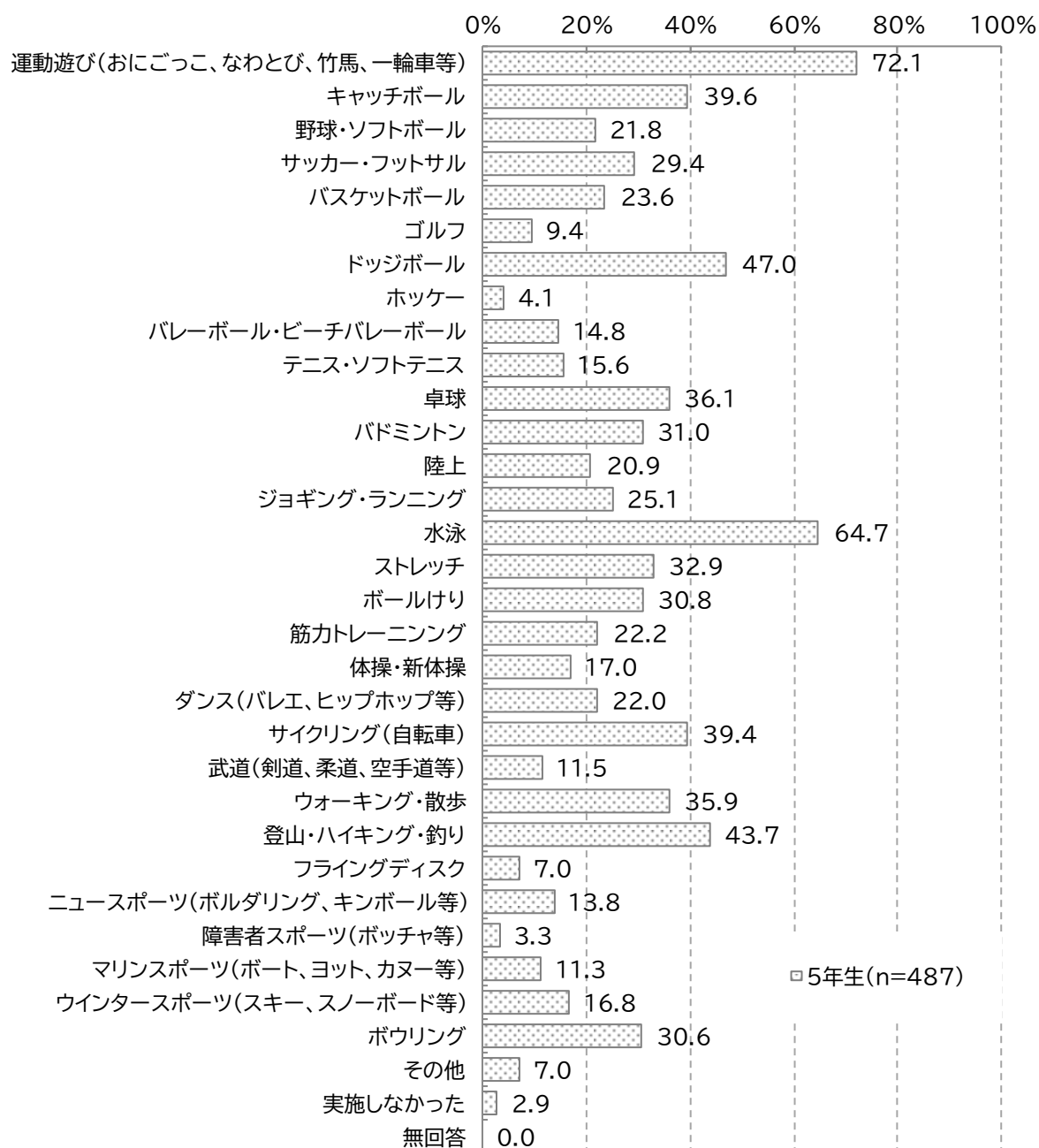
問 11 あなたがこの1年間で、体育の授業のほかに、1日30分以上実施したスポーツや運動は何ですか。(〇はいくつでも)

全体をみると、「運動遊び(おにごっこ、なわとび、竹馬、一輪車等)」が55.1%と最も多く、次いで「水泳」が47.7%、「ドッジボール」が31.1%となっている。

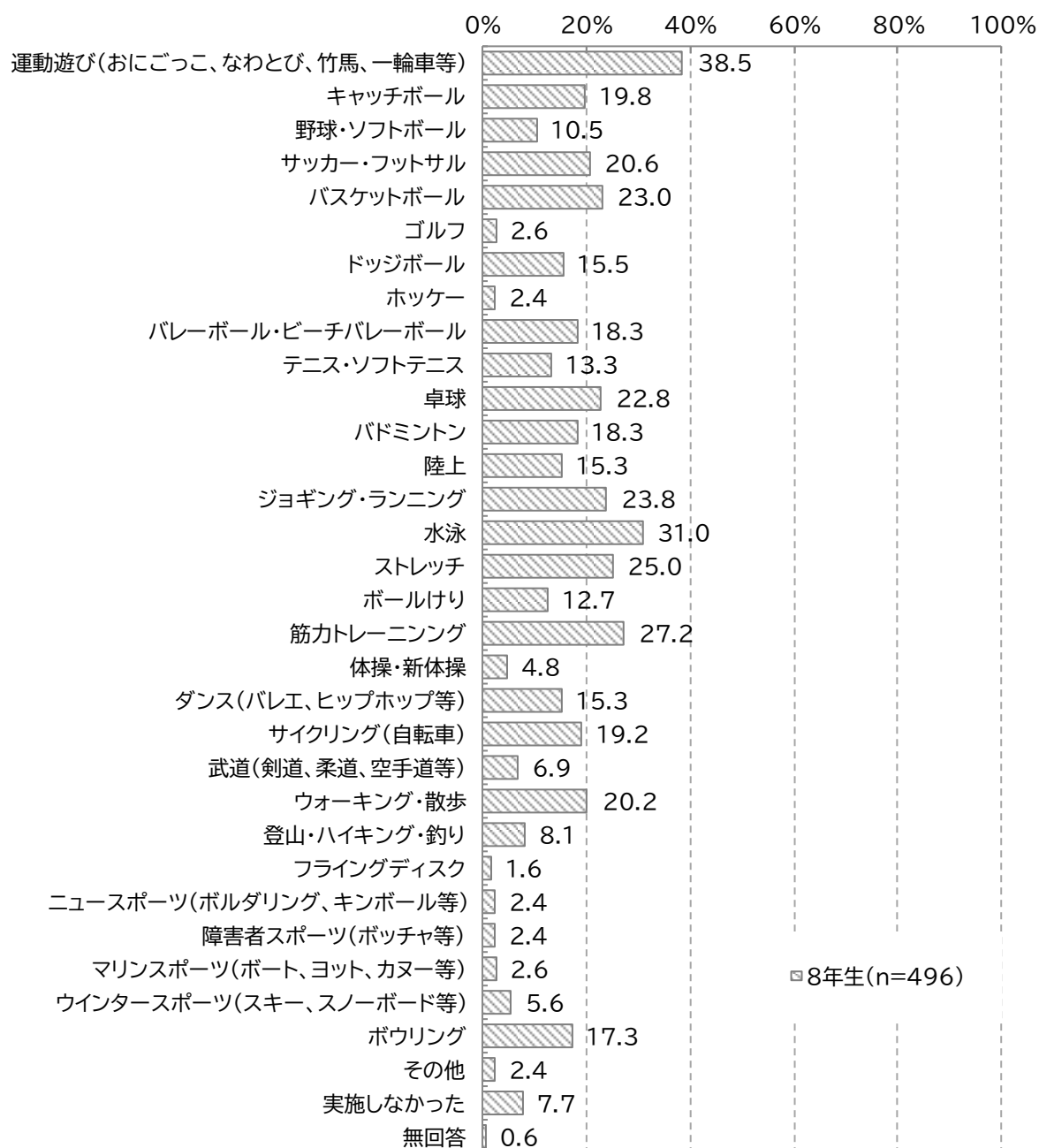
<全体>



< 5 年生 >

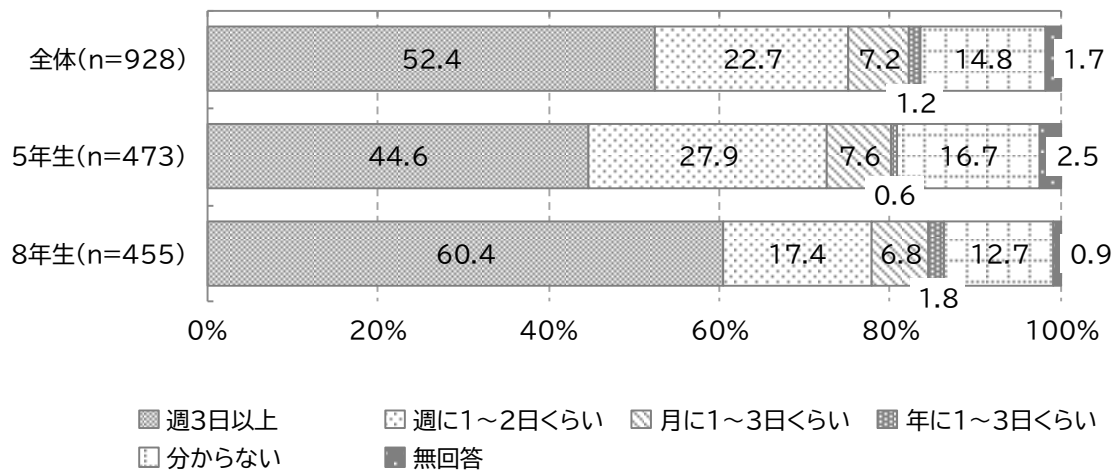


< 8 年生 >



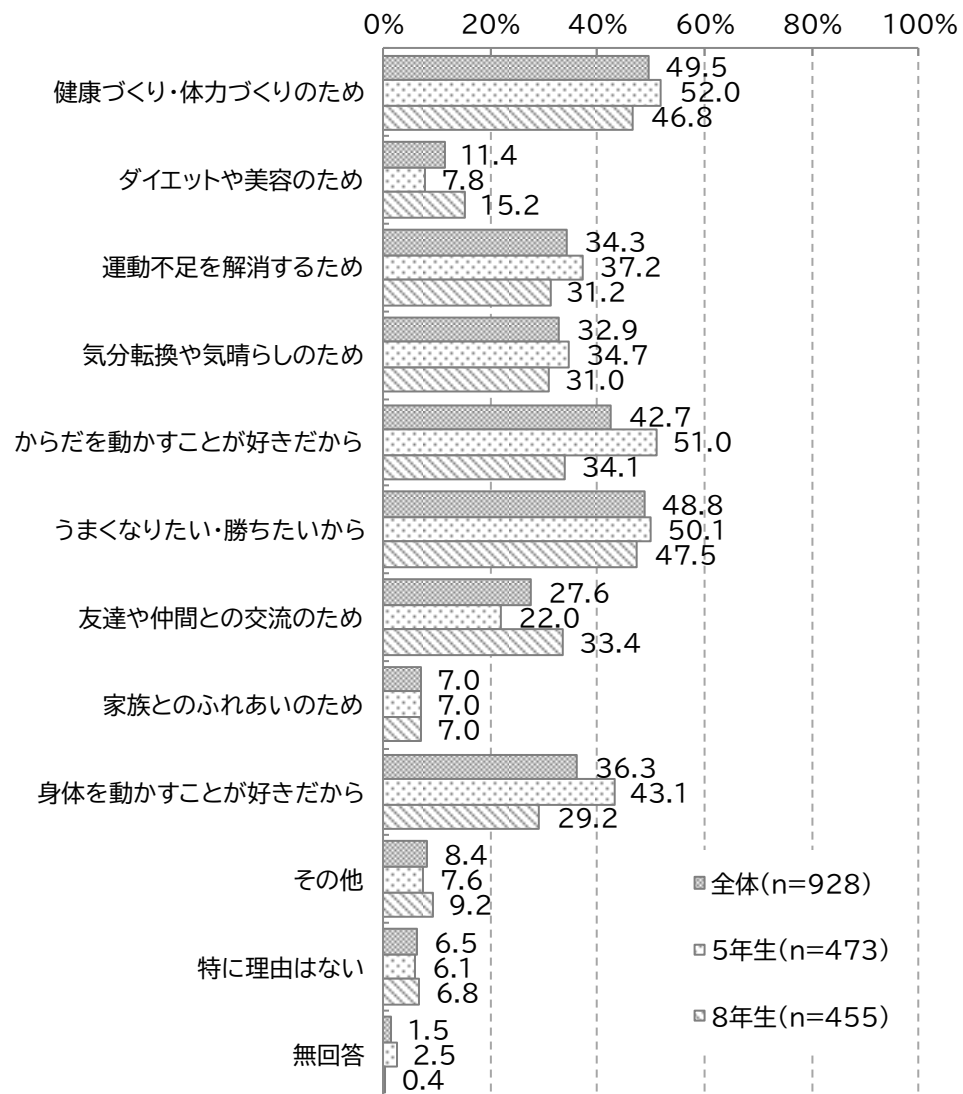
問 12 体育の授業のほかに、あなたが、そのスポーツや運動を実施した日数を全部合わせると何日くらいになりますか。(○は1つ)

全体をみると、「週3日以上」が52.4%と最も多く、次いで「週に1～2日くらい」が22.7%、「分からない」が14.8%となっている。



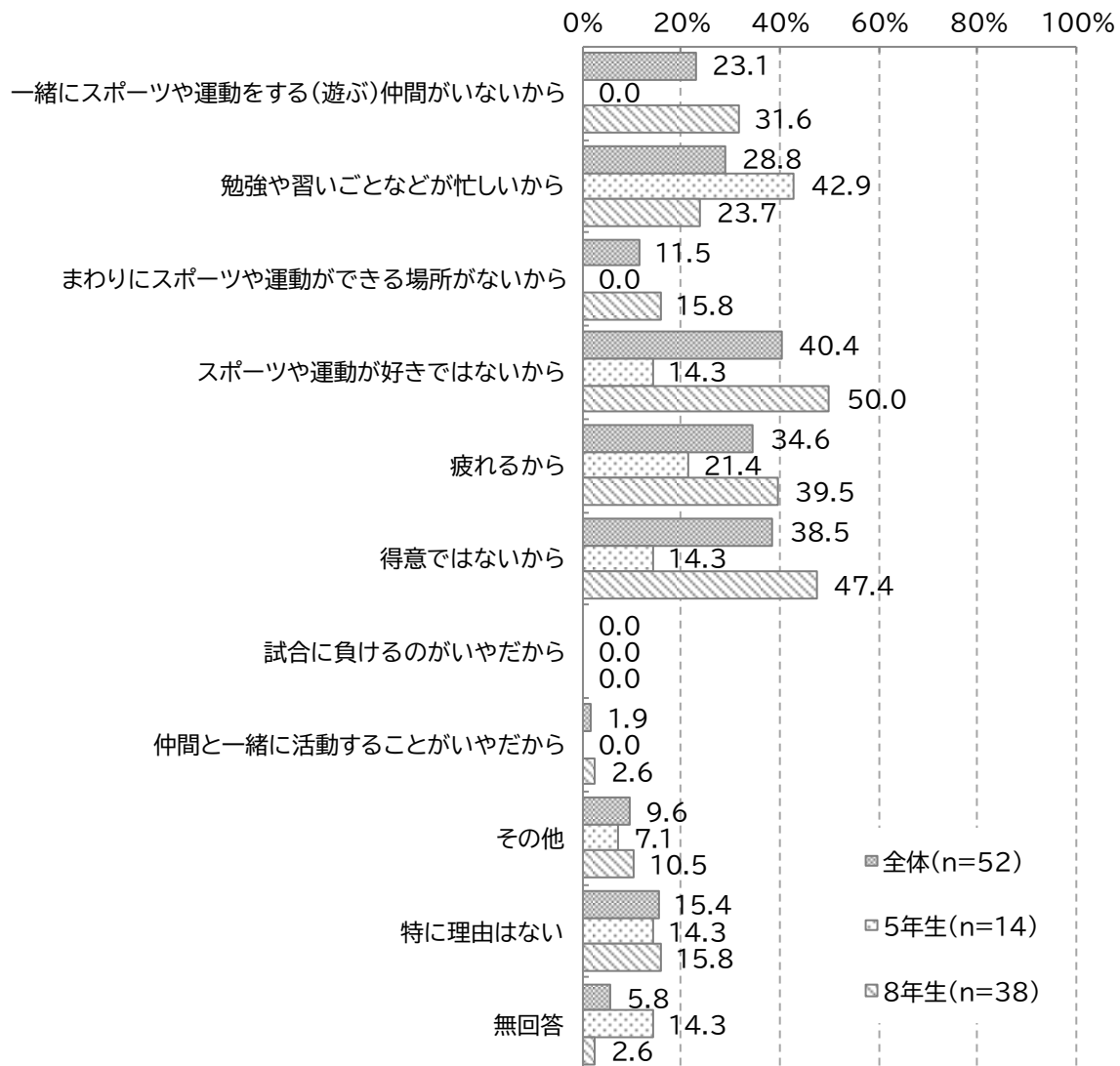
問 13 スポーツや運動を実施した理由は何ですか。(〇はいくつでも)

全体をみると、「健康づくり・体力づくりのため」が49.5%と最も多く、次いで「うまくなりたい・勝ちたいから」が48.8%、「からだを動かすことが好きだから」が42.7%となっている。



問 14 体育の授業のほかに、あなたがスポーツや運動をしていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

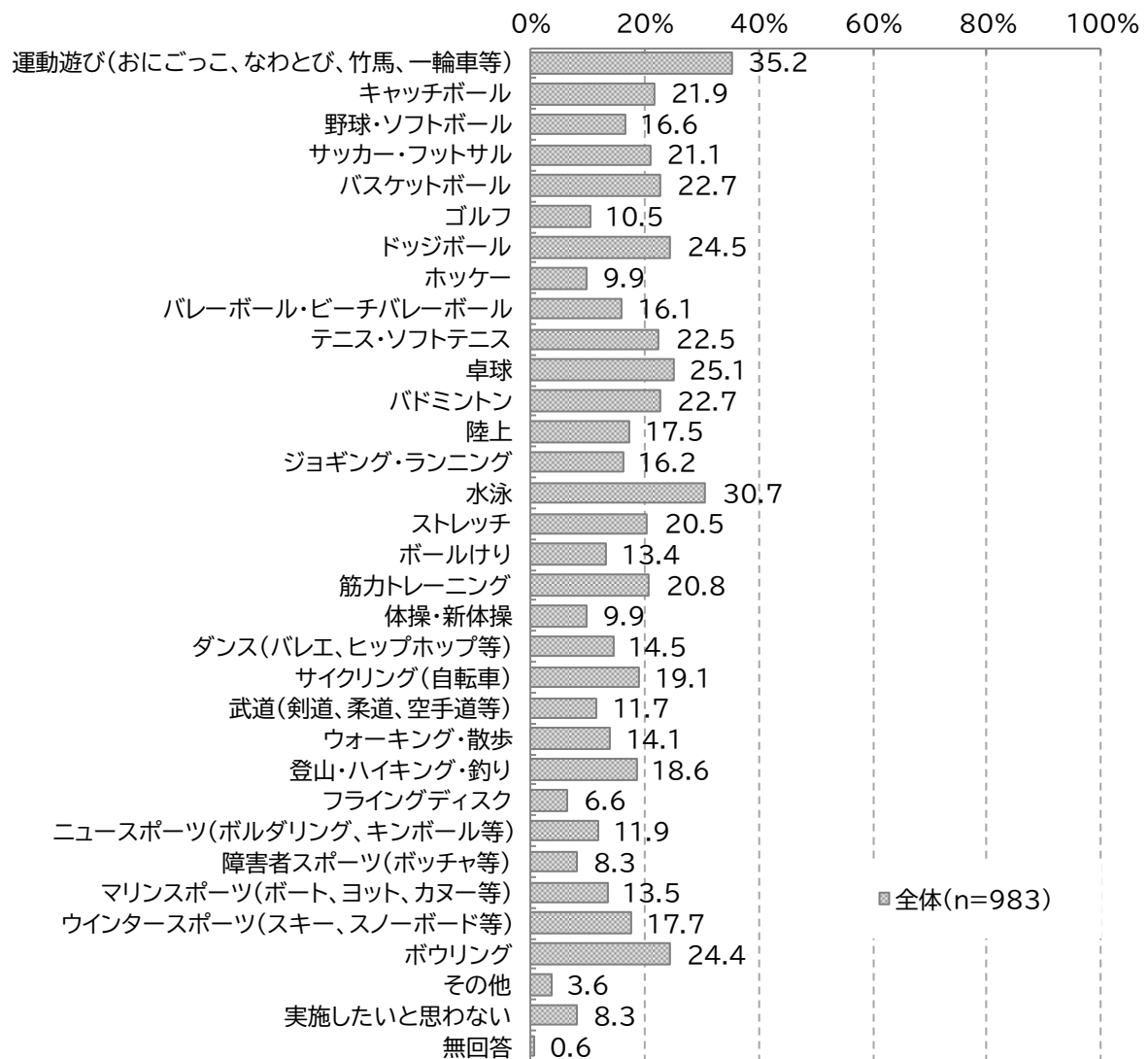
全体をみると、「スポーツや運動が好きではないから」が40.4%と最も多く、次いで「得意ではないから」が38.5%、「疲れるから」が34.6%となっている。



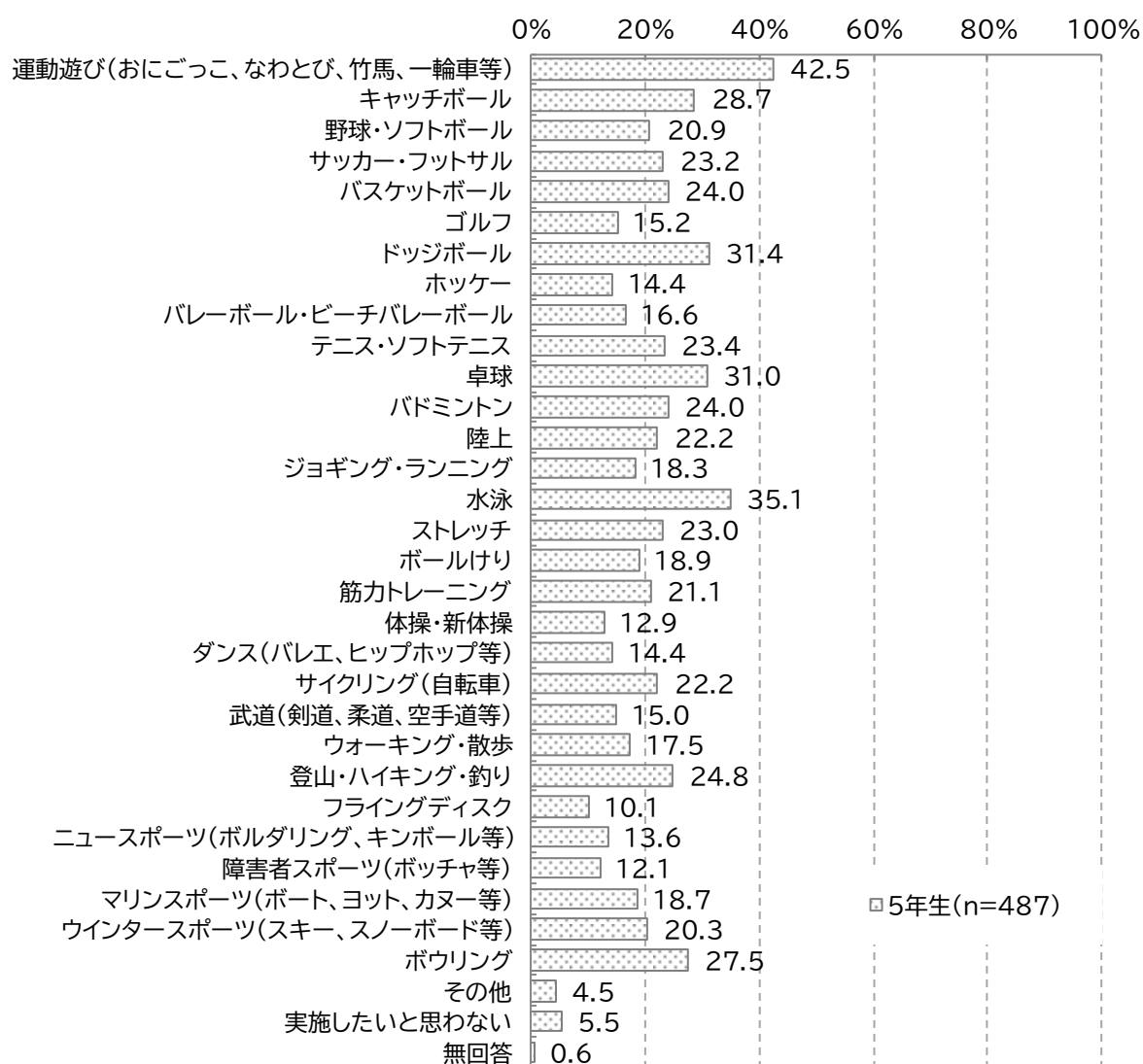
問 15 あなたが、今後実施したいスポーツや運動は何ですか。(〇はいくつでも)

全体をみると、「運動遊び(おにごっこ、なわとび、竹馬、一輪車等)」が 35.2%と最も多く、次いで「水泳」が 30.7%、「卓球」が 25.1%となっている。

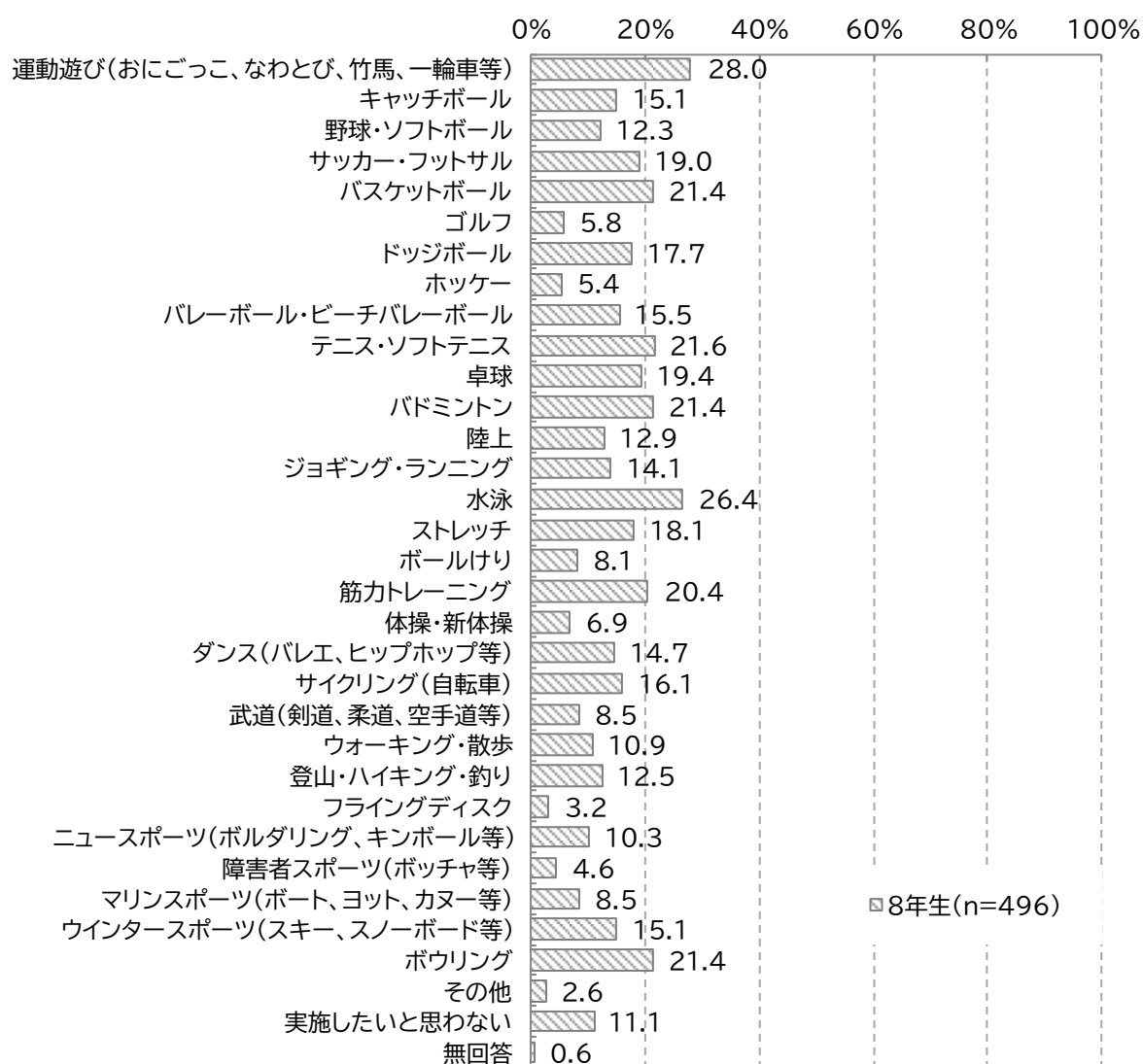
<全体>



< 5 年生 >

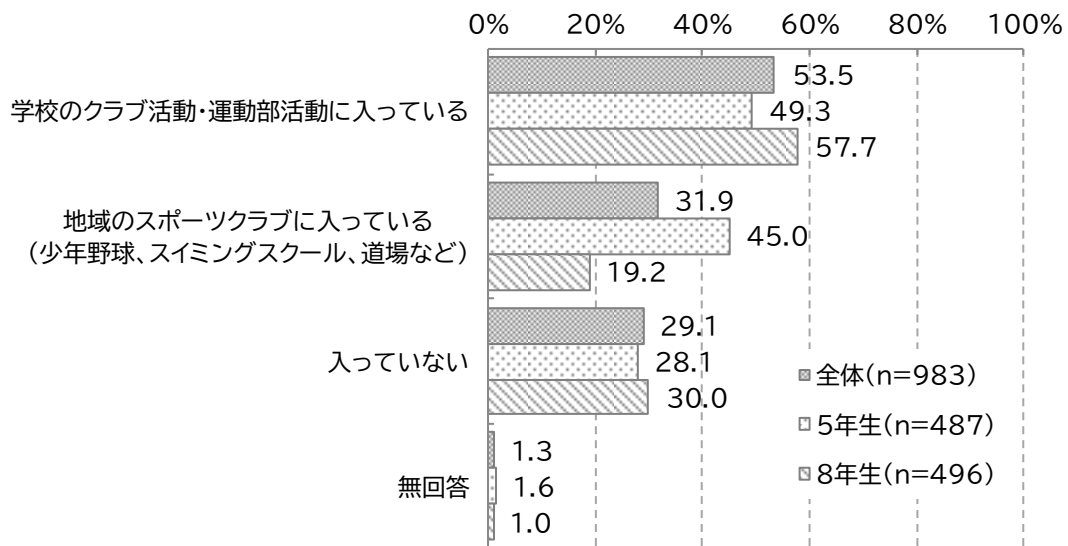


< 8 年生 >



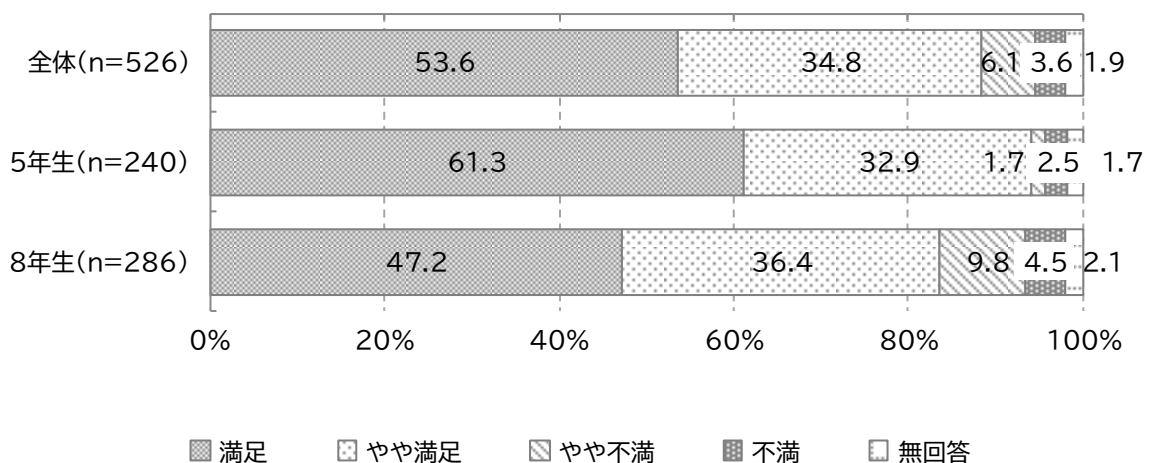
問 16 学校のクラブ活動・運動部活動や地域のスポーツクラブに入っていますか。
(○はいくつでも)

全体をみると、「学校のクラブ活動・運動部活動に入っている」が53.5%と最も多く、次いで「地域のスポーツクラブに入っている（少年野球、スイミングスクール、道場など）」が31.9%、「入っていない」が29.1%となっている。



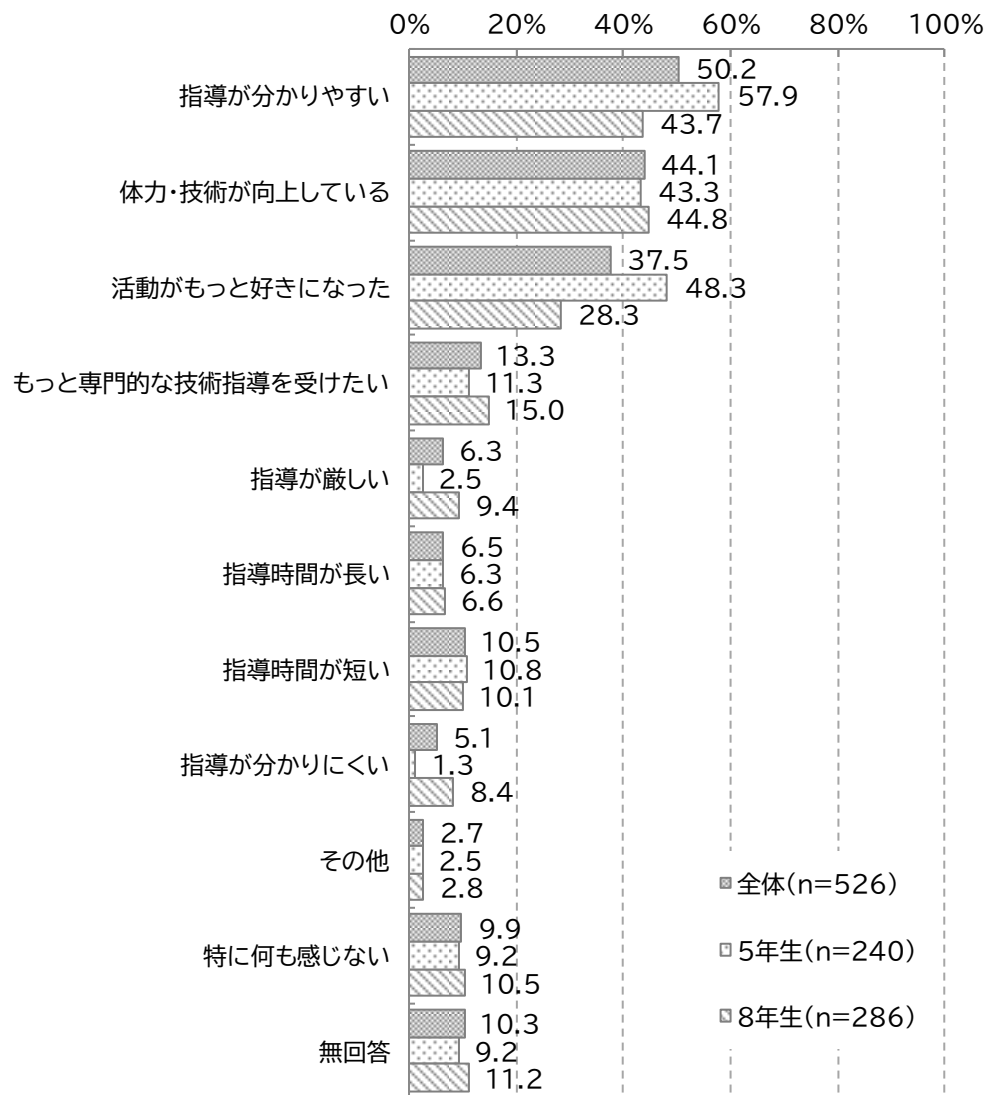
問 17 学校のクラブ活動・運動部活動にどのくらい満足していますか。(○は1つ)

全体をみると、「満足」（「満足」と「やや満足」の合計）が88.4%、「不満」（「不満」と「やや不満」の合計）が9.7%となっている。



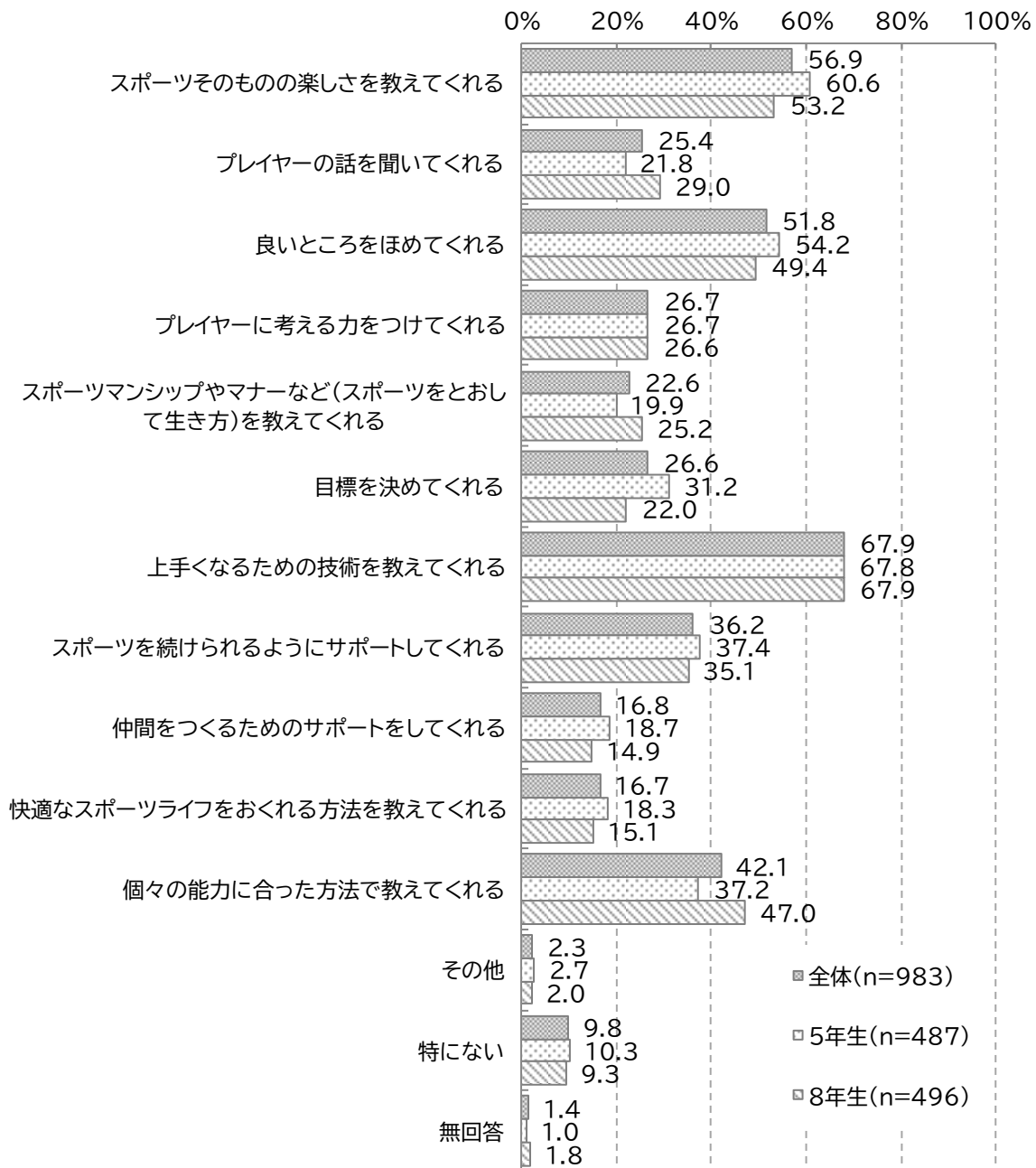
問 18 学校のクラブ活動・運動部活動で、顧問や指導者から指導を受けてどのよう
に感じていますか。(〇はいくつでも)

全体をみると、「指導が分かりやすい」が50.2%と最も多く、次いで「体力・技
術が向上している」が44.1%、「活動がもっと好きになった」が37.5%となってい
る。



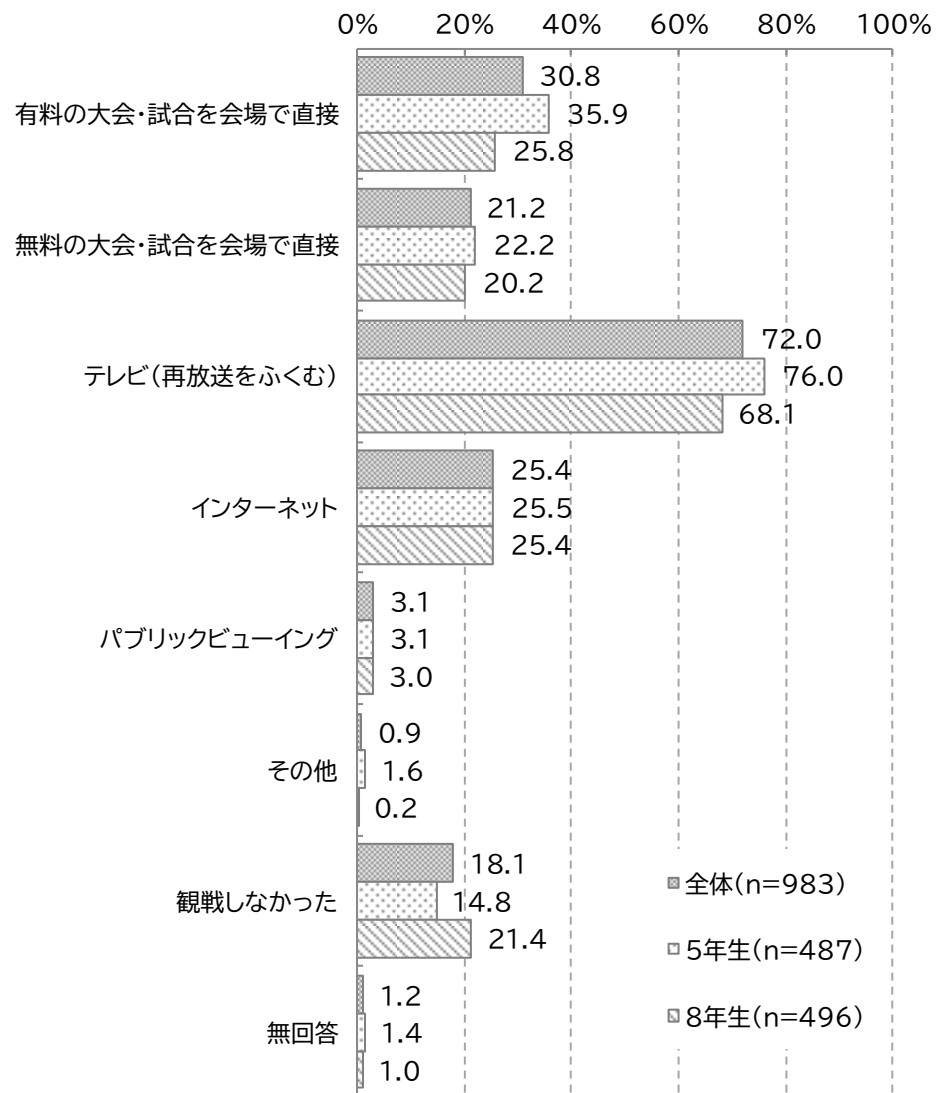
問 19 あなたが、スポーツや運動を教えてくれる人に求めるものは何ですか。(○はいくつでも)

全体をみると、「上手くなるための技術を教えてくれる」が 67.9%と最も多く、次いで「スポーツそのものの楽しさを教えてくれる」が 56.9%、「良いところをほめてくれる」が 51.8%となっている。



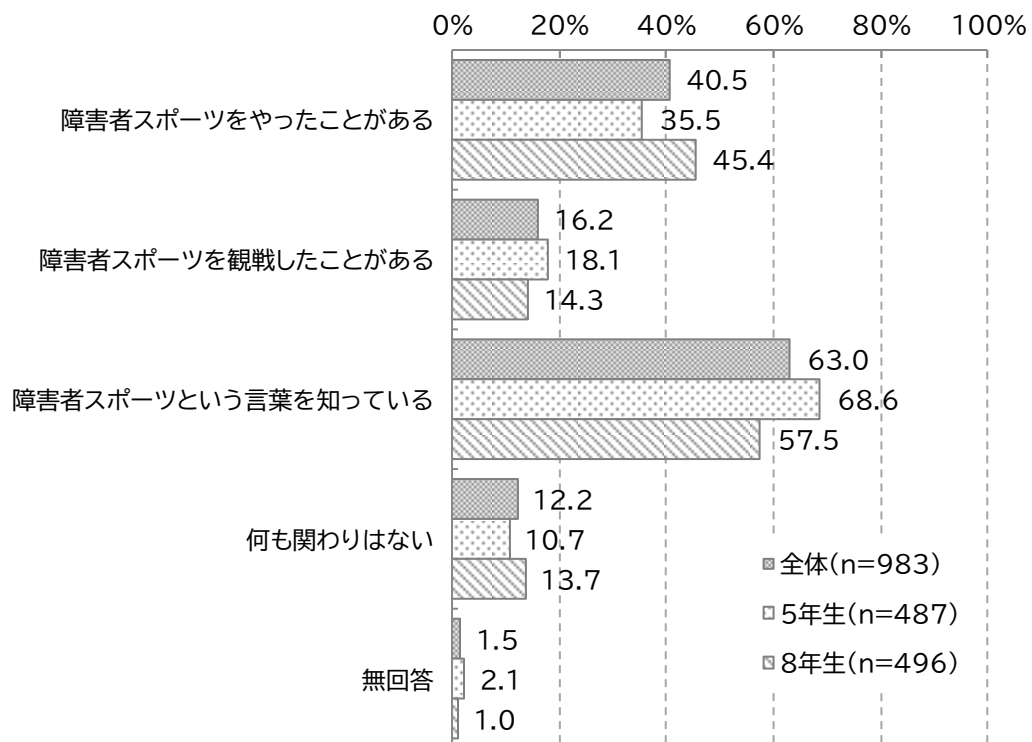
問 20 あなたは、過去1年間でトップスポーツ（オリンピック・パラリンピック、プロ野球、大相撲など）やアマチュアスポーツ（高校野球、親や兄弟の試合など）の大会・試合をどのように観戦しましたか。（○はいくつでも）

全体をみると、「テレビ（再放送をふくむ）」が72%と最も多く、次いで「有料の大会・試合を会場で直接」が30.8%、「インターネット」が25.4%となっている。



問 21 からだやこころに障害があってもスポーツができるように工夫された「障害者スポーツ」というものがあります。例えば、車いすバスケットボールやボッチャ、ブラインドサッカーなどの競技がありますが、「障害者スポーツ」に対する関わりを教えてください。（○はいくつでも）

全体をみると、「障害者スポーツという言葉を知っている」が63.0%と最も多く、次いで「障害者スポーツをやったことがある」が40.5%、「障害者スポーツを観戦したことがある」が16.2%となっている。



第3章 分析編

1. スポーツ実施率の低い層に関する分析

(1) 分析目的

週1日以上のスーツ実施率（以下、「スーツ実施率」という。）の低い層を明らかにし、その層が考える品川区でスーツや運動を実施する人が増えるために重点的に進めた方が良い施策を確認するために分析を行った。

(2) 分析方法

一般区民向け調査の結果を活用し、性別、年代別等の基本属性別にスーツ実施率を求め、全体のスーツ実施率と比べて低い層を明らかにする。また、その層が「品川区でスーツや運動を実施する人が増えるために重点的に進めた方が良い施策」として上位にあげる内容を整理する。

なお、基本属性は次の通りとする。

基本属性	内訳
性別×年代別 (16カテゴリ)	男性 18・19 歳／男性 20 歳代／男性 30 歳代 男性 40 歳代／男性 50 歳代／男性 60 歳代 男性 70 歳代／男性 80 歳以上 女性 18・19 歳／女性 20 歳代／女性 30 歳代 女性 40 歳代／女性 50 歳代／女性 60 歳代 女性 70 歳代／女性 80 歳以上
居住地区別 (5カテゴリ)	品川地区／大崎地区／大井地区／荏原地区／八潮地区
仕事の有無別 (2カテゴリ)	働いている ^{注1)} ／働いていない
同居している 子どもの有無別 (2カテゴリ)	子どもと同居している ^{注2)} ／子どもと同居していない

注1)「働いている」とは、「自営業主・家族従業」、「会社員・団体職員・公務員」、「契約社員・派遣社員」、「アルバイト・パートタイマー」のいずれかの職業を指す。

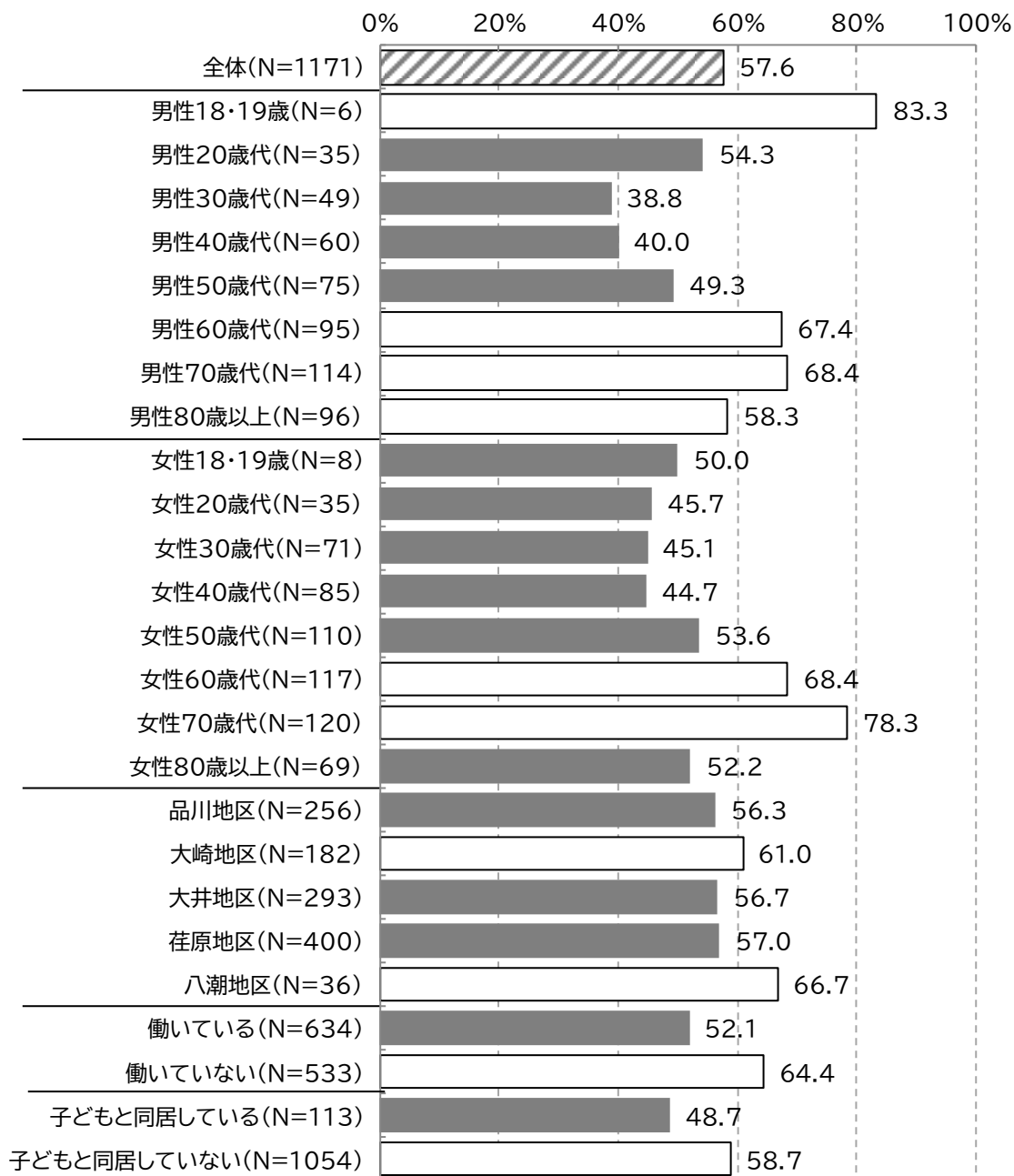
注2)「子どもと同居している」とは、小学生未満の子どもと同居していることを指す。

(3) 分析結果

①基本属性別にみたスポーツ実施率

全体のスポーツ実施率（57.6%）よりも低い基本属性に着目すると、「男性の20～50歳代」、「女性の18・19歳、20～50歳代、80歳以上」、「品川地区」、「大井地区」、「荏原地区」、「働いている」、「子どもと同居している」となっている。

よりスポーツ実施率の低い基本属性を確認するため、50.0%を下回った基本属性をみると、「男性の30～50歳代」、「女性の20～40歳代」、「子どもと同居している」となっている。



注) 全体のスポーツ実施率よりも低い基本属性の棒グラフを塗り潰している。

②スポーツ実施率の低い層が考える重点的に進めた方が良い施策

前項で確認したスポーツ実施率が50.0%を下回っていた「男性の30～50歳代」、「女性の20～40歳代」、「子どもと同居している」の基本属性について、「品川区でスポーツや運動を実施する人が増えるために重点的に進めた方が良い施策」の上位3位までを整理し、「全体」の順位と異なる項目に着目した。

「男性の30～50歳代」及び「女性の20～40歳代」をみると、「働いている人が取り組みやすい」が上位3位以内に入っており、「男性50歳代」にいたっては1位となっている。

「女性30歳代」及び「子どもと同居している」をみると、「子育て中の人取り組みやすい」が1位となっており、「子どもと同居している」にいたっては、「親子で取り組みやすい」が2位となっている。

	1位	2位	3位
全体 (N=1171)	○初心者が取り組みやすい	○知り合いがいなくても取り組みやすい	○高齢者が取り組みやすい
男性 30 歳代 (N=49)	○知り合いがいなくても取り組みやすい	○働いている人が取り組みやすい	○初心者が取り組みやすい
男性 40 歳代 (N=60)	○知り合いがいなくても取り組みやすい	○初心者が取り組みやすい	○働いている人が取り組みやすい
男性 50 歳代 (N=75)	○働いている人が取り組みやすい	○初心者が取り組みやすい	○知り合いがいなくても取り組みやすい
女性 20 歳代 (N=35)	○知り合いがいなくても取り組みやすい	○働いている人が取り組みやすい	○初心者が取り組みやすい
女性 30 歳代 (N=71)	○子育て中の人取り組みやすい	○働いている人が取り組みやすい	○初心者が取り組みやすい ○知り合いがいなくても取り組みやすい
女性 40 歳代 (N=85)	○初心者が取り組みやすい	○知り合いがいなくても取り組みやすい	○働いている人が取り組みやすい
子どもと同居している (N=113)	○子育て中の人取り組みやすい	○親子で取り組みやすい	○初心者が取り組みやすい

注1) 各順位の内容について、それぞれ「機会・環境の充実」という文言を割愛している。

注2) 「全体」の上位3位以内と異なる項目に網掛けを付与している。

注3) 同じ順位の場合は併記している。

(4) 分析結果のまとめ

一般区民全体における週1日以上スポーツ実施率(57.6%)は、国(55.3%)や都(57.2%)と比べて高くなっているものの、「男性の30～50歳代」、「女性の20～40歳代」、「子どもと同居している」のいずれかに該当する区民のスポーツ実施率は50.0%を下回っている。

重点的に進めた方が良い施策に着目すると、一般区民全体では「初心者が取り組みやすい」、「知り合いがいなくても取り組みやすい」、「高齢者が取り組みやすい」が上位となっているのに対して、スポーツ実施率の低い層は「働いている人が取り組みやすい」、「子育て中の人取り組みやすい」、「親子で取り組みやすい」が上位となっており、異なるニーズの傾向が確認できた。

2. 一般区民のスポーツ実施状況に着目した分析

(1) 分析目的

一般区民におけるスポーツの実施状況を頻度別に分類し、それぞれの実施状況別に、基本属性及び今後のスポーツの実施意向や重点的に進めた方が良い施策を確認するために分析を行った。

(2) 分析方法

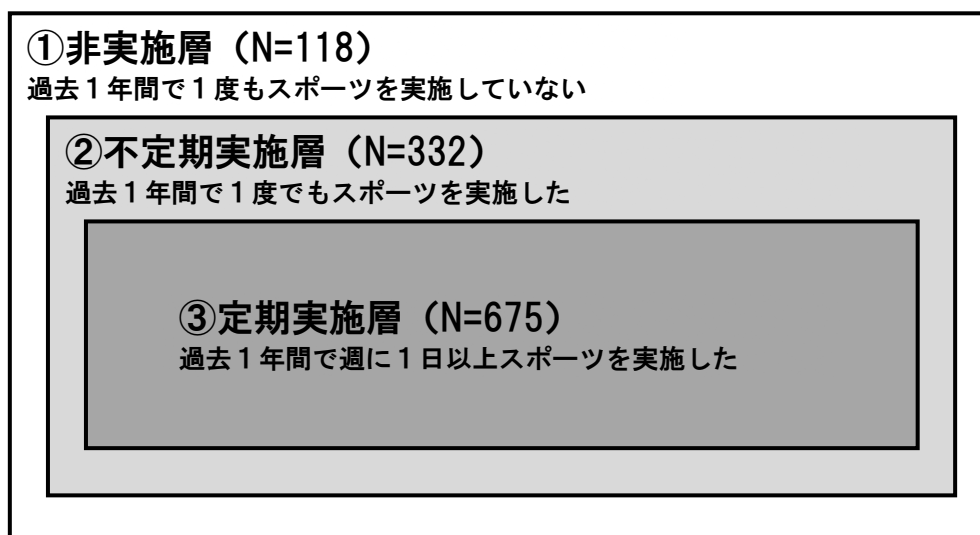
一般区民向け調査の結果を活用し、スポーツの実施状況を「非実施層」、「不定期実施層」、「定期実施層」の3つに分類した。3分類の具体的な定義と割合（実数）、概念図は次の通りである。

スポーツの実施状況の分類の定義と割合（実数）

分類	定義	割合（実数）
①非実施層	過去1年間で1度もスポーツを実施しなかった人	10.1%（118人）
②不定期実施層	過去1年間で1度でもスポーツを実施したが、週に1日未満に留まった人	28.4%（332人）
③定期実施層	過去1年間で週に1日以上スポーツを実施した人	57.6%（675人）

注）上記3分類のほかに、スポーツの実施頻度を回答しなかった層が3.9%（46人）いる。

スポーツの実施状況の分類の概念図



(3) 分析結果

①性・年代

「非実施層」は、「男性 80 歳以上」が 14.4%と最も多く、次いで「女性 80 歳以上」が 12.7%、「女性 60 歳以上」が 11.0%となっている。男性と女性の「60 歳代」、「70 歳代」、「80 歳以上」を合計し、60 歳以上の割合をみると 6 割近く (58.5%) となっている。

「不定期実施層」は、「女性 40 歳代」が 12.0%と最も多く、次いで「女性 50 歳代」が 11.7%、「男性 50 歳代」が 9.6%となっている。男性と女性の「30 歳代」、「40 歳代」、「50 歳代」を合計し、30～50 歳代の割合をみると 6 割近く (58.8%) となっている。

「定期実施層」は、「女性 70 歳代」が 13.9%と最も多く、次いで「女性 60 歳代」が 11.9%、「男性 70 歳代」が 11.6%となっている。男性と女性の「60 歳代」、「70 歳代」、「80 歳以上」を合計し、60 歳以上の割合をみると約 6 割 (60.5%) となっている。

スポーツの実施状況別にみた性・年代 (%)

分類	男性							
	18・19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上
非実施層(N=118)	－	0.8	2.5	6.8	5.1	6.8	6.8	14.4
不定期実施層(N=332)	0.3	4.5	8.1	8.4	<u>9.6</u>	6.6	5.4	3.9
定期実施層(N=675)	0.7	2.8	2.8	3.6	5.5	9.5	<u>11.6</u>	8.3

分類	女性								無回答
	18・19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上	
非実施層(N=118)	－	1.7	7.6	5.9	8.5	<u>11.0</u>	6.8	12.7	2.5
不定期実施層(N=332)	1.2	5.1	9.0	12.0	11.7	6.3	3.3	2.1	2.1
定期実施層(N=675)	0.6	2.4	4.7	5.6	8.7	11.9	13.9	5.3	2.1

注 1) 各分類において、「男性 18・19 歳」から「女性 80 歳以上」までと「無回答」の実数を足すと「N」になる。

注 2) 上位 1 位は濃い網掛け、2 位は薄い網掛け、3 位は下線を付与している。

②居住地区

全ての分類において、「荏原地区」が最も多く、次いで「大井地区」となっている。「非実施層」のみ、同率2位に「品川地区」が入っている。

スポーツの実施状況別にみた居住地区（％）

分類	品川地区	大崎地区	大井地区	荏原地区	八潮地区	無回答
非実施層(N=118)	24.6	9.3	24.6	39.0	2.5	－
不定期実施層(N=332)	22.6	16.0	25.9	32.5	2.4	0.6
定期実施層(N=675)	21.3	16.4	24.6	33.8	3.6	0.3

注) 上位1位は濃い網掛け、2位は薄い網掛けを付与している。

③仕事の有無

「不定期実施層」のみ、「働いている」の方が「働いていない」よりも多くなっている。

スポーツの実施状況別にみた仕事の有無（％）

分類	働いている	働いていない	無回答
非実施層(N=118)	44.9	55.1	－
不定期実施層(N=332)	72.3	27.1	0.6
定期実施層(N=675)	48.9	50.8	0.3

注1) 「働いている」とは、「自営業主・家族従業」、「会社員・団体職員・公務員」、「契約社員・派遣社員」、「アルバイト・パートタイマー」のいずれかの職業を指す。

注2) 上位1位は濃い網掛けを付与している。

④子どもの有無

全ての分類において、「子どもと同居していない」の方が「子どもと同居している」よりも多くなっている。

スポーツの実施状況別にみた子どもの有無（％）

分類	子どもと同居している	子どもと同居していない	無回答
非実施層(N=118)	11.0	89.0	－
不定期実施層(N=332)	13.0	86.1	0.9
定期実施層(N=675)	8.1	91.7	0.1

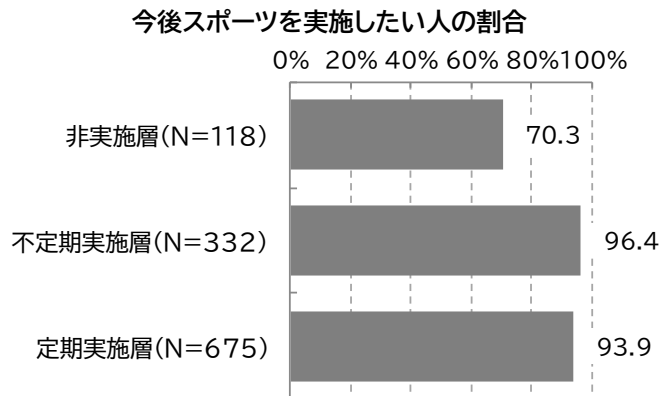
注1) 「子どもと同居している」とは、小学生未満の子どもと同居していることを指す。

注2) 上位1位は濃い網掛けを付与している。

⑤今後のスポーツの実施意向

今後スポーツを実施したい人の割合をみると、「非実施層」が70.3%、「不定期実施層」が96.4%、「定期実施層」が93.9%となっている。

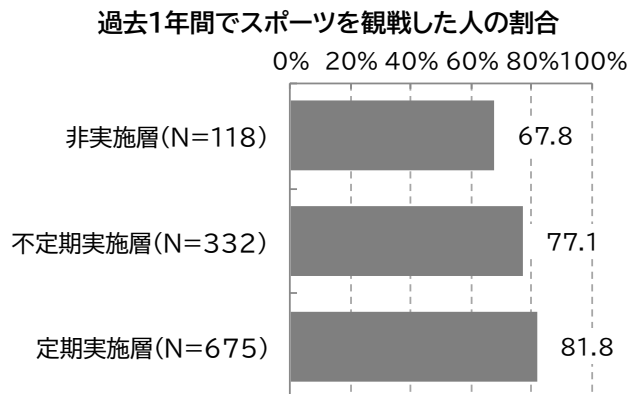
「非実施層」であっても、7割以上が今後スポーツを実施したいと回答しており、具体的な内容としては、「ウォーキング」が最も多く、次いで「トレーニング（室内運動器具を使ってする運動を含む）」、「体操（ラジオ体操、エクササイズ、ヨガ等）」となっている。



⑥スポーツの観戦状況

過去1年間でスポーツを観戦した人の割合をみると、「非実施層」が67.8%、「不定期実施層」が77.1%、「定期実施層」が81.8%となっている。

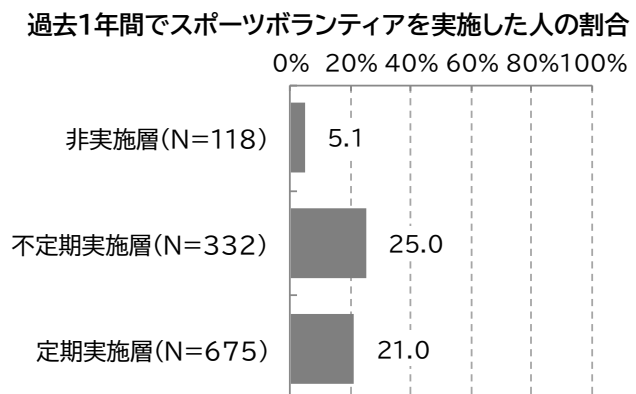
スポーツを実施している人の方が、観戦した人の割合が高くなっている。



⑦スポーツボランティアの実施状況

過去1年間でスポーツボランティアを実施した人の割合をみると、「非実施層」が5.1%、「不定期実施層」が25.0%、「定期実施層」が21.0%となっている。

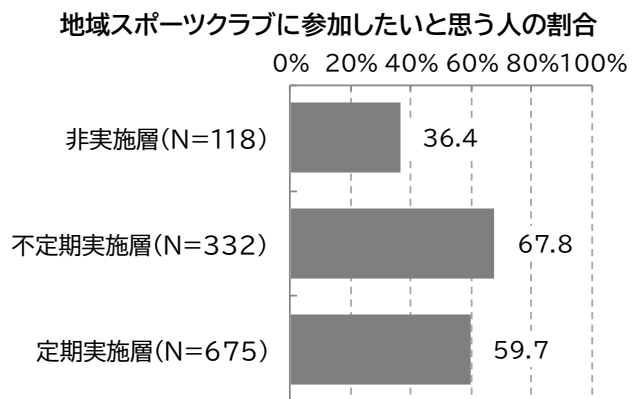
スポーツを実施している人の方が、ボランティアを実施した人の割合が高くなっている。



⑧「地域スポーツクラブ」の加入意向

地域スポーツクラブに参加したいと思う人の割合をみると、「非実施層」が36.4%、「不定期実施層」が67.8%、「定期実施層」が59.7%となっており、「不定期実施層」が最も多くなっている。

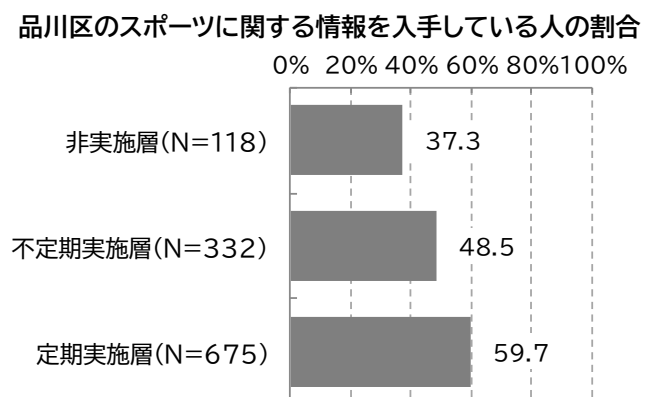
「不定期実施層」の具体的に
参加したい活動としては、「運動
やスポーツを個人で楽しめる定
期的活動」が最も多く、次いで
「子どもから大人まで地域の誰
もが気軽に楽しめる活動」、「運
動の苦手な人や初級者を対象と
する活動」となっている。



⑨品川区のスポーツに関する情報の入手状況

品川区のスポーツに関する情
報を入手している人の割合をみ
ると、「非実施層」が37.3%、「不
定期実施層」が48.5%、「定期実
施層」が59.7%となっている。

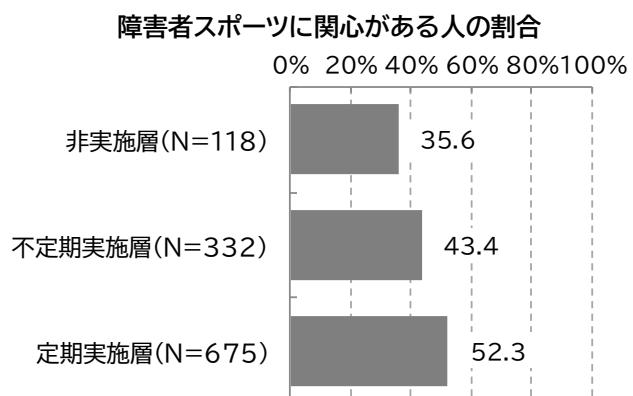
スポーツを実施している人の
方が、情報を入手している人の
割合が高くなっている。



⑩障害者スポーツへの関心の有無

障害者スポーツに関心がある
人の割合をみると、「非実施層」
が35.6%、「不定期実施層」が
43.4%、「定期実施層」が52.3%
となっている。

スポーツを実施している人の
方が、障害者スポーツに関心が
ある人の割合が高くなってい
る。



注)「関心がある」は「関心がある」と「やや関心がある」の合計値。

⑪重点的に進めた方が良い施策

品川区でスポーツや運動を実施する人が増えるために、重点的に進めた方が良い施策の上位5位までをみると、「全体」と同様、全ての分類において、1位は「初心者が取り組みやすい」、2位は「知り合いがいなくても取り組みやすい」となっている。

「全体」で5位となっている「働いている人が取り組みやすい」は「不定期実施層」で3位に、「全体」で上位5位以内に入っていない「様々なスポーツや運動を体験できる」は「定期実施層」で5位になっており、スポーツの実施状況によって上位の施策に違いがみられる。

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (N=1171)	○初心者が取り組みやすい	○知り合いがいなくても取り組みやすい	○高齢者が取り組みやすい	○区立スポーツ施設における利用しやすいの向上	○働いている人が取り組みやすい
非実施層 (N=118)	○初心者が取り組みやすい	○知り合いがいなくても取り組みやすい	○高齢者が取り組みやすい	○区立スポーツ施設における利用しやすいの向上 ○働いている人が取り組みやすい	
不定期実施層 (N=332)	○初心者が取り組みやすい	○知り合いがいなくても取り組みやすい	○働いている人が取り組みやすい	○区立スポーツ施設における利用しやすいの向上	○高齢者が取り組みやすい
定期実施層 (N=675)	○初心者が取り組みやすい	○知り合いがいなくても取り組みやすい	○高齢者が取り組みやすい	○区立スポーツ施設における利用しやすいの向上	○様々なスポーツや運動を体験できる

注1) 各順位の内容について、それぞれ「機会・環境の充実」という文言を割愛している。

注2) 「全体」の上位5位以内と異なる項目に網掛けを付与している。

注3) 同じ順位の場合は併記している。

(4) 分析結果のまとめ

一般区民をスポーツの実施状況別に「非実施層」、「不定期実施層」、「定期実施層」の3つに分類し、性別や年代等の基本属性の特徴をみた。「非実施層」と「定期実施層」は60歳以上が多くなっていることから、高齢層はスポーツを実施している人と実施していない人の二極化傾向にあることがわかった。一方、「不定期実施層」は30～50歳代が多くなっており、働き盛り世代や子育て世代は不定期にスポーツを実施していることがわかった。

スポーツを実施している人の方が観戦している人が多く、スポーツボランティアを実施している人も多くなっていることから、スポーツを「する」と、「みる」または「ささえる」の行為は関連していると考えられる。

3. 児童・生徒のスポーツ実施状況に着目した分析

(1) 分析目的

児童・生徒におけるスポーツの実施状況を頻度別に分類し、自らの責任感や社会性に対する自信の度合い、スポーツに対する意識等を確認した。

(2) 分析方法

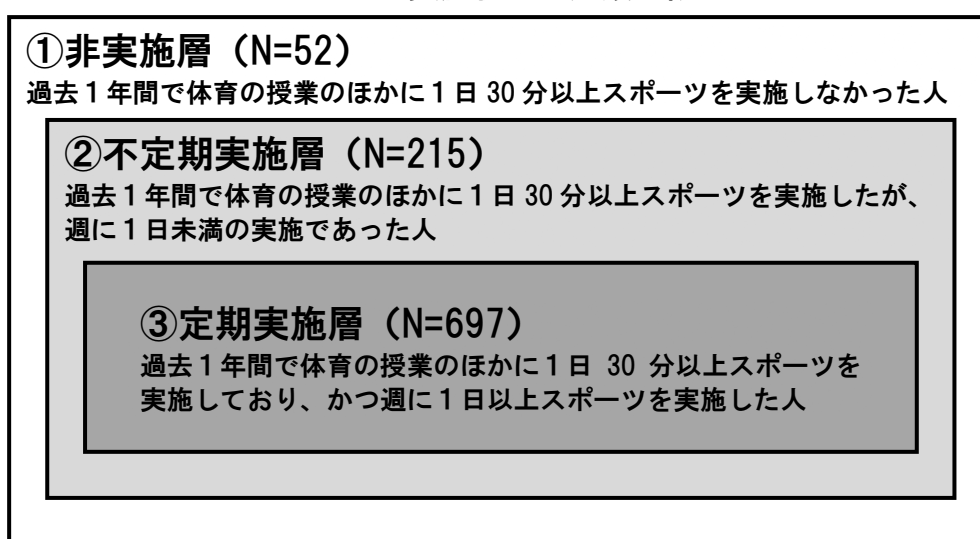
児童・生徒向け調査の結果を活用し、前節の分類方法を参考に、スポーツの実施状況を「非実施層」、「不定期実施層」、「定期実施層」の3つに分類した。3分類の具体的な定義と割合（実数）、概念図は次の通りである。

スポーツの実施状況の分類の定義と割合（実数）

分類	定義	割合（実数）
①非実施層	過去1年間で体育の授業のほかに1日30分以上スポーツを実施しなかった人	5.3%（52人）
②不定期実施層	過去1年間で体育の授業のほかに1日30分以上スポーツを実施したが、週に1日未満の実施であった人	21.9%（215人）
③定期実施層	過去1年間で体育の授業のほかに1日30分以上スポーツを実施しており、かつ週に1日以上スポーツを実施した人	70.9%（697人）

注）上記3分類のほかに、スポーツの実施頻度を回答しなかった層が1.9%（19人）いる。

スポーツの実施状況の分類の概念図



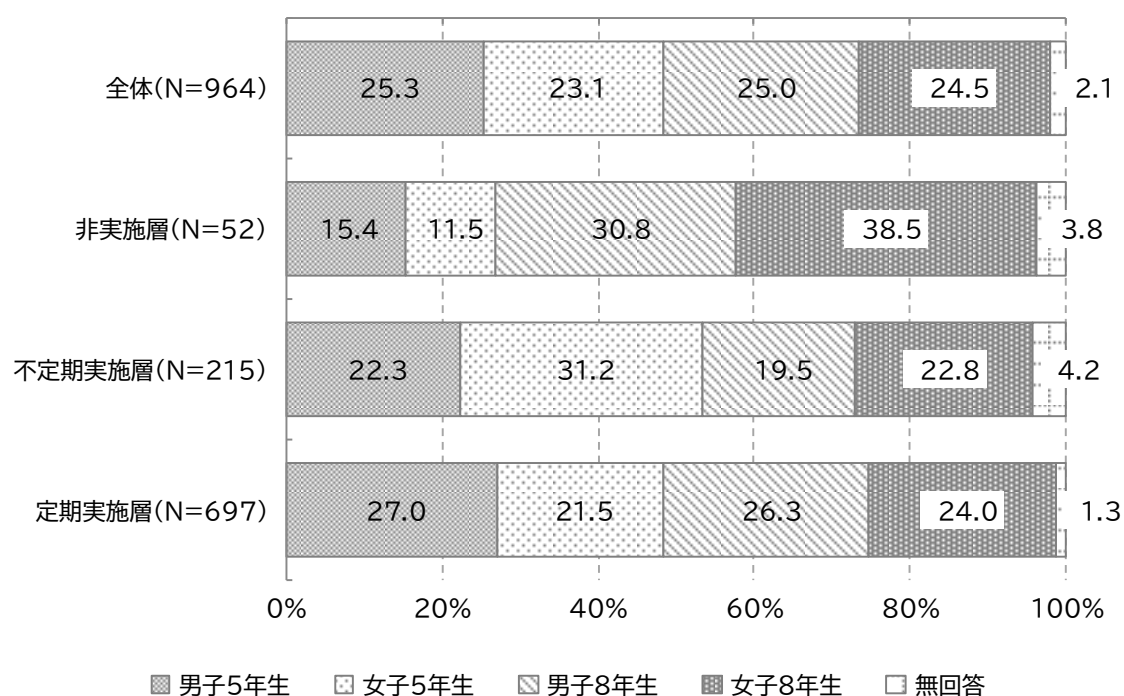
(3) 分析結果

①性・学年

「非実施層」は、「女子8年生」が38.5%と最も多く、次いで「男子8年生」が30.8%、「男子5年生」が15.4%となっており、8年生が約7割（69.3%）を占めている。

「不定期実施層」は、「女子5年生」が31.2%と最も多く、次いで「女子8年生」が22.8%、「男子5年生」が22.3%となっており、女子が5割台半ば（54.0%）を占めている。

「定期実施層」は、「男子5年生」が27.0%と最も多く、次いで「男子8年生」が26.3%、「女子8年生」が24.0%となっており、男子が5割台半ば（53.3%）を占めている。



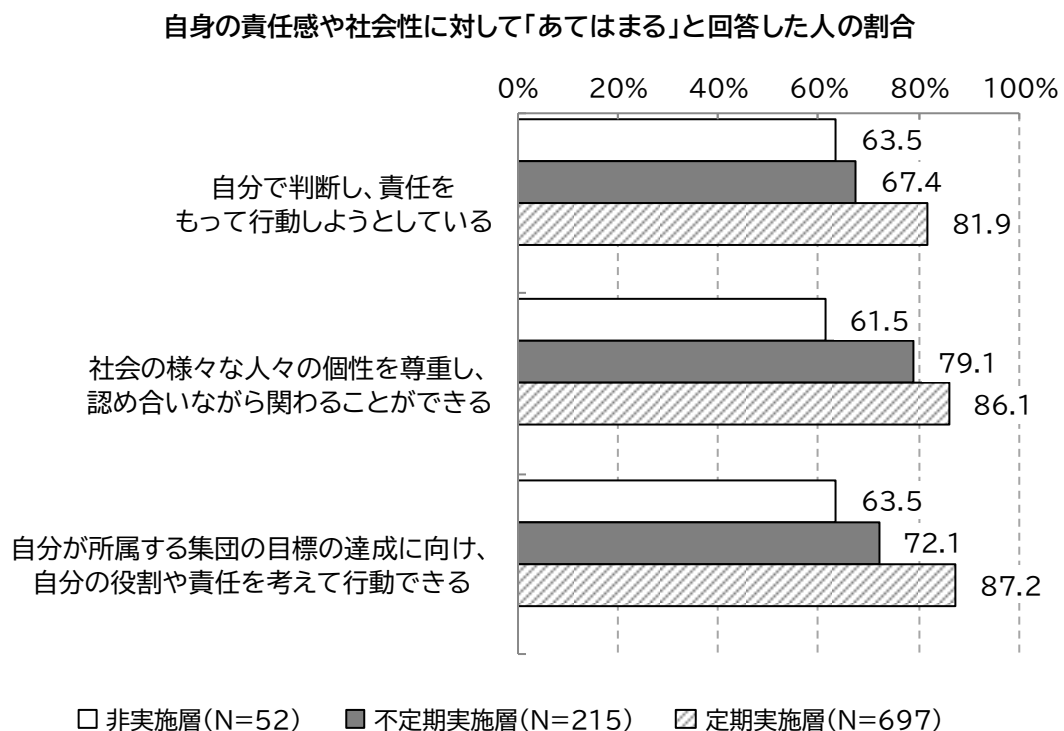
②責任感や社会性に対する自信の度合い

「自分で判断し責任をもって行動しようとしている」にあてはまると回答した人の割合をみると、「非実施層」が63.5%、「不定期実施層」が67.4%、「定期実施層」が81.9%となっている。

「社会の様々な人々の個性を尊重し認め合いながら関わることができる」にあてはまると回答した人の割合をみると、「非実施層」が61.5%、「不定期実施層」が79.1%、「定期実施層」が86.1%となっている。

「自分が所属する集団の目標の達成に向け自分の役割や責任を考えて行動できる」にあてはまると回答した人の割合をみると、「非実施層」が63.5%、「不定期実施層」が72.1%、「定期実施層」が87.2%となっている。

スポーツを実施している人の方が、責任感や社会性に対する自信の度合いが高い人の割合が高くなっている。

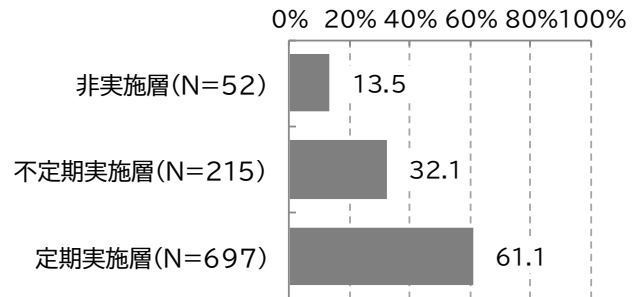


注)「あてはまる」は「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合計値。

③自分の体力・運動能力に対する自信

自分の体力・運動能力に自信がある人の割合をみると、「非実施層」が13.5%、「不定期実施層」が32.1%、「定期実施層」が61.1%となっている。

自分の体力・運動能力に自信があると回答した人の割合

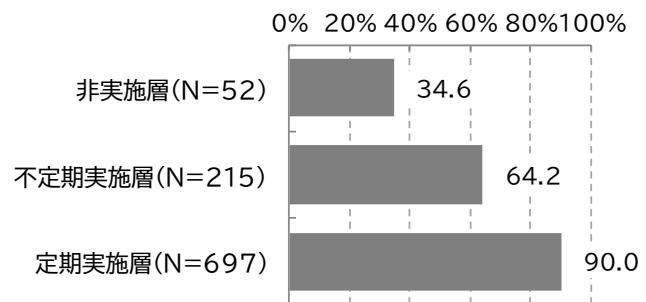


注)「自信がある」は「自信がある」と「やや自信がある」の合計値。

④スポーツに対する好き嫌い

スポーツをすることが好きな人の割合をみると、「非実施層」が34.6%、「不定期実施層」が64.2%、「定期実施層」が90.2%となっている。

スポーツをすることが好きな人の割合

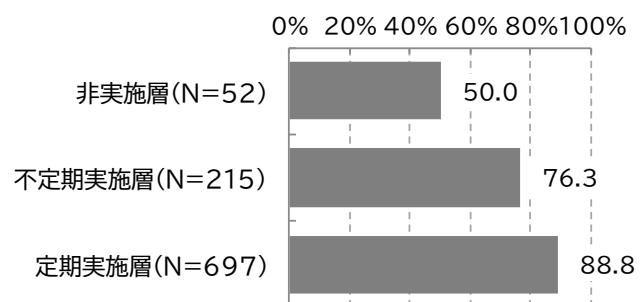


注)「好き」は「好き」と「やや好き」の合計値。

⑤体育の授業を楽しんでいるかどうか

体育の授業を楽しんでいると思う人の割合をみると、「非実施層」が50.0%、「不定期実施層」が76.3%、「定期実施層」が88.8%となっている。

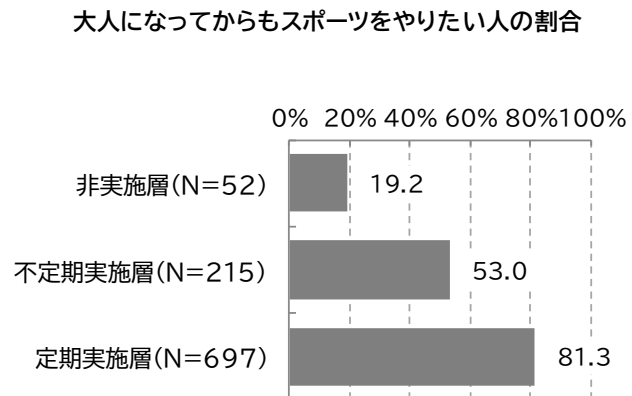
体育の授業を楽しんでいると思う人の割合



注)「楽しいと思う」は「思う」と「やや思う」の合計値。

⑥大人になってからもスポーツをしたいかどうか

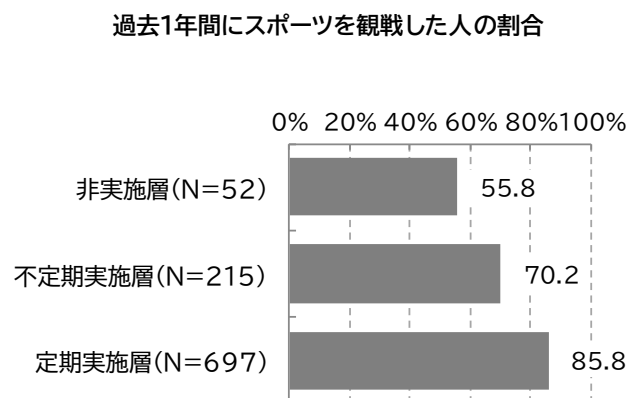
大人になってからもスポーツ
をやりたい人の割合をみると、
「非実施層」が19.2%、「不定期
実施層」が53.0%、「定期実施層」
が81.3%となっている。



注)「やりたい」は「やりたい」と「できればやりたい」の合計値。

⑦スポーツの観戦状況

過去1年間にスポーツを観戦
した人の割合をみると、「非実施
層」が55.8%、「不定期実施層」
が70.2%、「定期実施層」が
85.8%となっている。



(4) 分析結果のまとめ

児童・生徒をスポーツの実施状況別に「非実施層」、「不定期実施層」、「定期実施層」の3つに分類し、性別や学年等の基本属性をみたところ、「非実施層」は8年生、「不定期実施層」は女子、「定期実施層」は男子が多くなっている。

責任感や社会性に対する自信の度合いをみると、「定期実施層」が最も高く、次いで「不定期実施層」、「非実施層」となっており、スポーツを実施している人の方が、責任感や社会性に対する自信の度合いが高い人の割合が高くなっている。

また、同様に、スポーツに対する意識等について肯定的に回答した人の割合をみると、いずれも「定期実施層」が最も高く、次いで「不定期実施層」、「非実施層」となっている。とりわけ、「大人になってからもスポーツをしたいかどうか」をみると、「非実施層」が19.2%、「不定期実施層」が53.0%、「定期実施層」が81.3%となっており、子どもの頃からのスポーツ実施状況が、大人になってからのスポーツ実施意向に関連していると考えられる。

第4章 参考資料（調査票）

1. 一般区民向け調査

2. 児童・生徒向け調査

※添付予定です。

奥付

裏面

裏表紙